

佛國ポール、レルワ、ポリユー、氏原著

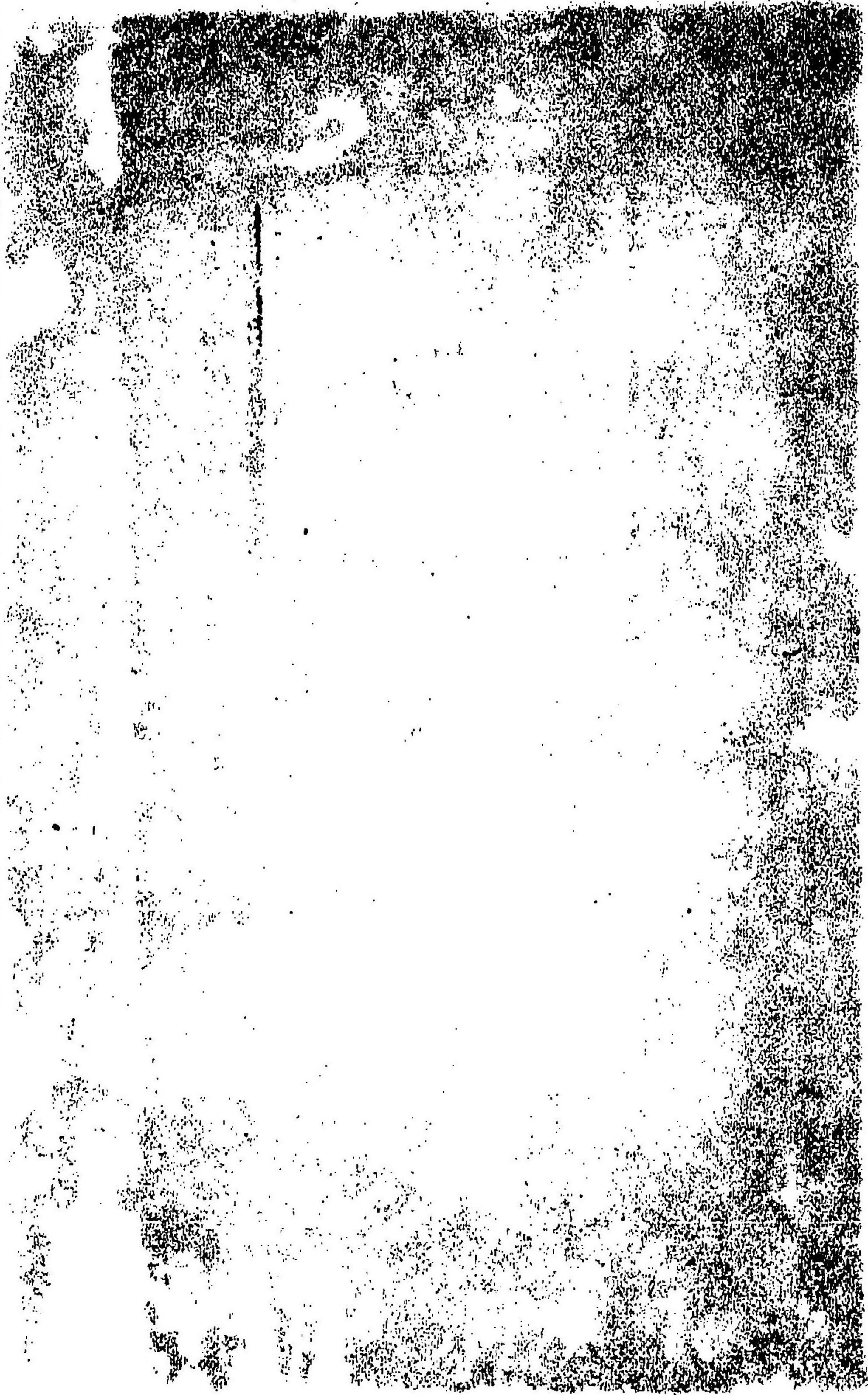
租
稅

論

第四册

明治十八年十一月

大藏省



租稅論第四冊目次

第十三篇 關稅

關稅ノ起原并ニ關稅徵收ノ主旨	一	丁
國餉稅及保護稅	二	丁
保護稅法ノ大意	四	丁
保護稅法ハ一般公衆ノ利ニ反シテ一方ノ偏利ヲ養成スルヲ		
營業保護	五	丁
農業保護并ニ應價法	六	丁
拂戻シ法及暫時輸入免許法	十	五
保護稅法ノ衰微	十	八
	二十	四
		丁

關稅ノ種類

輸出稅

二十五丁
二十六丁

「グアノ」硝酸鹽等ノ如キ需要多キ物品ニシテ特占ノ利ヲ有スル
 天產物ニアラサレハ輸出稅ヲ課スヘカラサル
 輸出稅ハ主義ニ於テ其稅ニアラサル
 二十六丁
 プラシルノ咖啡伊太利ノ葡萄酒英吉利ノ石炭ニ輸出稅ヲ課スル
 得失
 三十丁

經過稅

三十二丁

經過稅ハ斷然ナスヘキモノニアラサル

輸入稅ハ關稅中最モ肝要ナル種類タル

三十三丁

輸入稅ハ時トシテ國餉稅トアリ時トシテハ保護稅トナル

三十三丁

保護稅ハ生産者ヲ助テ消費者ヲ害シ又粗生品製造者ヲ助テ精品
 製造者ヲ害スル
 三十四丁

航海稅

四十四丁

航海保護

四十五丁

關稅一般ノ稅率及條約稅率

四十七丁

禁制法及輸入稅

四十八丁

從價稅及從量稅

四十九丁

佛國ノ過激ナル保護法ハ革命政府及ナポレオン第一世ノ戰亂ニ
 由テ偶然ニ發達セシ
 五十二丁

國會議員ハ被撰ノ區域ニ制限アリシカ爲メニ平時ニ於テ尙ホ戰
 時ノ關稅法ヲ繼續シ若クハ却テ甚キヲ加ヘタル
 五十三丁

佛國政府ハ保護稅法ヲ緩メント欲シテ國會ト爭論セタルヲ

物價ヲ騰貴スルニ熱心ナルヲ 六十丁

セーント、ビニール、グ氏ノ計畫 六十八丁

ナポレオン三世關稅ノ改革 六十九丁

英國關稅ノ改革 七十八丁

關稅收入増減ノ五大原因 八十三丁

第一有稅品ノ多少及性質

第二稅率ノ輕重

第三國ノ地位

第四人情風俗

第五行政ノ方法

英佛關稅ノ比較 九十丁

英國關稅收入ハ佛國ノ關稅收入ヨリ多キ理由 九十一丁

關稅ノ收入高ハ常ニ純收入高ニアラサルヲ以テ往々恩賜金拂戻

シヲ扣除セサルヘカラサルヲ 九十二丁

王政復古政府ルイ、ブイリツ、王政府ナポレオン三世ノ貿易改

正前後ノ關稅總收入高及純收入高 九十五丁

佛國關稅收入性質ノ區分 百三丁

輸入稅額四分ノ三餘ハ僅ニ六品ノ租稅ヨリ收入スルヲ 百五丁

製造品ノ輸入稅ハ巨額ノ收入ヲ得ス又巨額ノ收入ヲ得ル能ハサ

ルヲ 百六丁

輸入稅ヲ課スルニ最モ適當ナル者ハ砂糖咖啡椰子等ノ如キ植民

地ノ物産ニアルト
 百八丁

製造品粗生品ハ一切輸入税ヲ廢シ農産品ハ大半之ヲ廢スヘキコト
 百九丁

從徵税ノ大不便
 百十一丁

英國ノ關稅收入高并ニ二十年以來其收入ヲ減少シタル理由
 百十四丁

關稅徵收費
 百十七丁

千八百六十年以來佛國關稅徵收費ノ收入高ニ對スル比例ハ著シキ減少ヲナセシコト
 百十七丁

同年以後稅關官吏ノ減少及六千人ノ官吏罷メ歸テ有益ノ産業ニ從事スルニ至リシコト
 百二十一丁

關稅徵收ノ方法
 百二十二丁

關稅法ハ種々ノ煩苦定式ヲ免レサルコト
 百二十二丁

邊民ノ權利ハ内部ノ人民ニ及ハサルコト
 百二十三丁

關稅ハ果シテ遂ニ全廢スルヲ得ヘキカ
 百三十一丁

關稅連合ノ障礙
 百三十二丁

佛國白耳義荷蘭瑞士伊太利ノ間ニ關稅連合ヲ行フヘキ說
 百三十二丁

償補稅
 百三十三丁

内國ノ生産物ニ特別ノ租稅ヲ課スルニアラサレハ償補稅ヲ課スヘカラサルコト
 百三十三丁

土地歲入取引營業運搬等ニ課スル所ノ一般ノ租稅ヲ償フカ爲メニ償補稅ヲ課スヘカラサルコト
 百三十五丁

償補稅ノ不便
 百三十七丁

第十四篇

内國消費稅

消費稅ノ性質

消費稅ハ果シテ分頭稅ナルカ

内國ニ於テ生産スル一切ノ物品若クハ其一部ニ租稅ヲ課スルヲ得ル

西班牙ニ於テ嘗テ「アルカゾハラ」及「ホルラ」ノ名ヲ以テ一切ノ生産

品ニ課稅シタル

一切ノ物品ニ課稅スル制度ノ大不便

合衆國南北戰爭ノ際類似ノ制ヲ行ヒ一切ノ製造品ニ課稅シタル

該稅ノ困難ナル性質

百四十七丁
百四十九丁
百五十三丁
百五十五丁
百五十七丁

ウエルス氏ノ所論該稅法ノ効驗

第十八世紀ノ末及第十九世紀ノ始ニ當リ英國ニ於テ巨多ノ物品

ニ課稅シタル

英國政府ハ製造品ニ課稅シテ營業ノ進歩ヲ妨ケタル

紙稅硝子稅石鹼稅煉瓦稅革稅蠟燭稅摺附木稅等

英國内地稅ノ改正

一般ノ消費品二三ノ者ニ課稅スル制度ノ利ナル

被稅品撰擇ノ理由
内國生産品ニ課稅スル四箇ノ方法

百六十一丁
百六十三丁
百六十五丁
百六十八丁
百七十八丁
百七十九丁
百八十丁

製造家ノ「エキセルシース」
「アボンマン」
耕殖地ノ特別税
製造若クハ賣買ノ特占
右課税方法ノ便否
營業者ニ課スル特別税
重要ナル諸間税
鹽税
鹽税ノ大不便及政治論若クハ嫌惡ニ依テ過實ノ説アルヲ
佛國舊時ノ鹽税
税率ノ重キヲ

百八十一丁
百九十五丁
百九十五丁
百九十六丁
百九十七丁
百九十八丁

配賦ノ不平均ナルヲ
徵收ノ不正ナルヲ
壓制ノ甚キヲ
第十九世紀佛國鹽税ノ沿革
佛國鹽ノ消費高
消費税輕減ノ消費高ニ影響スル小ナルヲ
鹽税ハ農業及家畜繁殖上鹽ノ使用ヲ妨ルヲ
鹽税ノ大不便トスル所ハ獨リ營業上鹽ノ使用ヲ妨ルニアルヲ
英國ノ鹽税
英國ノ鹽税ハ遙ニ佛國今日ノ鹽税ヨリ重カリシヲ
密賣盛ニ行ハレタルヲ

二百七丁
二百九丁
二百十一丁
二百十二丁
二百十三丁

鹽稅廢止ノ爲メニ消費高増加セシテ

二百十四丁

歐洲大陸諸國ノ鹽稅

二百十五丁

鹽稅ノ利益及不便

二百十七丁

飲料稅

二百十八丁

飲料稅ハ英國ニ於テ全歲入ノ半額ヲ收入シ佛國ニ於テ全歲入五分ノ一ヲ收入スルコ

二百十八丁

北部ノ諸國ニ於テハ飲料稅ノ收入多ク且ツ徵收ノ容易ナルハ南部ノ諸國ニ優レコ

二百二十丁

飲料稅ハ重シト雖モ英國ニ於テハ佛國ニ於ルヨリ困難ノ少ナキ

二百二十丁

佛國飲料稅ノ組織

二百二十一丁

飲料稅ヲ平均ニスルノ大困難ナルコ

二百二十一丁

飲料稅ノ改正

二百二十四丁

葡萄酒林檎酒梨酒ノ稅法

二百二十四丁

運轉稅

小賣稅

入市稅

該稅徵收ニ關スル規則

二百三十三丁

運轉稅ハ割合ニ輕キコ

二百三十七丁

小賣稅ノ苛重ナルコ

二百三十七丁

聚合若シハ各個人ノ「アボンマン」

二百四十一丁

千八百七十五年以降人口一萬以上ノ市府ニ於テ小賣稅ヲ廢シ入

二百四十三丁

市稅ヲ以テ之ニ代ヘタルコ

二百四十三丁

酒精「ブランデー」「リキニール」ノ稅法

二百四十六丁

單一ノ消費税

製造家ヲシテ検査ニ服セシムル能ハサルコト

二百四十八丁

麥酒税ノ法

二百五十一丁

佛國飲料税ノ不正ナルコト

二百五十三丁

鄉村若クハ小市街ノ富民ハ單ニ僅々タル運轉税ヲ拂フニ過キサルコト

二百五十五丁

薄資ニシテ小買ヲナス所ノ勞力者ハ却テ遙ニ重税ヲ拂フコト

二百五十五丁

生産家ハ自家用品ニ租税ヲ拂ハサルコト

二百五十五丁

佛國ノ飲料税ハ累進税ナルコト

二百五十七丁

千八百五十年以後酒精税大ニ増加シタルコト

二百五十九丁

佛普戰爭後税額ノ増加シタルコト

二百五十九丁

由 二十五年ノ間税率ノ四倍セシニ拘ラス酒精ノ消費増加シタル理

二百六十丁

佛國飲料品ノ生産高

二百六十丁

酒精税ノ營業上ニ大不便アルコト

二百六十二丁

佛國飲料税ノ收入高

二百六十二丁

小賣税ノ不正平ヲ証スル表

二百六十四丁

千八百七十五年ノ法律ヲ以テ人口一萬以上ノ市府ニ於テハ改正

ヲナシタルコト

二百七十四丁

砂糖税

二百七十九丁

砂糖税ハ無害ノ税ニ列スヘキコト

二百八十丁

英國ニ於テハ砂糖税ヲ廢シタレトモ佛國ハ之ヲ存スルヲ可トスルコト

二百八十丁

諸國ニ於テ砂糖税ヲ課シタル理由	二百八十三丁
佛國砂糖税ノ沿革	二百八十三丁
砂糖税ノ徵收ハ甚タ容易ナルヘキニ非常ニ混雜ナル問題トナリ シ理由	二百八十七丁
内地産及殖民地産砂糖ノコ	二百八十九丁
砂糖製造家及精製家ノコ	二百九十一丁
砂糖税拂戻及暫時免税ノコ	二百九十四丁
砂糖ノ輸出ニ對シ間接ニ恩賜金ヲ與フルコ	二百九十四丁
精製家檢査ノコ	三百丁
佛國砂糖税收入高ノコ	三百四丁
英國砂糖税ノ變革及廢止	三百九丁
烟草税	三百十二丁

烟草税ハ租税ヲ課スルニ適當ナルコ	三百十二丁
烟草税ハ消費税中最モ適當ナル租税タルコ	三百十四丁
佛國烟草税ノ變革	三百十五丁
製造及賣買特占ノコ	三百二十一丁
分區税法及其不便	三百二十二丁
英國及歐洲大陸諸國ノ烟草税	三百二十七丁
特占ノ不便ナルニ拘ラス獨リ烟草ニ特占ヲ行フヘキ理由	三百三十丁
諸國烟草ノ人別消費高	三百三十一丁
重要ナル諸國税ノ便否約説	三百三十四丁

第十五篇
地方税

一般ノ財政ヲ善良ナラシムルニ地方財政ノ緊要ナルヲ

地方直税

三百三十七丁
三百四十丁

地方直税ヲシテ國家ノ直税ニ附屬セシムルハ要用ナルカ

佛國ノ法

三百四十一丁

英國及合衆國ノ法

三百四十三丁

地方税ヲ特別トナスヲ

三百四十三丁

特別地方税ノ便否

三百四十六丁

佛國縣費ノ副税

三百四十七丁

市邑ノ財政取扱ハ州縣ノ財政ヨリ繞密ナルヲ

三百四十九丁

佛國市邑收入ノ巨額ナルヲ并ニ其財源ノヲ

三百五十一丁

三百五十三丁

英國地方税ノ大ナルヲ	三百六十一丁
市邑所有ノ土地及作業	三百六十四丁
賦役税	三百六十七丁
賦役税ノ利否	
市邑入市税	三百七十七丁
市邑入市税ノ起源及發達	三百七十七丁
市邑入市税ヲ課スル物品	三百七十九丁
市邑入市税ニ保護税ノ性質アルヲ	三百八十三丁
前件ニ對スル法律	三百八十五丁
千八百二十三年ヨリ千八百七十五年ニ至ルマテノ佛國市邑入市税ノ收入	三百八十九丁
收税費ノ著シク減少シタルヲ	三百九十二丁

市邑入市稅負擔ノ配賦
 三百九十三丁

葡萄酒ニ課スル市邑入市稅
 三百九十五丁

巴里府及他ノ市邑入市稅ヲ課スル市邑ノ葡萄酒消費高
 四百丁

市邑入市稅ノ大不便
 四百一丁

市邑入市稅ヲ廢スル方法
 四百二丁

千八百七十六年佛國二十三府ノ市邑入市稅總收入ト地租ノ比較
 四百七丁

白耳義市邑入市稅ノ廢止
 四百十五丁

白耳義市邑入市稅改正ノ性質及其結果
 四百十六丁

善長ナル地方財政ヲ行フ妨碍ハ地方費ノ非常ニ大ナルニアルヲ
 四百二十三丁

第十六篇

無謀濫費ハ各國地方財政ノ通弊ナルヲ
 四百二十四丁

佛國英國白耳義以太利亞米利加合衆國ノ地方費増加ノヲ
 四百二十五丁

巴里府ノ歲計
 四百三十一丁

巴里府收入ノ四財源
 四百三十八丁

將來ノ地方費ハ從來ニ比シテ減少スヘキ理由
 四百四十二丁

中央政府ニ於テ地方財政ノ監督ヲ嚴ニスルノ必要ナルヲ
 四百四十三丁

租稅輕減 稅率ノ效驗 收入増加 租稅ノ負擔 輾轉ノ顯
 象 諸級人民租稅ノ負擔 第一卷結論
 四百四十五丁

租稅輕減ヲ行フ良法
 四百四十五丁

或ル物品ニ租税ノ輕減ヲ聚ルハ要用ニシテ數種ニ分配スルハ不可ナルヲ

租税輕減ノ影響ハ常ニ即時ナラス時トシテハ間接ニ之ヲ感スルニ止ルヲ

巴里府市邑入市税ノ改正及白耳義市邑入市税廢止ノ例

四百五十二丁

四百五十五丁

四百五十六丁

四百五十九丁

四百六十四丁

英國ノ砂糖税并ニ其輕減

直接ニハ國庫ノ收入ヲ減スルモ一般ノ繁榮ヲ增シ多少間接ニ償補ヲ得ルヲ

四百六十六丁

間税ノ收入自然ノ増加ハ行政ノ良善ナル國ニ於テ生スル顯象ナルヲ

四百六十七丁

收入自然ノ増加ノ原因

四百六十九丁

千八百四十年以來ノ英國財政ノ歴史ハ收入増加ノ良果ヲ証明スルヲ

四百六十九丁

千八百四十九年ヨリ千八百七十五年ニ至ルマテ英國ハ七億千萬フランクノ租税ヲ減シタルニ拘ラス政府ノ收入ハ四億四千萬フランクヲ増加シタルヲ

四百七十一丁

佛國ノ收入自然ノ増加

四百七十五丁

將來收入ノ増加ヲ用フヘキ方法

四百七十六丁

租税ノ負擔ハ輾轉シテ社會一般ニ及フヘキ顯象 四百七十九丁
 社會ハ屈伸自在ナル一活物ニシテ暗ニ租税負擔ノ不平均ヲ調理
 スルヲ
 四百八十一丁
 右ノ事實ヲ見ル過大ナルヘカラサルヲ
 四百八十一丁
 佛國諸級ノ人民カ租税ヲ分擔スルノ輕重
 四百八十五丁
 村落ノ居民殊ニ地主ハ最惠ヲ被ルヲ
 四百八十五丁
 次ヲ最惠ヲ受ル者ハ公債証書所有者ナルヲ
 四百八十五丁
 結論
 四百八十六丁
 二十五年間ノ平和收入増加ノ發達直税ノ改正ハ生産ヲ妨ル一
 切ノ租税ト最モ有害ナル消費税ヲ漸廢スルヲ得ヘキヲ
 中央政府市邑政府作業上ノ財産發達ハ將來必要品ノ租税ヲ全廢
 スヘキ一大補助トナルヘキヲ
 四百八十九丁

明治十八年十二月廿六日內務省補付

租税論第十三篇

關稅

己ニ商品ノ運轉ニ課シ又一般ニ取引ニ賦スル所ノ租税ヲ論シタルヲ
 以テ余輩ハ次ヲ消費税即チ物品及物産ニ課スル所ノ者ヲ論究セン抑
 消費税ヲ分ノ二種トナス一ハ内國ニ於テ之ヲ課シ一ハ國境ニ於テ
 之ヲ課ス其國境ニ於テ課スル者ヲ稱シテ關稅ト云フ

關稅ハ古ヨリ諸國ノ皆徵課スル所ノ消費税ニシテ多少之ヲ課セサル
 者ハ未タ嘗テ之ヲ開カサルナリ
 國境ニ於テ外國品ノ輸入スル者ニ租税ヲ課スルハ古來ノ發意ニシテ
 頗ル人情ニ適スル者トス夫レ關稅ヲ課スルニ種々ノ目的アリ或ハ外
 國商買ニ與フル保護ノ代トナレ或ハ輸入品ニ稅セサレハ内國物品ハ
 種々ノ租税ヲ負擔スルモ外國物品ハ租税ヲ免ルヘキカ故ニ關稅ヲ以

二
テ之ヲ償補スル者トナス又内地ニ生産セサル物品ニシテ其消費ノ廣
キ者ナレハ輸入税ヲ課スルノ簡易ナルヲ以テ往々之ヲ課シ又外國工
商ノ内地ノ工商ト競争スルヲ抑制シ内國ノ營業ヲ保護スルノ目的ヲ
以テ輸入税ヲ課スル者アリ此場合ニ於テハ關稅ハ政府ノ收入ヲ得ン
ト欲スルノ目的ニアラス世之ヲ稱シテ保護稅ト云フ歐洲諸國皆嘗テ
一度此政策ヲ施コサ、ル者ナレ僅カニ千八百五十年以來稍々其非ヲ
覺ル者アリ保護ノ勢力漸ク衰ヘ次ヲ以テ廢絶セラル、ノ傾向アリ
右ニ説ク所ヲ以テ之ヲ見レハ關稅ノ目的ハ大要分テ二トナスヲ得ヘ
レ一ハ國餉稅ニシテ純ラ政府ノ歳入ヲ得ルヲ以テ目的トナス者一ハ
保護稅若クハ半ハ保護稅半ハ國餉稅ナル者ニシテ其目的タル政府ノ
歳入ヲ得ルニアラス内國營業ヲ保護シ殊更ニ或ル營業ヲ奨勵スルニ
アル者ナリ

三
關稅ノ事タル諸學士ノ力ヲ究メテ論スル所ノ者ニシテ最モ潜心玩味
スヘキノ論題ナリ或ハ稅率ノ輕重ニ由テ租稅ノ收入ニ如何ナル影響
ヲ生スヘキヤノ如キ純然タル理財上ヨリシテ之ヲ論スヘク或ハ保護
稅ヲ以テ外國ノ競争ヲ防クト自由貿易ヲ以テ競争ヲ恣ニセシムルト
ニ由テ國富ノ増殖發達ニ如何ナル效驗ヲ生スヘキヤノ如キ經濟上ヨ
リシテ之ヲ論スヘシ而レテ尙ホ一他ノ論スヘキ者アリ即チ甲國ニ於
テ農工商ニ課スル所ノ一般ノ租稅ハ乙國ノ内地稅ヨリ重キヲ以テ乙
國ヨリ輸入スル所ノ物品ニ課スルニ租稅ヲ以テシ之ヲ償補スルハ果
シテ有用ニシテ公正ナルヲ得ヘキヤ是ナリ
若シ保護貿易自由貿易ノ制ヲ比較詳論セント欲セハ別ニ一卷ヲナス
ヘクシテ本書ノ本意ニアラサルナリ之ヲ以テ敢テ此ニ研究セス單ニ
兩主義ノ大意ヲ述フルヲ以テ足レリトセン

保護貿易ノ主義ヲ主張シ保護稅ノ良法ナルヲ論スル者ノ說ニ曰ク夫
レ國家ノ富ハ營業ニアリ故ニ政府ハ國家百般ノ營業ヲ獎勵スルヲ以
テ任トナスヘレ則チ外國ノ營業ハ天然內國ノ營業ニ勝ルノ利ヲ有レ
低價ニ物品ヲ產出スルヲ得ル時ハ內國ノ營業者ヲ保護レテ外國ノ競
爭ヲ防遏セサルヘカラス又曰ク大國ハ最モ要用ニレテ要需ノ巨多ナ
ル物品ノ供給ヲ舉テ外國ニ仰ク時ハ其不便云フヘカラサル者アリ豈
ニ策ノ得タル者ナラシヤ夫レ大國ハ石炭坑ヲ有セサルヘカラス製鉄
所ナカルヘカラス木綿毛布ヲ製セサルヘカラス海運ヲ盛ニセサルヘ
カラス是等ハ皆國家ノ元氣ナリ國之ニ依テ榮ニ家之ニ依テ立ツ若レ
大國ニレテ常ニ日用ノ需要品ヲ外國ニ仰カハ一朝戰亂若クハ外國ニ
於テ商業ノ困難アルニ當テハ國際ノ關係全ク斷絶シ云フヘカラサル
困難ヲ生スルヲアラント

是等ノ諸說ニ眩惑シテ諸國ノ政府ハ保護主義ヲ施行レ或ハ外國商品
ノ輸入ヲ禁遏レ或ハ外國品ニ重稅ヲ課セリ是レ實ニ近世ノ事ニシテ
二三十年乃至四五十年前迄ハ盛ニ行ハレタリ其意以爲シク大國ハ其
自ラ消費スル所ノ麥ヲ產スルヲ要ス是ヲ以テ外國ノ麥價佛國ノ麥價
ヨリ低價ニシテ競爭スルヲ得サル時ハ外國麥ノ輸入ヲ禁絶セサルヘ
カラス彼ノ匈牙利魯西亞亞米利加合衆國ノ諸國ハ麥穀ノ生産ニ非常
ノ大利ヲ有レ加フルニ租稅輕ク農民ハ合衆國ハ兎モアレ匈牙利魯西
亞ニ於テハ其貧窶遙カニ佛國ノ農民ヨリ甚シク勞銀モ亦佛國ヨリ少
ナシ是故ニ匈牙利魯西亞合衆國ノ麥ハマルセーニ若クハアーヴルニ
來リテ一エクトリトルニ付十五フランク十七フランク若クハ十八フ
ランクヲ以テ賣ラル、ヲ得ヘント雖佛國ノ麥ハ之ヲ賣リテ相當ノ利
益ヲ得ント欲セハ一エクトリトルニ付二十七フランクヲ下ルヲ得ス之

ヲ以テ佛國政府ニ於テ若シ匈牙利魯西亞若クハ亞米利加ノ麥ヲレテ
無稅ニ輸入スルヲ得セシメハ佛國ノ麥ハ是等ノ競爭ニ拮抗スルヲ能
ハスレテ佛國ニ於テハ麥ノ耕作ヲ廢シ農業是ヨリ衰頽セント保護論
者ハ此說ニ依リテ外國麥ノ輸入ヲ禁シ若クハ重稅ヲ課スルノ至當ナ
ルヲ論セリ

右ノ如キ論理ヲ以テ百般ノ農産若クハ工産ニ適用セリ農業ノ保護ヲ
施サント欲スルハ只ニ麥穀ノモニ止マラス生肉羊毛生糸皆其生産ヲ
保護セント欲スルニアリ將軍ブーグー氏カヨサツク兵ノ入寇ハ恐ル
ニ足ラスト雖モ匈牙利牛肉ノ侵入ハ甚々恐ルヘント云ヒ有名ナル政
治家チーエ氏カ嘗テ佛國ノ老羊ヲ以テオーストラリアラブラマ兩國
ノ少壯ナル羊ニ比較シテ論シタルハ皆吾人ノ知ル所ナリ是等ノ論說
ハ半ハ情論半ハ素說ニシテ之ヲ以テ人心ヲ感動シ其結果ハ多少家畜

羊毛生糸ノ輸入稅ノ増加トナレリ

工業モ亦均ク保護家ノ意ヲ用フル所タリ其說ニ曰ク佛國ニ石炭アリ
佛國ハ之ヲ委棄シテ能ク願ミサルヲ得ルカ彼ノ英國白耳義ハ石炭生
産ノ天利ヲ有シ其礦ハ一處ニ集リ産出ノ量多ク地下ニ沒スルヲ淺ク
發掘ニ容易ニシテ海岸ニ近ク水路ニ便ナリ故ニ低價ニ之ヲ産出スル
ヲ得ヘシ其利ハ佛國ノ企テ及フ所ニアラス然ラハ則チ若シ英國若ク
ハ白耳義ノ石炭ヲシテ恣ニ佛國ニ輸入スルヲ得セシメハ佛國ノ石炭
ハ産出原價ノ貴キニ由リ共ニ競爭スル能ハサルヲ以テ炭坑ヲ閉チサ
ルヘカラス由是觀之ハ平時ニアリテハ國家ノ營業ニ非常ノ損害ヲ被
リ戰時ニアリテハ國家ノ爲メニ無量ノ危害ヲ招クヘント以テ石炭ノ
輸入稅ヲ重課スヘキヲ論セリ

鉄ノ生産ヲ保護セント欲スルノ說モ亦然リ曰ク英國ハ鉄ヲ生産スル

ニ天然ノ大利ヲ有ス其礦量ハ多クテ各地ニ散在セス其質モ亦美ナ
リ加ルニ製鉄ニ使用スル所ノ石炭ハ遙ニ佛國ヨリ低價ナリ瑞典モ亦
鉄産ノ利ヲ有レ佛國ノ及フ所ニアラス是レ其巨大ノ森林ヲ有レ薪炭
ノ低價ナルカ故ニアラスヤト是ヲ以テ外國鉄ノ輸入ヲ禁レ若クハ之
ニ重稅ヲ課セリ

織物ノ業モ亦保護家ノ庇保スル所タリ夫レ英國勞力者ノ勞銀ハ我佛
國ニ於ルヨリ多キハ吾人ノ認知スル所ナリ然ルニ言ヲ設テ曰ク英國
ノ工夫ハ佛國ノ工夫ニ比スレハ巧ニテ且ツカメ製造家ハ薪炭機械
ノ低價ナルカ爲メニ利ヲ有シ資本ノ利子ハ佛國ヨリ低シ而レテ網織
ノ絲ヲ製スルニ英國ノ季候ハ佛國ニ優リ又瑞士ハ鉄石炭ノ價英國ノ
如ク卑シカラズ其地勢需用品ヲ得ルニ便ナラスト雖モ國中水流ニ富
ミ水車ヲ設ルヲ甚々容易ナリ是ヲ以テ佛國ハ英國瑞士ト織物ノ業ヲ

競フヲ能ハスト其初メ外國産ノ糸及ヒ織物ヲ輸入スルヲ禁シ後其輸
入ヲ許シテ重稅ヲ課セリ

航海ノ保護ヲ論スルニ至テモ同一ノ論旨ヲ以テシ加フルニ政治上ノ
論題ヲ以テシ國會議員ノ愛國心ニ訴ルニ至レリ其說ニ曰ク商業航海
ハ軍事航海ヲ養育スル者ニアラスヤ苟モ大國ノ名位ヲ有スル者海軍
ヲ備ヘスレテ可ナランヤ往時佛國海軍ノ盛ナルヤ歐々海戰ノ大勝ヲ
占メ其衰ルヤ諸處ノ植民地ヲ失ヘリ今ヤ佛國ノ商業航海ハ英國ハ勿
論希臘以太利那威埃地利ト雖モ共ニ相競争スルヲ得ス佛國カ是等ノ
小國ト相競フ能ハサル所以ノ者ハ甚々明カナリ夫レ英國ノ海岸ハ佛
國ヨリ多ク其資本ノ多キ植民地ノ廣キ佛國ノ比ニアラス又英國商業
ノ繁榮擴張セルハ世界無比ト稱ス船艦製造ニ必要ナル鉄ノ價卑シク
木材ヲカナダニ得ルノ利アリ石炭ヲ低價ニ得ルノ便アリ英國ノ天利

ヲ占ムルコト豈ニ佛國ノ及フ所ナラシヤ埃地利以太利殊ニ希臘那威ノ如キ航海業ノ微々タル者ニシテ佛國ノ之ト競争スル能ハサル所以ノ者モ亦明カナリ那威タルマニヤニ於テハ巨大ノ森林アリテ木材ハ殆ト價ヲ有セス其民ハ沈靜ニシテ努力能ク艱苦ニ堪ヘ水夫ハ能ク勞レテ勞銀ハ佛國ノ水夫ヨリ少ナリト又一説アリ佛國保護論者ノ據城ニシテ久ク攻撃ヲ被ラサリシ所ノ者タリ曰ク元來佛國ハ巨量ノ物品ヲ輸出セス其輸出スル所ハ重ニ驕奢物葡萄酒破壞ト易キ物品嵩ノ小ナル者ナルヲ以テ佛國ノ商船ハ往々石ヲ積ムノ不便アリ之ニ反レテ英國ノ輸出品ハ鉄石炭等巨量ノ物品多ク那威ニハ木材アリト然ルニ希臘以太利埃地利ニ至テハ佛國ニ秀テタル巨量ノ輸出品ナキヲ以テ保護論者ハ其説ヲナスニ苦ミ只曰ク是等ノ諸國ハ別ニ天利ヲ有セリト其歸スル所ハ若シ英國那威希臘以太利等ノ商船ヲレテ佛國ノ船舶ト

均ク佛國ノ諸港ニ出入スルヲ許サハ佛國ノ海運ハ之ト競争スルヲ得スレテ衰廢スヘシト云フニアリ此ニ於テ佛國ノ諸港ニ於テハ内國ノ船舶ニ課セサル所ノ租稅ヲ以テ外國ノ船舶ニ課セリ之ヲ稱シテ「スルタツキスデ、バヴィヨント」云フ右ノ特別稅ヲ以テ外國船舶ニ課スルモ尙ホ論者ノ意ニ於テハ佛國ノ航海業ヲ保護スルニ充足セス實ニ佛國船舶ハ歐洲諸港即チリヴハブールアンヴエル等ノ外國品ヲ貯藏スル處ニ到テ外國品ヲ積ント欲セハ只其欲スル所ナルヘシ何ソ殊更ニ遠洋ニ航シ其產地ニ就テ之ヲ求ルヲ要センヤ然ルニ論者或ハ曰ク若シ佛國ノ船舶ヲシテ恣ニ歐洲諸港ニ於テ物品ヲ得セシメハ佛國船舶ノ遠洋ニ航スル者ナキニ至ラン如何トナレハ商賈ハ線綿羊毛ヲリヴハブールニ咖啡砂糖ヲアムステルダムロテダムアンヴエル等ニ得ルハ却テ熱帶諸國ニ求ルヨリ利アル

十二
ヘキヲ以テナリ夫レ佛國ノ爲メニ要スル所ノ者ハ遠洋航海ニアリ遠洋航海ニアラサレハ航海ノ術進マス然ラハ則チ佛國ノ船舶ヲレテ強テ產地ニ就キ直チニ其物産ヲ得セシメサルヘカラス宜ク遠航獎勵ノ法ヲ求ムヘント此ニ於テ外國物品ノ直チニ其產地ヨリ來ラステ歐洲諸港ヨリ入ル者ニ特別ノ稅ヲ課セリ之ヲ稱シテ「アンツレボ」ト云フ例ヘハ佛國ノ一商船リヴハプール若クハアンヴェルニ於テ綿ヲ積ミアール港ニ入ル時ハ「アンツレボ」稅ヲ課レ均ク綿ヲ積ミタル佛國船ト雖モ其產地即チ合衆國若クハ印度若クハ埃及若クハブラザルヨリ之ヲ積來ル者ニハ該稅ヲ課セス以テ殊更ニ遠洋航海ヲ獎勵セリ保護論者ハ尙ホ一步ヲ進メテ曰ク航海ヲ盛ニセント欲セハ今日ノ船舶ヲ有スルヲ以テ足レリトセス必スヤ内地ニ於テ之ヲ製造シ供給ヲ外國ニ仰クヘカラス抑モ造船ノ業ハ航海ノ點ニ於テモ兵事ノ點ニ於

十三
テモ國家ノ爲メニ肝要ナル營業トス然ルニ佛國ニ於テハ造船ニ要ナル木材銅鉄麻等ノ物品低價ナラス佛國ノ工夫ハ英國工夫ノ精巧ナルニ如カス佛國ノ資本ハ英國資本ノ裕カナルニ及ハス故ヲ以テ造船ノ業ハ到底英國ノ造船ト競争スルヲ得スト此ニ於テカ佛國政府ハ佛國人民カ外國製造ノ船艦ヲ購買シテ之ヲ使用スルヲ禁シ後チ其禁ヲ弛ベ之ヲ輸入スルヲ許シ課スルニ非常ノ重稅ヲ以テセリ佛國ニ於テ保護制度ノ發達セシ形况ハ大略斯ノ如クニシテ常ニ佛國ノ農產品若クハ工產品ノ生産ノ形情ヲ以テ之ニ均キ外國品生産ノ形情ニ比較シ佛國ノ農工ハ外國ノ農工ニ及ハストナレ之カ輸入ヲ禁シ若クハ非常ノ重稅ヲ課スルノ必要ナルヲ論セリ佛國政府カ輸入稅率ヲ定メントスルニ方リ特ニ被保護者ニ諮詢セシヲ以テ保護論者ノ諸説ハ大ニ稱揚讚美スル所トナレリ例ヘハ外國麥

ニ稅セント欲スルヤ農者ニ問フニ其所見ヲ以テセリ農者皆答ヘテ曰ク外國麥ノ競争ハ佛國ノ農ヲ害レ遂ニ我農業ヲ倒スニ至ラント航海ヲ保護スルヤ重ニ船舶所有者ニ謀リ紡績ヲ保護スルヤ之ヲ其生産者ニ詢ヘリ之ヲ以テ其答ル所ハ皆一途ニ出テ曰ク余輩ハ外國ノ競争ニ堪ヘス宜ク外國競争品ノ輸入ヲ禁絶スルカ若クハ之ニ課スルニ重稅ヲ以テスヘルト

近世ニ至ル迄歐洲諸國關稅ノ政策ハ斯ノ如シ僅ニ千八百二十五年ノ頃ホヒ始テ實際ノ不利ヲ見テ保護政策ノ不可ヲ論スル者アリ爾後時トシテ民心ヲ動カシ其歡心ヲ得ルコアルニ至レリ

余輩ハ取テ茲ニ經濟ノ主義ヲ論スルニアラス又保護貿易ニ反對ノ主義ヲ説カント欲スルニアラス自由貿易論者ト雖モ百業ハ國富發達ノ基タルヲ以テ之カ發達繁榮ヲ欲セサルニアラス然ルニ其保護論者ト

主義ヲ異ニスルハ百業ノ用ヲシテ良善ナラレメント欲スルニアリ故ニ曰ク保護稅ヲ以テ一切ノ外國品ニ課スル時ハ却テ内國農工商三業ノ發達ヲ妨ケ國富ノ進歩ヲ遏ムヘルト自由貿易ノ主義ハ業已ニ成蹟ヲ表ハレタルヲ以テ敢テ此ニ之ヲ論ヒス只三十年以來殊ニ二十年以後歐洲西部諸國關稅法ノ漸ク寛容ノ主義ニ移リテ景况ヲ略陳セント

歐洲ニ於テ久ク保護政策ノ行ハレタル所以ノ者他ナシ政府カ保護稅ヲ課セント欲スルニ當テヤ專ラ被保護者ニ諮詢セシニ由ル此輩ハ皆保護稅率ヲ維持スルヲ利トスル者ナリ然ルニ歲月漸ク遷ルニ從テ世或ハ其不便ヲ覺リ某々ノ品ニ課スル所ノ保護稅ハ我營業ニ害アリト言フ者アルニ至レリ今時代ノ序ヲ逐フテ之ヲ左ニ陳セン

先ツ初メニ保護ヲ受ケタル者ヲ麥トナス是レ其國富ニ最モ必要ナル

ヲ以テナリ佛國英國及ヒ他ノ諸國皆早晚外國麥ノ輸入ヲ禁セサルハ
ナシ然ルニ嚴ニ其輸入ヲ禁スル時ハ凶年ニ際シテ内國人民ヲ餓死セ
シメサルヘカラス豈ニ人情ノ忍フ所ナランヤ此ニ於テ應價法ト稱ス
ル一種奇巧ノ方法ヲ設置セリ其法タル稅率ヲ變動スルヲ得ル者ニシ
テ内國市場ニ於テ麥價大ニ下落セシ時ハ外麥輸入ノ稅率ヲ重フシ平
年ニアリテ麥價通常ナル時ハ少シク稅率ヲ減シ凶年ニ當テ内地ノ收
穫ヲ失ヒ麥價非常ニ騰貴セシ時ハ全ク輸入稅ヲ廢スル者トス政府ハ
右ノ方法ヲ以テ内國農產品ノ價ヲ維持シテ農ヲシテ利ヲ失ハシメス
又饑餓ヲ免レシメ一舉兩全ノ政策ナルヘシト信セリ然ルニ農業保護
ノ爲メニ食品ノ價年ニ騰貴シ英國ニ於テハ殊ニ甚ク製造家及ヒ勞力
者ハ其保護ノ不利ヲ憤ルニ至レリ開港場ノ商賈船主等モ亦其感ヲ同
フレテ曰ク應價法アル時ハ船主麥商等ハ亞米利加ダニニューア河邊若

クハ魯西亞ニ船ヲ送リテ麥ヲ買ハント欲スルモ其内地ノ港ニ着スル
ニ至テ果シテ幾許ノ租稅ヲ拂フヘキカラ豫知スルヲ得サルヲ以テ五
穀ノ賣買ヲ妨ルヲ甚シト元來穀物ハ相場ノ高低甚キ者ニシテ賣買ノ
不便少ナカラサルニ應價法ヲ以テ殊更ニ一不便ヲ增加セリ之ヲ以テ
麥價騰貴シ饑饉却テ起ルニ至レリ此ニ於テ製造家ハ食品騰貴ノ爲メ
ニ勞力者ノ勞銀ヲ増加セサルヘカラサルヲ恐レ開港場ノ商賈ハ取引
ノ不便ヲ歎シ相共ニ力ヲ合セテ應價法ヲ廢シ代ルニ定額稅ヲ以テス
ルヲ得タリ後遂ニ全ク其輸入稅ヲ廢スルニ至レリ
羊毛生絲絲綸真鍮鐵ノ如キ工業品ノ保護モ亦麥ノ保護ト均シク商賈
上多少ノ不便ヲ生セリ是等ノ物品保護ノ不便ヲ唱ヘタルハ實ニ此諸
品ヲ以テ製造ヲナス者ニアリ其言ニ曰ク製造ニ用フル粗生品ノ市價
外國ノ市價ヨリ貴キヲ以テ余輩ハ此諸品ヲ以テ製造シタル物品ヲ輸

出シテ外國ノ製造者ト利ヲ競フコト能ハス故ニ製造品ヲ輸出スル時ハ製造ニ使用セシ物品ノ輸入税ニ均キ額ノ拂戻ヲ請ハサルヘカラスト其言ヤ實ニ當然ナリト云フヘン若レ之ヲ願ミスレテ粗生品ニ重税ヲ課シ之ヲ以テ製造シタル物品ヲ輸出スルニ當テ拂戻ヲナサレハ内國ノ製造業ハ全ク廢絶スルニ至ラン

此ニ於テ拂戻(ドローバック)ノ法ヲ設ケ輸入税アル粗生品ヲ以テ製造シタル物品ヲ輸出スル時ハ其物品ニ使用シタル粗生品ノ多少ヲ測リ曩キニ輸入セシ時拂ヒタル税額ヲ拂戻セリ然ルニ須臾ニシテ政府人民共ニ其不便ヲ覺レリ如何トナレハ製造品ハ幾許ノ粗生品ヲ含有スルヤ時トシテハ製造品ノ量目幾許長サ幾許ニ使用シタル粗生品ノ如何ヲ辨知スルコト甚ク難ケレハナリ例ヘハ一反ノ木綿一匹ノ絹ニハ練綿幾許若クハ生糸幾許ヲ含有スルヤ之ヲ確知スルコト甚ク難シ是ヲ

以テ拂戻シノ額多クハ不精確ニシテ正平ナル能ハス其間往々奸工ノズルアリテ陽ニ製造品ノ外面ヲ裝飾シテ政府ヲ欺キ不當ノ拂戻シヲ貪リタルコト少ナカラス然ルニ政府ハ久ク該法ヲ以テ輸出奨励ノ道ヲ得タリトナシ損失ヲ受ケ詐欺ニ逃フヲ意トセス頗ル自ラ満足セリ實ニ政府ハ粗生品ノ輸入ニ課シタル税額ニ過ル者ヲ以テ製造品ノ輸出ニ拂戻シタルニ依リ拂戻シヲ受ル製造品ノ輸出ヲ奨励シタルヤ疑ヲ容レサルナリ斯ノ如ク數年ノ間政府ハ損失ヲ被ルヲ以テ快シトシ糾奪セラル、コト益多ケレハ愈満足シタルハ豈ニ奇怪ノ至ナラスヤ後チ政府モ漸ク其利ナキヲ覺リ其愚ヲ見テ之ヲ廢セリ一方ニ於テハ拂戻シノ法ハ時トシテ不正ノ製造家ニ利アルヘシト雖モ一般ノ商業上ニ不便ヲ免レサル者アリ即チ商賈ハ粗生品輸入ノ時ニ於テ租税ヲ拂ハサルヘカラスト是ナリ此輸入税ハ製造品トシテ輸出スル時拂戻サ

ルヘキ者ナレ用尙ホ粗生品輸入ノ日ヨリ製造品輸出ノ時迄其金利ヲ失フヘク割合ニ巨額ノ資本ヲ要スヘク商賈ノ爲メ多少ノ不便ヲ生スヘキナリ

其不便ヲ避レカ爲メニ或ハ暫時輸入免許ノ法ヲ發見セリ此法ハ遙ニ拂戻レノ法ニ優ル者ニレテ諸國皆之ヲ以テ拂戻レノ法ニ替ヘントスルノ勢アリ夫レ拂戻レノ法ハ有税ノ粗生品ヲ以テ物品ヲ製造シ之ヲ輸出スルニ當テ其輸入税ヲ拂戻ス者ニシテ暫時輸入免許ノ法ハ綿糸木綿織金屬ノ如キ粗生品ヲ以テ定期ノ後物品ヲ製シ之ニ對スル所ノ製造品ヲ輸出セント欲スル者ハ一時輸入税ヲ免レ之ヲ輸入セシムルニアリ暫時輸入免許法ノ拂戻レ法ニ勝ル所以ハ租税ノ爲メニ利子ヲ失ハス資本ノ額ヲ増加セサルニアリ而シテ其免税ノ時日ニ定期アリ粗生品ヲ輸入スルニ當リ輸入者ハ其期限内ニ於テ之ニ對スル所ノ製

造品ヲ輸出スヘク若シ之ヲ爲サハル時ハ成規ノ租税ヲ拂フヘキ約定ヲナス者トス其約定ヲ稱シテアツクイタコーレシオント云フ

盛ニ保護貿易ノ政策ヲ行フ國ニ於テハ暫時輸入免許ノ法ハ頗ル要用ナリトス如何トナレハ政府若シ一切ノ粗生品若クハ未成品ニ租税ヲ課スル時ハ之ヲ以テ製造シタル物品ノ輸出甚々難キニ至ルヘケレハナリ例ヘハ鐵ニ二割乃至三割ノ税ヲ課スレハ機械製造家ハ必ス言ントス余輩ハ外國市場ニ於テ英國白耳義日耳曼ノ同業ト相競争スルヲ得ス彼輩ハ其粗生品ニ輸入税ナレト雖モ我ハ則チ之アレハナリ然ラハ則チ余輩モ亦粗生品ノ無税輸入ヲ請ハサルヘカラス若シ悉ク之カ輸入税ヲ廢スルヲ得サレハ輸出ニ宛ル製造品ニ使用スヘキ部分ノ粗生品ノ税ヲ除カント更紗染師ノ木綿ニ於ルモ亦然リ由是觀之ハ苟モ保護政策ヲ施コス時ハ暫時輸入免許ノ法實ニ止ムヘカラス者ナリ

然ルニ該法モ亦頗ル紛議ヲ免レサル者タリ其論點ニアリ其一ニ曰ク
 暫時輸入免許ノ法ニ據レハ粗生品ニシテ物品ヲ製造スル後輸出スル
 者ハ稅セス内國用ニ供スル者ハ之ヲ稅スルニアリ故ニ其輸出スル所
 ノ製造品ハ必ス暫時輸入免許ヲ受ケタル特別ノ粗生品ヲ以テ製造セ
 レ物品ニアラサレハ不可ナルカ若クハ之レト同量同質ナレハ輸入品
 若クハ内國産品ヲ以テ製シタルノ別ヲ問ハサルカ例ヘハ此ニ機械製
 造家アリ鐵製ノ機械ヲ輸出ストセン此時ニ於テ其機械ヲ製造シタル
 地鐵ハ嘗テ暫時輸入免許ノ許可ヲ得タル者同一品ニアラサレハ不可
 ナルカ若クハ其鐵ト同量ノ者ヲ以テ製シタル者ナレハ妨ナキヤ或ハ
 同一品ニアラサレハ不可ナリト云ロ或ハ同量ナレハ可ナリト稱シ甲
 論シ乙駁シ議論頗ル紛然タリ政府ハ久ク同一品說ヲ守リ機械製造ノ
 爲メニ暫時輸入免許ヲ許シタル地鐵ニ官印ヲ捺シ機械トシテ輸出ス

ル時ハ鐵ニ捺シタル印ト關稅ノ印ト符合セサルヘカラサル者トセリ
 本綿ヲ輸入シテ更紗トナス者モ亦然リ其營業者ニ不便ナル果シテ如
 何ソヤ

其二ニ曰ク暫時輸入免許ノ法ニ於テハ無稅ニテ輸入シタル粗生品ニ
 對スル製造品ヲ輸出スルハ已ニ免許ヲ得タル製造家ニシテ其免許證
 ヲ得タル稅關ヨリスルニ限ル者カ若クハ無稅ニテ若干量ノ粗生品ヲ
 輸入シ定期内ニ之ニ對スル量ヲ以テ製造シタル物品ヲ輸出スヘキ約
 定ヲナシタル者ハ其免許證ヲ他ノ製造家ニ讓與シ佛國內何處ノ稅關
 ニテモ再輸出ヲナスヲ得ルヤヲ知ラント欲スルニアリ第二ノ場合ニ
 於テハ若シ定期内ニ於テ何處ノ稅關ニテモ暫時輸入免許ノ證狀ヲ有
 スル製造家ガ無稅ニテ輸入シタル粗生品ニ對スル製造品ヲ輸出スル
 時ハ當初免許ヲ得タル者ハ其約定ノ責任ヲ解ク者ナリ此免許證ノ取

引授受ヲ稱レテトウフイツクデザツクイタコーレオント云フ余輩ヲ以テ之ヲ見レハ免許證ノ取引ハ頗ル便利ニレテ有功無害ノ方法ト云フヘレ

斯ノ如ク拂戻レ及ヒ暫時輸入免許ノ法ヲ以テ稍々保護稅ノ不便ヲ削減スルヲ計レリト雖モ粗生品及ヒ製造品ニシテ高等ナル製造ノ粗生品トナル者ニ重稅ヲ課スル時ハ官府ノ煩雜ナル規則ニ由テ取引ノ不便ヲ釀シ官民ノ間常ニ爭論ヲ免レス是ヲ以テ一般ノ輸出者殊ニ海港場ノ商賈ハ保護制度ノ不便ヲ厭ヒ世人モ亦漸ク一般利益ノアル處ヲ覺ルニ至レリ然ルニ公衆ハ元來眞理ヲ解スルヲ甚タ遲キ者ニシテ種々ノ規則手續キハ二三ノ先進者ノ利スル所トナリ一般營業ノ發達繁榮ノ妨害タルヲ覺リシヲ甚タ遲シ學士輩ハ夙ニ人カヲ以テ天理ヲ曲ケ國民賣買ノ自由ヲ束縛スルハ却テ一國ノ生産力ヲ滅殺スヘシ之ヲ

放任スルノ利アルニ如カサルヲ論レ或ハ意ヲ消費者ノ利ニ注キ保護貿易ノ制度ハ一般人民ノ損害タルヲ唱ヘ或ハ單ニ勞働ヲ以テ國富ノ本源ト云フヘカラス生産ノ多量ニシテ低價ナルヲ貴フヘク最多量ノ生産ヲ得最大額ノ交換價格ヲ得ント欲セハ宜ク土地ト人民トニ適應スル者ニ勞力ヲ施レ其適セサル者ハ興廢ヲ自然ニ任スヘント稱シ又曰ク内國營業ノ進歩ヲ助ル者ハ外國ノ競争ヲ以テ最要トナス紡績製鐵ノ如キ大業ニ至テハ内國ノ競争甚タ狹隘ニレテ歐々特占ノ勢アリ故ニ外敵ノ之カ慮ヲ窺フ者ナケレハ怠慢ヲ生シ易シト是等ノ諸説ハ初メ之ヲ信スル者甚タ少ナカリシモ漸ク其實證ヲ表ハレ終ニ世人ノ解スル所トナリ大ニ關稅ノ方向ヲ動カシ保護說ノ勢力日ニ漸ク衰ヘ或ル國ニ於テハ輸入稅ヲ以テ全ク歳入ノ爲メニセントスルノ勢アリ關稅ハ歳入ヲ得ルカ爲メニスルモノ保護ノ爲メニスルモノヲ問ハス

分テ四種トナス其性質各大ニ相異アリ曰ク輸出税曰ク經過税曰ク輸入税曰ク航海税是ナリ

輸出税ハ歐洲西北ノ諸國ニ於テハ之ヲ行フ者少ナシ佛國ニ於テ方今尙ホ或ル物品ニ課スルニ輸出税ヲ以テスト雖モ其收入ハ僅ニ二三十萬フランクニ過キス宜ク之ヲ廢スヘシ以太利ハ葡萄酒及ヒ硫黄ニ輸出税ヲ課シ其收入スル所ハ佛國ノ輸出税ヨリ多シ或ル國ニ於テハ内國品ノ輸出ニ税ヲ巨額ノ收入ヲ得ル者アリ例ヘハブラジルノ咖啡白露ノ「グアノ」及ヒ硝酸鹽印度ノ鴉片ニ於ルカ如キ是ナリ元來輸出税ハ其主義ニ於テ良法ニアラス輸出税ヲ課スル所ノ物品ハ其生産ニ非常ノ天利ヲ有スルカ若クハ生産ノ特占ヲ有スル者ニアラサレハ不可ナリ若シ天然ノ特利ヲ有セスレテ之ニ輸出税ヲ課スル時ハ内國農工ノ生産ヲ發達シ輸出ヲ盛ニスルヲ妨クヘシ例ヘハ以太利ノ如キ若

シ其葡萄酒ニ課スル所ノ輸出税ヲ廢セハ以太利ノ葡萄酒生産ノ量ヲ増加シ新クニ國富發達ノ路ヲ開クヲ得ン

然レモ其國天然無比ノ利ヲ有シ殊ニ某物品生産ノ特占ヲ有スル時ハ之ニ同シカラス此ノ如キ場合ニ於テハ輕課シテ處置宜キヲ得レハ輸出税ヲ課スルモ強チ不經濟ニアラサルヲ得ヘシ例ヘハ白露ノ「グアノ」ニ税スルカ如キ其宜キヲ得タル者ト云フヘク其硝酸鹽ニ於ルモ蓋シ亦同シ以太利ノ硫黄ニ輸出税ヲ課スルモ亦理ナキニアラス支那ニ於テモ茶ノ輸出ニ租税ヲ課スルモ敢テ大不便ナカルヘシ凡ソ輸出税ヲ課スルノ困難ハ税率ノ程度ヲ測リ輸出税ノ爲メニ外國ノ需要ヲ減セシムルヲナク又從來天利ノ我ニ及ハサル外國ヲシテ同一ノ生産ヲ起スヲ得セシメヌ又ハ其代用トナル物品ヲ生産セシメサルヲカムルニアリ例ヘハ白露ニ於テ「グアノ」若クハ硝酸鹽ニ過重ノ輸出税ヲ課

スル時ハ其價ヲ騰貴シ之ヲ他國ニ求メシムルニ至ラン現ニ埃及ニハ
 「グアノ」アリボリヴィヤニハ硝酸鹽ヲ産スト云フ今日ハ白露ノ「グア
 ノ」硝酸鹽ノ低價ナルヲ以テ他ノ諸國ハ之ト相競フヲ能ハスト雖モ
 若シ白露ノ輸出税重キニ過キ其價ヲ騰貴セハ外國ハ他ニ同物品ヲ求
 ルカ若クハ代用品ヲ以テ之ニ代フルニ至ラン則チ「グアノ」若クハ硝
 酸鹽ノ租税ヲ増加シテ其價大ニ騰貴セハ歐洲ノ農夫ハ他ノ天然肥料
 若クハ人造肥料ノ使用ヲ増シ「グアノ」硝酸鹽ノ用ヲ減スルヲ得ヘレ
 以太利ノ硫黃ニ課スル所ノ輸出税ノ如キモ亦然リ若シ以太利ニ於テ
 硫黃產出ノ特占ヲ有セハ其輸出ニ租税ヲ課スルハ妨ケサルモ之ヲ課
 スルコト重キニ過キ外國ヲシテ他ニ硫黃坑ヲ求メシメ若クハ代用品ノ
 使用ヲ發達セシムルハ計ノ得マル者ニアラス願ミサルヘカラス
 輸出税ノ心ヲ用フヘキコト右ノ如シ然リト雖モ或ル物品ノ生産ニ非常

ノ天利ヲ有シタル場合ニ於テハ輸出税ヲ課スルモ可ナリ殊ニ其物品
 ハ礦産ノ如キ天然物ニシテ產品ニ限リアレハ通規ニ於テ輸出税ヲ課
 スルヲ善トス如何トナレハ斯ノ如キ租税ハ重ニ外國人ノ負擔スル所
 トナルヘキヲ以テ從テ内國被稅者ノ負擔ヲ減スルヲ得レハナリ或ハ
 云ニ是等ノ輸出税ハ外國消費者ノ負擔スヘキ所ナルヲ以テ若シ其租
 税ヲ課セサレハ外國ニ於テ該品ヲ消費スルコト益多ク從テ内國ノ生産
 者ハ巨利ヲ占サルヲ得ヘシト右ノ理論ハ至當ナリト云フヘカラス其
 天然特殊ノ利ヲ有スル所ノ物産ニ課スル所ノ輸出税ハ大半外國消費
 者ノ負擔スル所トナルト云フヲ得ヘシ此場合ニ於テモ亦一般ノ消費
 税ト均ク生産者モ多少其租税ヲ分擔スヘキ者ナリ如何トナレハ租税
 アレハ其消費ヲ抑制スルヲ以テ從テ其生産ヲ減スヘケレハナリ然レ
 トモ其租税ノ大部分ヲ負擔スヘキハ斷然消費者ニ在リトス如何トナ

レハ生産者ハ若シ其資本ヲ費シ勞力ヲ用ヒテ相當ノ利益ヲ得ル能ハ
 サレハ之カ生産ヲ止ムヘケレハナリ其輸出税ニ於ルモ亦然リ只輸出
 税ノ内地ノ消費税ニ異ナル所ノ者ハ消費者ハ外國人ニシテ他國ニ於
 テ同物品若クハ代用品ヲ求ルハ只其欲スル所ナルニアリ由是觀之ハ
 「デアノ」硝酸鹽、硫黃、茶、鴉片ノ如キ特占ヲ有スル所ノ生産物ニ輸出税
 ヲ課スルモ大不便ナキヲ知ルヘク而シテ特占ヲ有スル物品ト雖モ其
 輸出税ヲ重課シテ大ニ外國ノ消費ヲ減セシムヘカラス
 之ニ反シテ他ノ諸國ニ於テ容易ク生産スルヲ得ヘキ所ノ物品ニ輸出
 税ヲ課スルハ良策ニアラサルナリ夫ノ以太利ノ葡萄酒ニ輸出税ヲ課
 スルカ如キ宜キヲ得タル者ニアラスブラジルノ咖啡ニ輸出税ヲ課ス
 ルカ如キ蓋シ亦然ラン今英國ニ於テ石炭ニ輸出税ヲ課スルヲアラハ
 大ニ經濟ノ要ヲ誤ラン然ルニ英國ノ場合ニ於テハ或ハ云ン理財上ノ

外別ニ一理アリ抑モ石炭ハ産出ノ量ニ限アリ早晚其坑ヲ虛フスヘキ
 ヲ以テ之カ保存ヲ計ラサルヘカラス英國ノ如キハ工業盛ニシテ石炭
 ノ低價ナルヲ要ス内國ノ營業ヲ保護セント欲セハ宜ク輸出ヲ抑制ス
 ヘント其言ヤ一理アルカ如シト雖モ素ヨリ偏見タルヲ免レサルヘシ
 第一ニ英國石炭ノ量ハ實ニ驚クヘキモノニシテ二千億トンナルヘシ
 ト云フ然ラハ則チ方今英國ニ於テ毎年消費スル所ノ量ヲ以テ之ヲ算
 スレハ凡ソ二千年ヲ支フヘシ爾後毎年ノ消費高ヲ増加ストナスモ尙
 ホ八百年ヲ支フルニ足ルヘシ第二ニ英國ニ於テ石炭ニ輸出税ヲ課ス
 ル時ハ種々ノ營業ヲ害スヘシ例ヘハ航海業ノ如キ船積ニ供スル最良
 ノ輸出品ヲ失ヒ大ニ困難ヲ覺ユヘシ又石炭ノ輸出税ハ外國ヲシテ相
 互政策ヲ行ヒ英國産品ニ輸入税ヲ重課スルニ至ラシムルノ恐レアリ
 然ラハ則チ英國ニ於テ石炭ニ輸出税ヲ課スルハ不便多クシテ利少ナ

シト云フヘシ

若シ特別ノ場合即チ天然特占ノ利ヲ有スル所ノ物品ニアラサレハ輸出税ヲ課スル能ハス又之ヲ課スヘカラサルヲ知ラハ經過税ハ決シテ課スヘカラサル者タルヲ解セン夫レ外國品ヲシテ我内地ヲ經過セシムルノ利ハ大ナリ其利益ハ單ニ外國品ノ經過運搬ヲ管理スルカ爲メニ内國人民カ營業利益若クハ勞銀トシテ得ル所ニ止マラス此直接ノ利益ハ却テ遙ニ間接ニ得ル所ノ利益ニ及ハサル者ナリ之ヲ實地ノ經歷ニ徵スルニ外國物品カ内地ヲ經過スル時ハ外國品ノ商況ヲ詳察スルヲ得ルヲ以テ外品ノ經過セサル國ニ比スレハ外品ヲ低價ニ買フヲ得ヘシ而シテ外國物品ノ出入盛ナレハ其國ノ商況繁昌シ商業益發達シ賣買ノ便從テ増スヘキナリ是ヲ以テ開明諸國ハ皆經過税ヲ中央政府ニ徵セス然レトモ千八百五十年以前ハ經過税ノ法盛ニ行ハレ税

率重ク時トシテハ外品ノ經過ヲ禁セシモノアリ

歐洲ニ於テ關稅ノ重要ナル者ハ外國ノ商品ニ課スル所ノ輸入税トス故ニ深ク之ヲ論究スルヲ善トス

輸入税ハ農產品製造ニ用フル粗生品鑛物ノ如キ天然ノ生産物若クハ製造品ニ課スルヲ得ヘシ而シテ其税ハ國餉税タルヲ得ヘク又保護税タルヲ得ヘシ何ヲカ國餉税ト云フ曰ク專ラ國庫ノ收入ヲ得ルヲ目的トシテ徵收スル者是ナリ何ヲカ保護税ト云フ曰ク外國物品ノ競争ヲ防キ内國ノ營業ヲ補助スルヲ目的トシテ徵課スル者是ナリ

土地ヨリ産スル天然ノ生産物ニ輸入税ヲ課スルニ茶、咖啡、椰子、往時ニ於ル砂糖若クハ烟草ノ如キ者ニシテ内地ニ同物品ヲ生セサルカ若クハ之カ代用トナルヘキ者ヲ産セサル時ハ純然タル國餉税ナリ又現今ノ砂糖ノ如キ者ニシテ内地ニ於テモ均ク之ヲ産スト雖モ輸入税ヲ課

スルニ内地ノ産品ニ課スル所ノ租税ト相同シケレハ其輸入税ハ亦國
 餉税ト云フヘキナリ之ニ反シテ輸入税ヲ課スル所ノ外國ノ天産物ハ
 内地ニ於テ同物品ヲ産スルカ若クハ之カ代用トナルヘキ者ヲ産出シ
 而シテ内國産品ハ租税ヲ免ルカ若クハ外國産品ニ課スル所ノ者ヨリ
 輕税ヲ負擔スル時ハ其輸入税ハ保護税ナリ例ヘハ外國産ノ羊毛ニ輸
 入税ヲ課シ内國産ノ羊毛ニハ一ノ租税ヲ課セサレハ其輸入税ハ保護
 税ト云フヘキ者ナリ如何トナレハ羊毛ノ價ヲシテ輸入税額ダケ若ク
 ハ之レニ均キダケ騰貴セシメ以テ内國ノ羊毛ヲ保護スレハナリ此時
 ニ當テ羊毛ノ消費者ガ實際ニ仕拂フ所ノ租税ハ政府ガ國庫ニ收入ス
 ル所ノ租税ヨリ遙カニ多シ政府ハ實ニ外國産ノ羊毛ニ課スル所ノ租
 税ヲ收ルニ過キスト雖モ羊毛ノ價ハ一般ニ其輸入税額ダケ若クハ之
 ニ均キ額ダケヲ騰貴スルヲ以テ内國産ノ羊毛ヲ消費スル者ハ政府ニ

租税ヲ納メスト雖モ内國羊毛ノ生産者ニ租税ヲ拂フノ實アリ斯ノ如
 キ場合ニ於テハ僅ニ一千萬フランクノ收入ヲ得ルニ政府ハ消費者ニ
 三倍四倍時トシテハ十倍ノ租税ヲ課スルヲ多シ是レ即チ甲ニ取テ乙
 ニ與ル者ナリ不公平モ亦甚シカラスヤ方今佛國ニ於テ石炭ノ輸入ニ
 税スルカ如キ即チ是ナリ佛國政府カ石炭ニ輸入税ヲ課シテ收入スル
 所ノ者ハ千二百萬乃至千三百萬フランクアリ而シテ其租税ハ輸入石
 炭ノ價ヲ騰貴スルノミナラス内國産ノ石炭モ亦保護ヲ受テ其價ヲ騰
 貴シ佛國ノ石炭ノ消費者ハ實際其三倍ヲ拂ヘリ保護税ノ害亦甚シカ
 ラスヤ
 製造品ニ課スル所ノ輸入税モ亦國餉税タルヲ得ヘク保護税タルヲ得
 ヘシ然レトモ保護税ノ性質アルヲ最モ多シ若シ輸入スル所ノ製造品
 内國ニ於テ製造スル所ノ物品ト均クシテ共ニ同一ノ租税ヲ課スル時

ハ其輸入税ハ國餉税ナリ又假令外國品ニ輸入税ヲ課シテ内國産ノ同品ニ税セサルモ保護税ト云フヘカラサル者アリ例ヘハ外國ノ羊毛ニ一分若クハ二分ノ輸入税ヲ課セリトセン然ル時ハ羊毛ヲ以テ製造シタル外國ノ産品ニ償補税ヲ課セサルヘカラス然ラサレハ佛國ノ毛織製造家ハ羊毛ニ租税ヲ拂フヲ以テ外國ノ同業者ト相競争スル能ハサルヘク佛國ノ毛織營業ハ廢絶スルカ然ラサルモ大ニ其業ヲ衰退スヘレ是レ佛國製造家ノ勉メサルニ由ルニアラス佛國工夫ノ精巧ナラサルニ由ルニアラス政府カ其税スヘカラサル所ノ者ニ税スルカ爲メニ起ル者ナリ然ト雖モ其粗生品ニ課スル所ノ租税ト製造品ニ課スヘキ者トヲシテ符合セシメ毫厘ノ差違ナカラシムルハ甚々難シトス殊ニ工業益進歩シ益完備スルニ從テ精密ノ比例ヲ算スルコト益難シ則チ其織物ハ純絲ヲ用ヒスシテ綿毛ヲ混シ絹毛ヲ和スル時ハ幾分ノ羊毛幾

分ノ綿糸又幾分ノ絹糸ヲ含有スルヤ確知スルハ殆ト能クシ難キ所ナリ故ニ外國ノ製造品ニ償補税ヲ課セント欲セハ其適度ヲ得ス或ハ輕キニ失シテ外國ノ製造家ヲ補助シ或ハ重キニ失セハ内國ノ製造家ヲ保護スルニ至ルヘシ其困難モ亦甚シ凡ソ粗生品即チ直チニ消費ニ供セス之ヲ以テ他ノ生産ニ使用スル所ノ物品ニ税スヘカラスト云フハ一ニハ斯ノ如キ非常ノ困難アルヲ以テナリ製造品ニ償補税ヲ課スル時ハ多少保護税タルヲ免レサルナリ立法官ハ其輕キニ失シテ内國ノ製造家ニ不利ナランコトヲ恐レ若クハ内國製造家ヲ利センコトヲ慮カリ之カ税率ヲ定ルニ單ニ粗生品ノ租税ヲ償補スルニ止ラス税率ヲ重フシテ多少内國ノ製造家ヲ保護スルノ臭氣アリ保護政策ヲ施コスニ當リ立法官ハ製造品ニ課スル租税ノ階級ヲ定メ

物品ノ既成未成ノ度ニ應シテ稅率ヲ進ム故ニ輸入稅ハ二箇ノ分子ヲ以テ成ル者トス即チ第一粗生品ニ課シタル一切ノ租稅ヲ償補スル者第二製造品ヲ保護スル者ニシテ其既成品ニ近ヅク一階毎ニ其稅率ヲ増加スル者ナリ

夫レ方今工業上分業ノ盛ナルハ吾人ノ共ニ知ル所ナリ試ニ更紗ノ製造ヲ以テ之ヲ講セン

更紗ノ製造ハ大成スルニ至ル迄數種ノ所作ヲ經ル者ニシテ或ハ一社ニ於テ之ヲ爲シ或ハ業種ヲ異ニスル毎ニ營業所ヲ分テ之ヲ爲ス都テ其數種ノ所作アルカ爲メニ外國品ノ輸入稅ニ數多ノ階級ヲ生ス

今更紗ノ一端ヲ製セント欲セハ先ツ其粗生品繰綿ヲ得テ然ル後綿糸ヲ製セサルヘカラス若シ國境ニ於テ繰綿ニ輸入稅ヲ課スルトセハ外國製ノ綿糸モ亦輸入稅ヲ課セサルヘカラス外國製ノ綿糸ニ輸入稅ヲ

課スルノ意ヲ分テ二トナス第一ハ償補稅即チ内國ノ綿糸製造者ハ其使用スル所ノ繰綿ニ輸入稅ヲ拂フカ故ニ之ヲ償補セント欲スル者是ナリ第二純然タル保護稅即チ保護論者カ名ヲ佛國營業ノ利ハ英國瑞士日耳曼等ノ諸國ニ及ハサルニ假リテ之レカ平均ヲ得セシメント欲スル者是ナリ綿糸ノ通例織物ヲ製スル粗生品ニ用アル者ニシテ完成品トシテ直ニ消費ニ供スル者ニアラス又保護政策ヲ行フニ當テハ外國産ノ木綿織物ニ輸入稅ヲ課スル如何ヲ見ルニ亦二種ノ稅アリ二稅相混シテ殆ト區別ナキカ如シト雖モ明カニ之ヲ區分セサルヘカラザル者ナリ即チ第一ハ内國ノ木綿製造者カ拂ヒタル綿糸輸入稅ヲ償補セント欲スル者第二保護家カ常ニ名トスル所ノ佛國木綿製造ノ不利ヲ償ハント欲スル保護稅是ナリ木綿織物ハ素木綿トシテ消費ニ供スル時ハ完成品トナルト雖モ染メテ更紗トナス時ハ完成品ニアラス故

ニ外國産ノ更紗ニ輸入税アリ其性質ヲ分テ二トナス即チ第一佛國ニ
木綿ノ輸入税アルヲ以テ之ヲ償補セント欲スル者第二佛國ノ更紗製
造業ハ外國ノ利ニ及ハサルヲ名トシテ之ヲ相償ハント欲スル所ノ保
護税是ナリ

保護政策ヲ行フ時ハ關稅ノ法正ニ斯ノ如シ實ニ内國ノ綿糸製造者ハ
線綿即チ其粗生品ニ租税ヲ拂フヲ以テ之ヲ償補セシメサルヘカラス
而シテ尙ホ保護セント欲スルヲ以テ償補税ノ外多少税額ヲ加ヘサル
ヘカラス内國ノ木綿製造者ニ於ルモ亦然リ木綿製造者ハ其粗生品
ルヘキ綿糸ニ租税ヲ拂フヲ以テ之ヲ償補スルヲ得セシメ而シテ尙ホ
外國ノ競争者ニ對シテ保護ヲナサント欲スルヲ以テ償補税ニ加ルニ
多少保護税ヲ以テセサルヘカラス又内國ノ更紗製造者ハ其粗生品
ルヘキ木綿ニ輸入税ヲ拂フヲ以テ之ヲ償補スルヲ得セシメ而シテ尙

ホ保護セント欲スルヲ以テ純然タル償補税ノ外多少保護税ヲ課セサ
ルヘカラサルナリ

此事タルヤ只ニ更紗製造ニ止ルニアラス百般ノ製造數種ノ所作ヲ經
ル者皆斯ノ如クニシテ一段ノ所作毎ニ特別ノ保護ヲ施サ、ルヘカラ
ス右ノ如ク繞密ナル制度ヲ存スル時ハ外國貿易決シテ盛ナラス若シ
之ヲ盛ナラシメント欲セハ其不便ヲ消滅スルノ法ヲ求メサルヘカラ
ス此ニ於テ港庫拂戻シ暫時輸入免許ノ法アリ港庫ハ再ヒ輸出スヘキ
目的ヲ以テ暫時有税品ヲ佛國ニ輸入スル時ハ其輸入税ノ全額若クハ
一部分ヲ免ルヲ得セシムル爲メニ欠クヘカラサル者ナリ拂戻シ暫時
輸入免許ノ法ハ有税ノ外國品ヲ輸入シテ物品ヲ製造シ再ヒ之ヲ輸出
セント欲スル者ヲシテ其負擔ヲ輕減セシムルニ亦均ク欠クヘカラサ
ル者ナリ

保護税法ノ規則ノ煩密ナル天下ノ人心漸ク之ヲ厭フニ至ルハ自然ノ勢ナリ然ルニ世人ノ常情偏利ヲ見ルニ鋭ニシテ一般ノ公利ヲ謀ルニ鈍ナリ保護政策ノ久ク諸國ノ定論タリシハ何ヲ怪ムニ足ン世ノ製造家ハ各我ガ製スル所ノ物品ニ均キ外國品ニ重税ヲ課シ其使用スル所ノ粗生品ニ税ナキヲ希望セリ例ヘハ紡績家ハ外國製ノ糸ニ重税ヲ課センコトヲ欲スト雖モ其粗生品タル練綿羊毛苧麻生糸ニ輸入税ナキヲ望ミ織物製造家ハ外國製ノ織物ニ苛税ヲ課シ我ガ營業ヲ保護セラレシコトヲ欲スト雖モ其粗生品トナルヘキ外國ノ糸ニ税セサラシコトヲ望ミ更紗製造家モ亦外國製ノ更紗ニ保護税ヲ重課センコトヲ欲スレトモ其粗生品トナルヘキ外國製ノ木綿ニ輸入税ナキヲ望メリ千八百七十年前佛國ノ製造ヲ主トスル諸府タラールカレームニルウースニ於テ關税法ノ不利ヲ憤リ叛旗ヲ翻ヘシタルモ故ナキニアラス其他ノ營業

ニ於ルモ皆右ニ説ク所ニ均シ例ヘハ造船家ハ外國製ノ船舶ヲ用フルヲ禁シ若クハ之ニ苛税ヲ課センコトヲ欲スト雖モ船艦製造ニ要用ナル木材鉄麻ノ如キハ輸入税ヲ課セサランコトヲ望ミ又船舶ノ所有者ハ外國船舶ノ佛國ニ入港スル者ニ特別ノ税ヲ課センコトヲ欲スト雖モ外國製ノ船舶ヲ買フニ税ナキヲ望ミ之ニ反シテ仲買人及ヒ商賈ノ如キハ通例航海税オントツレポ稅等ヲ好マス一切租税ヲ課セス全ク貿易取引ノ束縛ヲ解カンコトヲ望メリ

百科ノ工業發達進歩スルニ從テ漸次其業ヲ分チ分業益盛ニシテ保護税法ノ不便益甚ク漸ク相凌クノ勢ヲ表ハセリ實ニ内國ノ羊毛生産者ヲ保護スレハ羊毛糸ヲ製シテ之ヲ輸出スル者ノ困難ヲ増シ羊毛糸ノ製造者ヲ保護スレハ毛織物ヲ製シテ之ヲ輸出スル者ヲ困メ毛織物製造者ヲ保護スレハ衣服ヲ製シテ之ヲ輸出スル者ヲ困ルニ過キサルナ

リ尤モ拂戻シ若クハ暫時輸入免許ノ法ヲ以テ前條ノ不便ヲ減殺セン
 ヲ謀リ或ル場合ニ於テハ其目的ヲ達スト雖モ通例成功少ナク是等
 ノ方法ハ却テ大ニ煩雜ヲ生セリ故ニ保護税法ハ外國貿易ト相兩立ス
 ルヲ得ル者ニアラス如何トナレハ生産ノ度進達スルニ從テ高等ノ製
 造ヲ事トスル者ハ益保護税ノ不便ヲ覺ユルヲ以テナリ實ニ下等ノ製
 造業ヲ保護スル時ハ之ニ次ク所ノ一層高等ナル營業ヲ害スルヤ疑ヲ
 容レサルナリ

天産物製造物ニ課スル所ノ租税ノ外尙ホ航海營業ヲ保護スルニ航海
 ノ租税アリ已ニ述ル如ク航海ノ税ハ其性質ニ從ヒ分テ三種トナス
 第一佛國ニ於テ造船業ノ發達ヲ謀ルハ欠クヘカヲサル急務ナリト
 思考シ外國ニ於テ製造シタル船舶ヲ輸入スルヲ禁シ若クハ之
 カ輸入ヲ許シテ課スルニ重税ヲ以テセリ則チ所謂ル「フランシ

ザシオン」ノ税是ナリ

第二外國ノ競争ニ對シテ佛國ノ船舶所有者ヲ保護スルハ必要ナリ
 ト思考シ外國ノ船舶ニ課スル所ノ特別ノ租税及ヒ不同噸數稅
 アリ

第三佛國商船ノ遠洋航海ヲ獎勵スルハ甚タ要用ナリト思考シオン
 ツレポー」ノ税アリ

「オンツレポー」ノ税ハ已ニ陳セシ如ク佛國船ノ倫敦リガハプールアン
 ヴエルアマステダム等ノ歐洲諸港ニ於テ商品ヲ積入レ其產地ニ到ラ
 スシテ佛國ノ港ニ入ル者ニハ之ヲ課シ均ク佛國船ニシテ直チニ印度
 デヤヴハ喜望峯ヒユエノゼール亞米利加合衆國ブラザール等ニ到リ其
 產地ヨリ商品ヲ載セテ來ル者ニハ之ヲ課セサルナリ
 茲ニ尙ホ一他ノ航海保護法アリ該法ハ租税ヲ以テスルニアラス外國

船舶ノ沿海貿易ニ從事スルヲ禁シ佛國船舶ニ許スニ沿海航海ノ特權ヲ以テスルニアリ沿海航海トハ國內ノ甲港ヨリ乙港ノ間ニ往復シテ貿易ヲ營ムヲ云フ

保護政策ノ景况ハ大要斯ノ如シ近年ニ至ル迄保護ノ法盛ニ歐洲諸國ニ行ハレ今日モ尙ホ歐洲大陸ノ諸國ニ於テハ未タ之ヲ廢セスト雖モ其勢力ハ大ニ減シテ又昔日ノ比ニアラス蓋シ保護法ノ行ハル、ヤ久シ忽然之ヲ廢スルヲ得ヘカラス宜ク之カ方法ヲ設ケ其保護ニ馴ル、者ヲシテ自立シテ外敵ノ競争ニ當ルヘキ準備ヲナスヲ得セシメ漸次ニ保護ヲ廢スルヲ力ムヘシ

保護制度ヲ輕減スルニ二様ノ方法ニ據ルヘシ

第一内地ノ法律ヲ以テ或ル稅率ヲ減スルコト

第二定期若シハ無定期ノ外國貿易條約ヲ締結スルコト

是ニ由テ某國殊ニ佛國ニ於テハ二種ノ稅率ヲ有ス一ヲ一般ノ稅率トナシ一ヲ條約ノ稅率トナス
一般ノ稅率ハ佛國ニ於テ輸入稅ヲ徵課スル所ノ原率ニシテ佛國ト特別ノ貿易條約ヲ締結セサル所ノ諸國ヨリ輸入スル所ノ物品ハ悉ク之ニ照ラシテ輸入稅ヲ徵課スル所ノ者ナリ條約ノ稅率ハ貿易條約ヲ以テ定メタル稅率ニシテ一般ノ稅率ニ比スレハ多少輕減シタル者ナリ方今佛國ニ於テ一般ノ稅率ハ只其名ヲ存スルノミ凡ソ國家ノ法律ニハ往々公ケニ之ヲ廢止セスト雖モ年代ヲ經テ陳腐ニ屬シタルヲ以テ實際之ヲ履行スルヲ要セサル者アリ佛國ニ於ル一般ノ稅率ハ即チ是ナリ該稅率ハ千八百六十年ノ貿易條約以前ニ行レタル者ニシテ諸國ト貿易條約ヲ締結セシカ爲メニ敢テ之ヲ廢止セス只其實行ヲ停止スルニ過キサルヲ以テ其法律ハ今ニ至テ之ヲ存セリ

本書ノ第二版ヲ校閲スルニ當リ(千八百七十九年一月佛國ノ國會ハ
 關稅一般ノ稅率ヲ改正シ從來ノ一般稅率ノ如ク甚シカラスト雖モ
 多少保護ノ性質ヲ有セシメントスルノ議アリ以太利ハ千八百七十
 八年七月一日埃地利ハ千八百七十九年一月一日ニ貿易條約ノ期限
 滿チタルヲ以テ之ヲ再締セス爾後從來ノ一般ノ稅率ヲ以テ該二國
 ノ輸入品ニ徵課セリ
 外國ノ輸入品ヲ處スルノ法ニアリ一ヲ禁。制法トナシ一ヲ輸入稅法ト
 ナス禁制法ハ其名ノ如ク或ル外國品ヲ佛國ニ輸入スルヲ禁絶スル者
 ニシテ保護ノ極度トナス該法ニ據ル時ハ毫モ歲入ヲ政府ニ得ルニ足
 ラサルヲ以テ財政上ニ利スル所ナレ之ニ反シテ輸入稅法ハ租稅ヲ納
 ムレハ自由ニ外國品ヲ輸入スルヲ許スヲ以テ多少國庫ニ歲入ヲ得
 ヘキ者ナリ其輸入稅ノ徵課ハ輕キヲ得ヘク輕重相半ハスルヲ得ヘク

又非常ニ重キヲ得ヘシ其非常ニ重キ者ハ實際外國品ノ輸入ヲ禁止ス
 ルヲ以テ稱シテ禁制稅ト云フ禁制稅ニ至テハ禁制法ト其名ヲ異ニス
 ルノミニシテ其歸スル所ハ則チ一ナリ

輸入稅賦課ノ法ヲ分テ二トナス一ヲ從價稅(アドヴハローレム)トナシ
 一ヲ從量稅(スペシフイーク)トナス從價稅ハ申告若クハ考定若クハ証
 定シタル價ニ據リ比例シテ之ヲ課シ從量稅ハ商品ノ輕重大小長短ニ
 據リ定額ノ租稅ヲ課スル者ニシテ其價格ト精密ノ比例ヲ得サル者ト
 ス

試ニ一例ヲ舉テ二者ノ別ヲ示サン今織物ニ輸入稅ヲ課スルニ其價ノ
 一割ヲ以テストセン然ル時ハ織物ノ着スルヤ輸入商ハ先ツ其價ヲ稅
 關ニ申告セサルヘカラス其申告シタル價ニ付稅關ハ之ヲ確信セスシ
 テ稅關ト商人ノ間ニ紛議ヲ生スル時ハ鑒定人ヲシテ其當否ヲ鑒定セ

シメ税關ハ時トシテ其織物ヲ買上ルコアリ然レトモ種々煩ハシキ手
數規則ヲ經サルヘカラス而シテ尙ホ不確實ノコアルヲ免レス故ニ倍
激ナル物品ノ取引ヲ妨ケ且ツ税關若クハ鑒定カ物品ノ價ヲ見込ムコ
貴キニ過クレハ商人ヲ害シ又商人カ奸詐ヲ逞フシテ税關ヲ欺キ非常
ニ中告ノ價ヲ低フシ税關ニ於テ之ヲ覺ラサレハ政府ニ損失ヲ來タス
ノ恐レアリ之ニ反シテ從量稅ヲ以テ織物一メートルニ付一フランク
ヲ課スルトセハ其便易ナル遙ニ從價稅ノ右ニアルヤ明カナリ元來商
品ノ價ヲ決定スルニ甚タ難事ナルヲ以テ奸詐行ハレ易ク税關官吏ガ
任意ノ行アルヲ免レス從テ政府ト商人ノ間ニ紛争ヲ生シ又取引ヲ遲
滯セシムルコト少ナカラス故ニ從價稅ノ不便モ亦多シトス從量稅ハ商
品ノ價ニ大變動ヲ生スル時ハ稅額ト物價ノ比例ヲ變スルコト甚レ此不
便タル決シテ小ナラス如何トナレハ租稅ヲ定ルノ初メハ輕重稍々宜

キヲ得タル者ナルモ世變リ時遷ルニ從ヒ物價ノ高低ヲ生スル時ハ其
稅或ハ重キニ過キ或ハ輕キニ過ルヲ以テナリ又從量稅ノ一不便ハ其
割合往々富民ノ使用スル貴重ノ物品ニ輕クシテ貧民ノ使用スル粗鄙
ノ物品ニ重キニアリ是等ノ不便ハ之ヲ全除スルヲ得サルヘキモ多少
之ヲ輕減スルヲ得ヘシ則チ第一ノ不便ヲ減セント欲セハ物價大ニ高
低ヲ生シ租稅ノ割合程度ヲ失フ時ハ物價ノ定アルヲ見テ從量稅ヲ改
正セハ可ナリ第二ノ不便ヲ輕フセント欲セハ單一ノ從量稅ヲ行ハス
レテ其品位ノ辨知シ易キ者ニ從ヒ同物品ノ中ニ三四級ノ稅ヲ置クヲ
得ヘシ加之ス從量稅ヲ定ルニ當テハ宜ク意ヲ用ヒテ一般人民ノ消費
ニ供スル所ノ物品ニ重課セサルヲ力ムヘシ然ルニ從量稅ヲ以テ從價
稅ニ代フル時ハ內國產過半ノ物品ニ保護ヲ與ルニ過キサルコト多シ由
是觀之ハ從量稅ヲ課スルニ其稅率ヲシテ普通品位ノ價格ノ八分乃至

一割ヲ超過セシムヘカラス之ヲ過クレハ則チ不可ナリ
 已ニ理論上關稅ノ組織ヲ論シタルヲ以テ次テ佛國及歐洲諸國關稅ノ沿革ヲ略陳セン
 佛國ニ於テ保護稅法ノ高度ニ達シタルハ偶然ト云フヘキナリ往昔ヨルペール氏カ國餉稅保護稅ヲ混和シ關稅ノ法ヲ定メタルヤ其精神文章ハ決シテ後年佛國一般ノ稅率ノ如キ者ニアラサルナリ千七百八十七年舊王政府ノ末佛國英國ト貿易條約ノ締結セシヤ其大要七十五年ノ後千八百六十年ニ於テ締結セシ所ノ者ト相均シ委員總會ハ其財政ノ改正ヲナスヤ稅率ヲ寬ニシテ關稅ノ法ヲ繼續セリ然ルニ共和政府ノ時次テナボレオン第一世ノ時英國ト戰ヲ交ニルニ方テヤ佛國關稅ノ法ハ大ニ其方向ヲ轉シ悉ク千七百八十六年ノ條約ヲ廢棄シ英國ヲ攻ルハ其貿易ヲ擊ツニアリトナシ政治戰略ノ二案ヲ以テ輸入禁絶ノ

法ヲ布ケリ是レコルペール氏ノ關稅法ニ於テハ毫モ其形跡ヲ見サル所ナリ斯ノ如ク苛嚴ニシテ不經濟ノ法ヲ設ケタルハ平時ノ爲メニアラスシテ全ク戰時ノ權謀ニ出テシ者ナリ

佛國保護制度ノ設置發達ノ事ハヨシエール、シヅハリエ氏著ノ「エキザマン、デ、プロテクチユール」ア、メー氏著ノ「エチユード、スル、レ、タリフ、デ、ヂュアン、エ、レ、トレー、デー、コムメルス」セ、ユ、テ、ン、ヅ、ハ、ル、侯著ノ「デ、フ、フ、オルマレオン、ヂュ、タリフ、ゼ、チ、ラル、デ、ラ、フラン、ス」ヲ見ルヘシ

王政復古政府ノ時及ルイ、フイ、リ、ツ、プ、王ノ時ニ當リ佛國人民ハ未タ悉ク參政ノ權ヲ有セス國會議員ハ無智ノ地主及ヒ私利ヲノミ之レ顧ル所ノ製造家ニシテ王政復古政府及ルイ、フイ、リ、ツ、プ、王政府ノ明諱ナル執政者ノ所見ニ戻リ逐次保護ノ主義ヲ擴張シテ度外ニ出テ其跡ハ尙ホ今日一般ノ稅率ニ存在スルニ至レリ

一般ノ税率ヲ見ルニ三條ノ著ルシキ性質アリ
 第一輸入禁制品ノ夥多ナルヲ
 第二悉ク製造ニ要用ナル粗生品ニ租税ヲ課スルヲ
 第三物品ノ品位ニ從ヒ又往々確知スヘカラサル混和品ノ性質ニ從
 ヒ無數ノ物品ニ租税ヲ課スルヲ以テ税率ノ非常ニ繞密ナルヲ
 又右ノ制度ニ於テハ物品ノ經過及輸出ニ租税ヲ課シ若クハ其經過輸
 出ヲ禁スル者少ナカラス故ニ例ヘハ自己ノ消費ニ供スル者ト雖モ禁
 制品ヲ持參スル者ハ例國ヲ旅行スルヲ能ハス千八百四十五年以後ハ
 經過税及經過ノ禁制法ヲ廢セリト雖モ生獸、鮮魚、鮮肉、襪襪、精製砂糖馬
 車、兵器、火藥ノ如キハ尙ホ久ク其經過ヲ禁セリ
 輸出税ノ法ハ稍々簡易ニシテ一般ニ輸出品百「ヤログラム」ニ付二十五
 「サントーム」トシテ從價税法ヲ以テ賦課スル者ハ其價ノ千分ノ二五トセ

リ右ノ輸出税ハ勢ヒ佛國商品ノ外國ニ輸出スルヲ抑制セシヤ疑ヲ容
 レサルナリ千八百四十一年以後佛國輸出ノ景况大略右ノ如シ然レト
 モ尙ホ輸出ニ禁制税ヲ課シ若クハ全ク輸出ヲ禁絶セシ所ノ者頗ル多
 レデ、オツク氏ハ其著書佛國財政誌ニ於テ之カ品目ヲ歷舉セリ(デオツ
 ク氏著「ラドミニストラシオン、フィナンシエール、デ、フ、フランス」二百
 六十八葉ヲ見ルヘシ)
 輸入税ハ經過税輸出税ニ比スレハ頗ル緊要ニシテ其法亦大ニ繞密ナ
 リ一般ノ税率ニ於テ輸入ヲ禁スル者頗ル多ク其間葉烟草、製造烟草、偽
 版書籍、骨牌、火藥ノ如キハ或ハ政府ノ歲入ヲ得ルヲ目的トナシ或ハ公
 安ヲ保護シ或ハ衛生ヲ保護スルヲ以テ目的トナス者ナリト雖モ禁制
 品ノ大半ハ佛國ノ營業ヲ保護シテ一切外國ノ競争ヲ免レシメ又外國
 ノ刺激ヲモ道レシメント欲スルノ意ニ出ル者トス(デオツク氏著佛國

財政誌二百六十葉ヲ見ルヘシ

右ノ制度タルヤ敢テ佛國工業ノ進歩ヲ妨害セント欲スルノ意ニアラサルヘント雖モ内國ノ工業ハ漸ク怠慢ヲ生スヘク而シテ低價ナル外國品ノ供給ヲ仰カサルヘカラサル所ノ諸工業ハ發生スルヲ得ス又發達ヲ妨ケラレタルヤ決シテ疑ヲ容レサル所ナリ鐵石炭及他ノ礦物ノ如キハ全ク其輸入ヲ禁絶スルヲ能ハサリント雖モ輸入税ノ重キヲハ殆ト其輸入ヲ禁スルニ均レ僅ニナボレオン第三世ノ時ニ至リ大ニ其税率ヲ減セリト雖モ今日尙ホ未ダ苛税ノ謗ヲ免レサル者ナリ

佛國內地ノ工業ニ用フル所ノ粗生品ノ税ハ甚ダ重ク大ニ商業取引ノ活動ヲ妨ケ而シテ農業ハ粗生品ニ輸入税ノ重キカ爲メニ大ニ保護ヲ被レリ加之又已ニ前章ニ論シタル所ノ應價法ハ大ニ農者ノ歡ヲ所トナレリ佛國ノ法麥ノ輸出入ヲ禁セスト雖モ内國麥價ノ高低ニ從テ麥

ノ輸出入税ヲ變動スル者トス則チ佛國ニ於テ麥價政府ノ常度ト定ル所ノ價以下ニ下ル時ハ其輸入税ヲ増シテ輸出税ヲ減シ又其價常度以上ニ上ル時ハ輸入税ヲ減シテ輸出税ヲ増ス者ナリ其常度ノ價ト稱スルモノハ佛國全州悉ク畫一ナルニアラス邊境ノ諸州ヲ分テ四級トナシ各地方習慣ノ價ニ從テ每級常度ノ價ヲ異ニス他ノ穀物穀粉ノ税ハ麥税ノ變動ニ應シテ増減スル者トセリ而シテ佛國內地ニ於テ五穀ノ價非常ニ騰貴スルニアラサレハ外國船舶ヲ以テ輸入スル所ノ五穀ハ別ニ「エクトリトル」ニ付「フランク」二十五「サンチーム」ノ税ヲ課シ以テ佛國ノ航海業ヲ保護セリ

製造品ニ課スル租税ノ繞密ナルハ恐クハ又之ニ過ル者アラサルナリ埃地利ノ執政デ、オウク氏ノ佛國財政誌ニ載スル所ヲ見ルニ建築雜作ノ木材ヲ分テ十一類トシ細別シテ二十三種トナシ石及ヒ石工ニ含有

スル所ノ土ヲ分テ十八類トナシ細別シテ三十一種トナスト云ヘリ製
造品ニ至テハ同一品ニシテ其品位ト製造ノ所作ニ從テ皆各別ニ税率
ヲ置カサル者ナシ加之ス税關ノ權限皆相等シカラス百般ノ有税品ヲ
取扱フ所ノ税關ハ少數ニシテ其他ハ唯ニ二三ノ一定セル物品ヲ取扱
フニ過キサルヲ以テ一層ノ不便ヲ増シ又荷造ノ方法ニ制限アリテ益
其困難不便ヲ加ヘリ例ヘハ糸ノ荷造ヲナスニ品位ノ相異ナル者ヲ一
箇ニスルヲ許サ、ル等頗ル細密ノ規則アリ

天產物製造物ニ税シテ保護ヲ行フノミナラス尙ホ航海ノ租税アリテ
保護ノ制度ヲ完備セリ則チ外國船舶ノ佛國諸港ニ入ル者ハ別ニ佛國
船ニ課セサル所ノ租税ヲ課セリ又佛國船ト雖モ直チニ產地ニ就テ商
品ヲ積ムニアラサレハ「オンツレポ」税ヲ免ルヲ得ス「オンツレポ」税
ハ仍ホ存スル者トス沿海航海ノ權ハ全ク佛國船ノ特有トセリ今日尙

然リ外國人ト所有ヲ共ニスル所ノ船舶ハ其半ハ佛國人ノ所有ニ屬シ
乗組役員殘ラス水夫ノ三分ノ二ハ佛國人ニシテ佛國製造ノ船ナレハ
佛國船ト認定スル者トセリ都テ佛國ノ船舶ハ外國船ニ比スレハ噸數
税港税及傳染病豫防規則上其取扱ヲ輕減セリ

又保護政策ノ一端ニシテ植民地ヲ處スルノ法アリ稱シテ「バクト、コロ
ニア」ト云フ該法ヲ以テ佛國ト植民地トノ間ノ貿易ハ一切佛國船ヲ
用ヒシメ外國船ヲ用フルヲ許サス植民地ノ產品ヲ佛國ニ送ル時ハ輸
出税ヲ課セス故ニ又佛國ノ外植民地ノ產品ヲ以テ他國ニ送ルヲ許サ
ス植民地ハ悉ク製造品ノ供給ヲ佛國ニ仰クヘキ者トシ之ヲ他國ニ求
ルヲ得サルヲ法トセリ

都テ是等人爲ノ繞密ナル組織ハ製造者ヲ保護スルノ偏見ニ出テタル
者ニシテ政府ノ歲入ヲ得ルヲ以テ目的トセシ者ニアラス故ニ其保護

ハ相互ノ利益ヲ削減シテ毫モ利ヲ受ル所ナク而シテ取引ノ活動ヲ妨
 ケ時間ヲ徒費スルノ結果ヲ得ルニ過キサルニ至レリ
 茲ニ奇怪ナル顯象ト云フヘキハ佛國ノ國會議員ハ常ニ益禁制法ヲ擴
 張スルヲ主張シ否ラサルモ從來ノ禁制法ヲ維持セシメテ主張シテ政
 府ニ抗シ其嚴制ヲ寬減スルノ議案ヲ提出スル者ハ常ニ政府ニシテ國
 會ノ爲メニ廢棄セララルヲ常トセシニアリ
 千八百年代佛國關稅ノ歴史ヲ見ルニ國會ハ政府ノ意ニ抗シテ禁制法
 ヲ盛ニシ若クハ保護稅ヲ増加シ政府カ立案シタル改正ノ議ハ常ニ國
 會ノ爲メニ斥ケラレ或ハ政略ヲ以テ之ヲ舉行シタルコトアリ(ア
 著ノ「エチニード、スル、レ、タリ、フ、デ、ヤ、ユ、ア、ン」等ヲ參照スヘシ)
 今歷史上ノ事實ニ就テ少シク其景況ヲ示サン王政復古政府ハ國用ノ
 足ラサルカ爲メニ之ヲ償ハシテ大ニ直稅ヲ増シ製造品鐵、銅

毛布、麻布、革紙ニ内地稅ヲ課スルノ議案ヲ發セリ國會ハ是等ノ租稅設
 置ノ議ヲ廢棄シ之ニ反シテ政府カ發議シタル關稅ノ議案ハ之ヲ可決
 セシノミナラス却テ修正シテ之ヲ増加セリ千八百十四年王政復古政
 府ノ始メ關稅局長ベールンゼー氏ノ議ニ由リ佛國政府ハ租稅ヲ課シ
 テ精製砂糖ノ輸入ヲ許スヘキ議案ヲ提出セリ然ルニ國會ハ精製砂糖
 ノ輸入ヲ許ス時ハ遂ニ内國ノ砂糖製造者ヲ害スヘシト稱シテ該議案
 ヲ廢セリ同時ニ政府ハ又數種ノ地鐵ヲ輸入スルコトヲ許スノ議案ヲ發
 セリト雖モ國會ハ以爲ラク若シ地鐵ヲ輸入スルヲ許サハ數多ノ小製
 造所ヲ開港場ノ近傍ニ設置シ低價ナル輸入鐵ヲ用フルニ至リ内國ノ
 鐵ヲ用ヒサルニ至ルヘシト遂ニ其議ヲ拒絕セリ此時ヨリ以來政府ハ
 下院ト其議ヲ同フセス數々爭論ヲ生セリ元來政府ハ其議見下院ヨリ
 高ク眼ヲ一般ノ公利ニ注キ下院ハ一個ノ私利ヲ謀ルニ汲々タリ從テ

政府ノ議ハ保護ノ主義ヲ好マサルノ勢アリ此時ニ於テ政府ハ勅命ヲ以テ税率ヲ減シ禁制ヲ寛フスルノ權ヲ有シタルヲ以テ議論頗ル喧然タリ

佛國國會ノ保護ニ切ニシテ税率ヲ増加スルニ汲々タリシ一例ハ千八百二十二年ノ家畜輸入税ノ事ニ於テ見ルヘシ同年佛國政府ハ外國家畜ノ輸入税ヲ十倍シ從來一頭ノ税三フランクナリシヲ増シテ三十フランクトナスノ議ヲ發セリ然ルニ議院ハ尙ホ之ヲ以テ足レリトセス増シテ五十フランクトセリ關稅ノ議ニ付キ政府ト國會ノ間常ニ其論ヲ異ニセシヲハ千八百三十年ニ於テオーヂフレール侯カ佛王ニ捧呈セシ所ノ報告書ニ明カナリ其言ニ曰ク

今日ノ法律ハ眞ニ國民ノ希望ニ適スル者ニシテ唯ニ議院カ議決スルノミナラス又議院カ自ラ立案セシ所ノ意ニアラサレハ法律トナ

ル者ナシ例ヘハ曩キニ政府カ五穀法ノ議案ヲ出スヤ之ヲ修正レテ或ル場合ニ於テハ輸入ヲ禁スル者トシ又鐵ノ税率案ヲ修正シテ二十フランク乃至二十五フランクトナシ羊毛ノ輸入税ヲ改テ三割トセリ都テ前條ノ如キハ輿論ノ影響ニ成ルモノニシテ政府ハ只之ヲ奉行スルニ過キス又政府カカシミール市ノ輸入禁ヲ解カント欲シテ議案ヲ發セシヤ將來保護ノ路ヲ失フヘシト信シテ大ニ不服ヲ唱ヘシ者アリ佛國關稅ノ法ハ千八百十四年以後ノ國會カ相續テ保護ノ主義ヲ以テ組織セシ者ニシテ決シテ一期ノ國會ノ定論ニ成ルニアラサルナリ(オーヂフレール侯著「システム、フィナンシエ、デ、フランス」第二卷百十六葉ヲ見ルヘシ)

右ノ一篇ハ關稅論ニ付テ王政復古政府ト國會トノ關係如何ヲ明示スル者ナリ國會議員ベンヂヤマン、コンスタン氏ノ云ヘルガ如ク國會ハ

百貨ノ價ヲ騰貴セント欲スルニ切ナル者ト云フヘシルイフリツプ
 王朝ノ時モ亦相同シ千八百三十四年以後政府ハ漸ク保護ノ主義ヲ緩
 メンクヲ謀リ大ニ輸入禁ノ制ヲ解カント欲シテ之カ調査ヲナセリ千
 八百三十六年ニ於テ「カシミール」巾「キンキナ」燒酎類其他數品ノ輸入禁
 ヲ解キ千八百四十一年未染羊毛糸ノ輸入禁ヲ解キ千八百四十五年麻
 織物ノ輸入禁ヲ解キ千八百四十七年ニハ歐洲外ノ諸國ノ絹織物ヲ輸
 入スルヲ許セリ然ルニ改正案ノ最モ肝要ナル部分ニ至テハ行ハレサ
 リシ者甚ク多シ例ヘハ千八百四十五年ニ於テ政府ハ胡麻種ニ「ニ」フ
 シ「五十」サンチ「ム」ノ輸入税ヲ課スルノ議ヲ發シ之ヲ以テ黑罌粟油
 ヲ保護スルニ十分ナルヘシト信セリ然ルニ國會ハ其原案ノ額ヲ四倍
 シ「百」キログラムニ付十「フ」ランクヲ課スヘシトセリ千八百四十七年ニ
 於テ當時ノ宰相キユナングリデー「ン」氏ハ大ニ税率ヲ輕減スルノ議ヲ

發セリ其意千八百六十年以後ニ行ハル、所ニ似タルモノ多シ其計畫
 ハ左ノ如シ

第一十七品ノ輸入禁ヲ解キ保護税ヲ以テ之ニ代フル

第二格別緊要ナラサル商品數種ノ税率ヲ改正スル

第三六百六十六品ノ内二百九十八品ノ輸入税ヲ廢スル右ノ輸入

税ヲ廢スルモ政府ノ收入ハ三百萬「フ」ランクヲ減スルニ過キサ
 ルヘキ者ナリ

第四船艦ノ築造及備付ニ用フル鐵、鐵板、尾舵、苧麻、白鉛其他一切船用

ニ供スル木製品、鐵物類ノ輸入税ヲ除スル

右ノ法案ハ頗ル寛大ニシテ輸入禁ノ制ヲ廢シ政府ノ收入ヲ減セス又
 營業ヲ害セスシテ税率ヲ簡單ニシ且ツ暫時輸入免許ノ主義ヲ行ハン
 トセシ者ナリ然ルニ議院ノ狂暴ナル報告ノ爲メニ遂ニ廢案トナレリ

千八百四十八年二月共和政府ノ時モ亦關稅ノ改正ニ意アリ假政府ハ
支那木綿類、白硝子、精製沃鎮ノ輸入禁ヲ解ケリ斯ノ如ク朝ヲ改メテ政
体ヲ異ニスルモ政府ハ常ニ徐々トシテ保護ノ主義ヲ緩フセシニ常ニ
國會ノ爲メニ妨ケラレタリ

ナポレオン三世即位ノ始メニ於ル國會ノ意見ハオーヂフレール侯ノ
著書ニ明カナリ請フ其要ヲ摘載セン曰ク

農産ニハ麥、葡萄、家畜、石炭、製造品ニハ木綿、毛織物、絹、鐵ノ如キ重要ナ
ル營業ハ其業大ニ進ミ外國ノ競争ニ當ルニ足ルニ至ル迄十分ノ保
護ヲ與フルハ良法ニシテ國家ノ富ヲ發達スルニ肝要ナルカ如シ全
國人民ノ營業ヲ見ルニ其四分ノ三ハ皆多少右八種ノ生産ニ關スル
ヲ以テ國民生計ノ安全ヲ謀ルハ此八種ノ業ヲ保護スルニアリ(オー
ヂフレール侯著システム、フイナンシエ、デラ、フランス第一卷百二十二

業ヲ見ルヘシ

當時ノ議院ハ世運ト進歩ヲ共ニセスシテ却テ前朝ノ改革ヲ嫌惡シ再
ヒ之ヲ舊時ノ制ニ復センコトヲ欲セリ王政復古政府ノ時ルイ、フイリツ
ブノ朝ニ於テ國會ハ多少政府ノ意見ニ戻リ大ニ保護ノ制度ヲ嚴ニシ
殆ト輸入禁絶ノ法ヲ設ケテコルペール氏以來履行セル所ノ關稅法ノ
主義ヲ驅除シテ其跡ヲ留メサルニ至レリ元來コルペール氏ノ關稅法
ニハ二條ノ主義アリト雖モ千八百十四年ヨリ千八百六十年ニ至ル迄
ハ常ニ該主義ニ反セリ則チ其主義トハ

第一禁制法ヲ行フヘカラサルコト

第二重要ナル粗生品ニ租稅ヲ課スヘカラサルコト

是ナリ故ニ千六百六十九年ノ勅令ニ依レハ羊毛ハ無稅ニテ佛國ニ輸
入スルコトヲ得タル者ナリ

千八百五十一年國會議員。セント・ピエール・ヴ氏ハ大ニ關稅ノ稅率ヲ改正スルノ議ヲ發シ五條ノ計畫ヲナセリ曰ク

第一悉ク輸入禁制ノ法ヲ廢シテ二割ヨリ多カラサル保護稅ヲ以テ之ニ代フルコト

第二一切ノ食品及粗生品ノ輸入稅ヲ廢シテ自由ニ之ヲ輸入スルヲ許シ未成品ニ一割完成品ニ二割ノ稅ヲ課シ四ヶ年ノ後鐵ノ輸入稅ヲ減シテ百キログラムニ付一フランタトナスコト

第三佛國ノ商船ニ許スニ特別ノ權利ヲ以テスルヲ止メ外國製造ノ船舶ヲ以テ自由ニ佛國ノ用トナスヲ得セシムルコト

第四植民地ト内地間ノ貿易ヲ自由ニスルコト

第五歲入稅ヲ設置シテ此改正ノ爲メニ減少セル歲入ノ不足ヲ補フ

コト

右ノ法案ハ千八百四十七年ニ提出シタルキニナングリデー氏ノ計畫及千八百六十年ノ貿易條約ノ意ニ似テ而シテ尙ホ一步ヲ前進シタル者ト云フヘシ如何トナレハ右ノ計畫ニ據レハ鐵ノ稅ヲ以テ千八百六十年ノ貿易條約ニ於テ定メタル稅率ノ三分一トナシ千八百六十六年ニ至テ僅ニ廢シタル航海ノ特權ヲ止メント欲シタルヲ以テナリ不幸ニシテ當時佛國ノ内政未ダ治マラス財政ノ困難ナルニ當テ非常ノ改正ヲ行ハントセシモノニシテ時勢ニ合ハサルノ恨アリ國會ニ於テハ其原案ヲ否決セリト雖モ尙ホ二百餘人ノ同意者ヲ得タリ
斯ノ如ク數年以來關稅論者ノ意見ハ政府ノ意見ト共ニ自由ノ主義ニ趣キ輸入禁制ノ法粗生品ノ租稅鐵ノ如キ一般ノ消費ニ供スル所ノ製造品ノ重稅ヲ廢セント欲スルノ意アリナポレオン第三世ノ時ニ至リ又益意ヲ關稅ノ改正ニ用ヒ始メハ頗ル漸進ヲ主トシ徐々トシテ進行

セリト雖モ後ニハ漸ク英斷果決ヲ行ヘリ千八百五十三年ノ勅令ヲ以テ粗鐵、冶鐵ノ稅、鋼鐵ノ稅及石炭ノ稅ヲ減シ千八百五十四年及千八百五十五年ノ勅令ヲ以テ大ニ粗生品及國界貿易ノ取引品製造ニ要用ナル物品ノ稅ヲ廢シ千八百五十四年ノ勅令ヲ以テ或ル鐵道會社ニ許スニ定期間租稅ヲ拂ヒ延鐵鐵板ヲ輸入スルヲ得ルノ權ヲ以テシ油脂油種ノ輸入稅ヲ減シ又千八百五十四年ノ勅令ヲ以テ某蒸酒ノ輸入禁ヲ解キ千八百五十六年ノ勅令ヲ以テ染羊毛糸ノ輸入禁ヲ解ケリ前條ノ諸改革ヲ行フニ至リシハ或ル營業ノ發達ノ妨礙ヲ除カント欲スルノ意ニ出タル者ナリ例ヘハ外國鐵ノ輸入ヲ禁スル時ハ佛國ノ鐵道布設ノ費用ヲ増シ從テ低價ニ通運ヲナス能ハサルヲ以テ通信ノ便ヲ減シ內國百般ノ營業皆悉ク常費ヲ增加セシヲ以テナリ佛國農業ノ保護ハナボレオン第三世ノ初メニ當テ大ニ之ヲ減殺シ五

穀ノ應價法ヲ廢シテ麥ノ輸入稅ヲ全廢シ葡萄酒、蒸酒、豆類、米、粟、大麥ノ租稅ヲ減セリ是等ノ改革ヲ行フニ三條ノ目的アリ

第一一般ノ消費品ノ價ヲ減スルコト

第二鐵道ノ如キ國家ニ有要ナル營業ノ發達若クハ設置ヲ容易ニシ一切營業ノ常費ヲ減スルコト

第三從來輸入ヲ禁絶シ若クハ禁制稅ヲ課シタル外國品ノ輸入ヲ容易ニシ佛國商業ノ發達ヲ助ルコト

是等ノ改正ハ皆一部分ニシテ十分ノ效驗ヲ見ルニ足ラス此ニ於テ關稅全部ノ大改正ヲ行ヒルイフリッブノ時キユナングリヂン氏ノ計畫セシ改正案ノ右ニ出テ共和政府ノ時セーレント、ビユーズ氏ノ議案ニ均キ關稅ノ法ヲ設ケンコトヲ欲シ佛國政府ハ千八百五十六年ヲ以テ改正ノ法案ヲ國會ニ呈出セリ然レトモ其改正案ハセーレンド、ビユーズ

氏ノ計畫ノ如ク急進主義ニアラスレテ粗生品ニ課スル所ノ租税ハ敢テ改正ヲ加ヘス輸入ヲ禁シタル外國品ノ最大部分ノ輸入禁ヲ解キ之ニ課スルニ過重ノ輸入税ヲ以テスルニアリ埃地利ノ執政デオツク氏該法案ヲ論シテ曰ク

輸入禁制ニ代ヘントスル所ノ税率ハ尙ホ未ダ重シ蓋シ過重ナリト云フヘシ然ルニ議院ハ之ヲ以テ足レリトセス更ニ動議ヲ發シテ其税率ヲ増加セリ當時佛國政府ノ計畫スル所ニ據レハ一ニハ粗生品ノ輸入税ハ依然トシテ變動スル所ナク一ニハ內國製造保護ノ爲メニ輸入品ニ三割ノ租税ヲ課セントスルニアリ然レトモ實際ニ行ハレタルハ遙ニ政府ノ目的ニ超エ取引ノ盛ナルヘキ商品ニハ一倍以上ノ保護税ヲ課シ税法ハ甚ダ不完全ニシテ已ニ前章ニ論シタルカ如ク部類多キニ過キ區分ノ難キ者アリ物品ノ價格ヲ斟酌スルヲ甚

キニ過キ商品荷造ノ法精密ニ過キタリ然ト雖モ此ニ於テ先ツ改進ノ一大妨碍ヲ關キ主義ノ方向ヲ轉シタルヲ以テ是ヨリ進步ノ路ヲ開キタル者ト云フヘシ

由是觀之ハ此改正案タルヤ頗ル持重小心ニシテ僅ニ最要ナル改正ノ極小部分ヲ行ハント欲セシニ過キサリ實ニ輸入禁廢止議案ノ議院ニ提出セラレタルハ此時ニ於テ第三回ナリトス然レトモ議院ハ大ニ不快ノ色ヲ表ハシ遂ニ原案ヲ廢棄セリ佛國政府カ千八百五十二年ノ憲法ニ依テ得タル所ノ大權ヲ實用スルノ要用ナルヘント思考セシハ實ニ此時ニ始レリ千八百五十二年ノ憲法ニ於テ佛國政府ハ貿易條約ヲ締結スルニ必スシモ國會ノ承諾ヲ要セサル者トセリ憲法ノ政府ニ與フル所ノ者ハ頗ル其程度ニ過キタルニ似タリト雖モ佛國議院ハ頗陋ニシテ四十五年以來常ニ關税法改正ノ議ニ抗シ其細小ナル者ト

雖モ一ニ之ヲ拒絶スルヲ以テ念慮トシタルヲ見レハ政府カ其大權ヲ利用スルハ大ニ尤ムルニ足ラサルヘシ佛國政府ハ終ニ博士シヴハリエ氏ノ議ヲ用ヒ其特權ヲ以テ英國ト貿易條約ヲ締結セリ(シヴハリエ氏ハ英國ノ財政改正家ノ巨擘コブデン氏ト相知リ相謀テ佛國政府ヲシテ保護政策ノ不可ナルヲ覺ラシメタリ)

千八百六十年一月五日ナポレオン第三世ハ書ヲ宰相ニ寄セテ新關稅法ノ綱領ヲ示セリ其要左ノ如シ

- 第一製造ニ必要ナル粗生品ノ稅ヲ廢スル
- 第二砂糖及咖啡ノ輸入稅ヲ減スル
- 第三通信ノ便ヲ改良スル
- 第四堀割稅ヲ減シテ運送費ヲ減スル
- 第五農業工業ニ資本ヲ貸附ル

第六公衆ニ有用ナル大土木ヲ起ス

第七輸入禁制ノ法ヲ廢スル

第八諸外國ト貿易條約ヲ締結スル

右ノ綱領ヲ大別シテ三トナス則チ第一肝要ナル部分ハ輸入禁ノ廢止粗生品ニ課スル輸入稅ノ廢止及貿易條約ノ締結第二ハ通運ノ便ヲ進メ又内國營業者ヲシテ容易ク外國ノ競争ニ當ルヲ得セシムルヲ謀ル方法第三ハ砂糖咖啡ノ輸入稅ヲ減スルト是ナリ

英國ト締結シタル貿易條約ニ於テハ稅率ヲ定メス只關稅ノ主義ヲ定メ租稅ノ限度ヲ掲ケタルニ過キステテ追補條約ヲ以テ稅率ヲ定メニ割五分又三割以下トセリ佛國ハ此ニ於テ輸入禁制ノ法及粗生品ノ輸入稅ヲ廢シ初テコルベール氏ノ舊法ニ復セリ千八百六十年ノ條約ニ於テハ千七百八十六年ノ條約ニ似タル者少ナカラス爾後政府ハ種々

ノ條例ヲ廢シ又諸國ト條約ヲ締結シ逐次此貿易上ノ大改正ヲ完結セ
 リ就中共著レキハ千八百六十一年ノ條例ヲ以テ「バクトコロニア」ヲ
 廢シ千八百六十六年ノ條例ヲ以テ今ヨリ三ケ年ヲ過レハ外國船ニ課
 スル所ノ特別ノ稅ヲ廢スヘレ但シ佛國船舶カ外國ニアリテ其國ノ船
 舶ト同一ノ待遇ヲ受ケスレテ特別ノ稅ヲ課セラル、時ハ此限ニアラ
 ストセリ又外國製ノ船舶輸入稅ヲ減シテ僅ニ每噸ニ「フランク」トナシ
 不同噸數稅ヲ止メテ佛國船外國船共ニ噸數稅ヲ同フレ而シテ「ソンド
 海峽以東ノ如キ遠地ヨリ來ル所ノ商品ノ減稅法ヲ廢セリ從前ハ其距
 離ノ相異ナルヲ償補スルカ爲メニ「レニオン」島ノ咖啡ニハ五十「フラ
 ンク」ヲ稅レ「マルチニ」島ノ咖啡ニハ六十「フランク」ヲ課セレ者ナリ
 然レトモ此改正ニ依テ舊時ノ保護制度ニ屬スル所ノ方法ハ大半其跡
 ヲ減セリ

右ノ大改正ハ佛國ニ於テ革命以來ノ財政上經濟上ノ最大變革ト云フ
 ヘシ今日未タ其改正ヲ完結セシニ「アラ」尙ホ漸次力ヲ盡シテ一切ノ
 保護稅ヲ芟除セサルヘカラス然ト雖モ之ヲ行フニ時機アリ之ヲ施ス
 ニ順序アリ決シテ一朝一夕ノ業ニアラサルナリ
 右ノ改正ハ實ニ佛國ノ富ノ發達ニ裨益少ナカラサルモノニシテ貿易
 ハ之ニ由テ其抑制ヲ免レ大ニ進歩ノ効ヲ表ハシ工業ハ外國ノ競争ニ
 刺激セラレテ益奮起シ從前保護ノ爲メニ困苦セシ所ノ營業ハ大ニ繁
 榮ノ狀ヲ顯ハセリ然レトモ從前保護ニ依頼シテ存立セシ所ノ諸營業
 ハ之カ爲メニ困苦ヲ來セリ即チ不便ノ地方ニ設立シタル製鐵所ノ如
 キハ閉業セサルヘカフサルニ至レリ此ノ如キ一方ノ不幸ハ改革ニ際
 シテハ常ニ免レサル所ナレトモ一般營業ノ繁榮ヲ發達スルヲ以テ其
 不幸ハ償フニ餘リアリト云フヘシ加之「新法」ノ行ハレテヨリ鐵道益

盛ニ起リ通信ノ便大ニ發達セシテ貿易改正ノ効驗益大ナルヲ致
 セリ
 歐洲諸國ノ中佛國ニ先シテ貿易ノ制度ヲ改正セシ者ヲ英國トナス
 其他ハ遲速アリト雖モ皆佛國ノ轍ヲ履ミシ者ナリ千七百七十六年ニ
 雷リアダムスミス氏カ彼ノ著名ナル國富論ヲ著ハセシヤ以爲ラク英
 國ニ於テ純然タル自由貿易ヲ望ムハ尙ホユートピアノ共和政治ヲ實
 施スルヲ望ムニ均キ者ナリト以テ其望ムヘカラサルヲ斷言セリ氏ノ
 活眼ヲ以テ尙ホ英民ヲ下視スルニ過キ社會進步ノ速カナル或ハ能ク
 此域ニ達スルコトアルヲ願ミサル者ト云フヘシ元來虛妄主義ノ辨駁セ
 ラレテ世ノ容レサル所トナリ實施上ニ於テ漸ク之ヲ退ルニ至ルヤ是
 レ將ニ妄說ノ跡ヲ絶ントスルノ時ナリ英國貿易ノ今日ニ至リシ所以
 ノモノ豈ニ偶然ナランヤ

余輩ハ茲ニ英國ノ關稅改正ノ歴史ヲ舉ケサルヘシ英國關稅ノ改正ハ
 已ニ悉セリ又毫モ保護ノ跡ヲ見ス千八百二十年ヨリ千八百五十二年
 ニ至ルノ間國會ノ開會アル毎ニ議常ニ外國貿易ノ法ニ及ヒ毎年舊稅
 ノ廢止ヲ見サル時ナシ右改正ノ時代ヲ分テ三期トナス千八百二十二
 年ヨリ千八百三十年ニ至ル迄ヲ第一期トス千八百三十年ヨリ千八百
 四十五年ニ至ル迄ヲ第二期トシ千八百四十五年ヨリ千八百六十年ニ
 至ル迄ヲ第三期トナス第一期ハ輸入稅減少ノ時ニシテホスキソン氏
 ノ力最モ多キニ居ル第二期ハマンチエスマ同盟カ五穀法廢止ノ議ヲ
 唱ヘテ大ニ輿論ヲ煽動シタル時ニシテロポルト、ピール氏ノ宰相タル
 ニ當テ五穀法ハ實際ニ於テ廢セラレ農業ノ保護此ニ於テ全ク息メリ
 第三期ニ於テ英國ハ航海條例ヲ廢シ逐次保護稅ヲ輕減シテ遂ニ之ヲ
 廢シ貿易ノ改正全ク備リ次テ貿易條約ノ時至レリ

抑モ貿易ノ改正ハ特ニ利ヲ英國ニ與ヘタルニアラス佛國及其他歐洲ノ諸國其轍ニ倣フ者ハ皆之カ利ヲ被ラサルモノナレバ普魯士ハ歐洲大陸諸國ノ中千八百年代ノ戰爭以來最モ輸入税ヲ輕課スル所ノ國ナリ當今ニ於テモ歐洲大陸ノ中最モ關稅法ノ寬ナル者ヲ普魯士トナス(リ)レニロー氏著イストワール、ヂユ、ツオルフエラインニ於テ普魯士ノ舊關稅法ヲ見ルヘシ)

亞米利加合衆國ハ千八百六十年以後大ニ保護稅法ヲ嚴ニシテ頗ル貿易上ノ困難ヲ生セリ

余輩ハ關稅法ノ發達ヲ論スルニ當テ寧ロ經濟上ノ點ヲ主トシテ未ダ深ク財政ノ點ニ及ハス是レ他ナレニ二者常ニ相密着シテ之ヲ區分スルヲ甚ク難キ者アルニ由ル凡ソ關稅ヲ論セント欲セハ先ツ之カ變遷沿革ノ要ヲ購ヒサレハ直チニ本論ニ入ルヲ得サルナリ請フ今ヨリ進テ財

政ノ點ニ入り關稅收入ノ多キヲ欲セハ如何スヘキ關稅組織ノ最良法ハ如何ト云フヲ講究セン

已ニ前章ニ説ケルカ如ク關稅ニ二種アリ一ハ則チ國餉稅ニシテ一ハ則チ保護稅トナス國餉稅ハ內國ニ生産セサル外國品ニ課シ若クハ內國ニ於テ外國品ト同品ヲ生産スルモ其課スル所ノ租稅ノ比例ヲ均フスルモノニシテ保護稅ハ內國ニ於テモ均ク生産スル所ノ粗生品ニシテ內國産ニハ直接ニ租稅ヲ課セサルモノニ輸入税ヲ課シ若クハ外國ノ製造品ニシテ內國産ノ製造品ト競争スヘキモノニ輸入税ヲ課スルニアリ凡ソ輸入税ヲ課スヘキ物品ヲ分テ二等トナス一ハ季候ヲ異ニスル諸國ノ産品ニシテ咖啡椰子茶綿往年ニハ砂糖ノ如キ熱帶地方植民地ノ物産トシ一ハ羊毛苧麻麥葡萄酒ノ如キ農産品石炭鉄一切ノ鑛屬織物ノ如キ工業産品ニシテ歐洲諸國ニ生産スル者トナス

其關稅ヲ納ル、ト多キハ歐洲ニ於テハ第一等ノ植民地ノ物産ニアリ
元來關稅ノ收入ハ其方法ニ由テ多少ヲ生スヘキヲ以テ之カ原因ヲ探
究スルヲ肝要トス

夫レ關稅收入ノ多少ハ第一ニ租稅ヲ課スル所ノ物品ノ數ト價格ニア
ルハ明カナルヘシ例ヘハ羊毛、麥、石炭ニ稅スレハ之ニ依テ多少ノ收入
ヲ得ヘキモ之ニ稅セサレハ毫モ收入ヲ得ルコトナキヲ以テナリ故ニ其
論究スヘキハ是等ノ外國品ニ輸入稅ヲ課スルハ果シテ内地ニ於テ直
稅若クハ間稅ヲ課スルニ優ルヤ否ヤニアリ右ニ引証セシ如キ必需品
ニ租稅ヲ課スルヲ以テ不可トナス所以ハ是等ノ租稅ハ消費者ヲシテ
政府ニ收入スル所ノ者ヨリ遙ニ實際巨額ノ租稅ヲ拂ハシムヘシト云
フニアリ如何トナレハ稅關ニ於テ麥若クハ羊毛ニ租稅ヲ課スル時ハ
外國產ノ麥羊毛獨リ其價ヲ騰貴スルニ止ラスシテ全國一般ノ麥羊毛

ハ租稅ヲ課セサルモ皆均ク騰貴スヘキヲ以テナリ由是觀之ハ被稅品
ノ價ヲ騰貴スルカ爲メニ實際消費者カ拂フ所ノモノト政府ニ收入ス
ル所ノモノト其差ノ甚キヲ知ルヘシ

是等ノ不便ハ暫ク之ヲ問ハス專ラ關稅ノ收入ヲ得ヘキ原因ヲ討索セ
ハ左ノ如ク

第一關稅收入ノ多少ハ徵課スル物品ノ多少ニ由ル然レトモ此點ニ於
テ收入ノ最大額ヲ得ルヲ以テ財政ノ宜キヲ得タル者トナスヘカラス
又内國ニ於テ均ク生産スル所ノ外國品ニ租稅ヲ課スル時ハ實際消費
者ヲシテ政府ノ收入額ヨリ遙カニ多キモノヲ拂ハシムル者ナリトノ
理ヲ忘ルヘカラス如何トナレハ消費者ノ拂フ所ト政府ノ得ル所トノ
比例ハ四五八若クハ十二付テ一ナレハナリ

第二關稅收入ノ多少ハ内地ニ生セサル消費品ニ課スル稅率ノ輕重ニ

由ル凡ソ關稅ノ收入中其大部分ヲ占ムル者ハ砂糖、咖啡、椰子、茶、煙草ノ如キ植民地ノ物産ニ課スル所ノ租稅ナルハ吾人ノ共ニ知ル所ナリ是等ノ物品ハ悉ク供給ヲ外國ニ仰クヲ以テ其稅率最高點ヲ超ルニアラサレハ稅率ノ輕重ニ應シテ收入高ヲ増減スルヲ得ヘシ然レトモ其稅率最高ノ度ヲ超ル時ハ之レカ消費ヲ減少スルヲ以テ收入高ヲ減スヘシ稅率ノ輕重ニ由テ收入ノ多少ニ影響スル所ノ問題ハ余輩數々事ニ觸レテ本書ニ論セリ然ルニ其題目頗ル重要ナルヲ以テ更ニ後篇ニ論スル所アラントス故ニ此篇ニ於テハ只其稅率非常ノ高度ニ達スルニアラサレハ收入高ハ稅率ノ輕重ニ從テ増減スヘシト云フニ止ムヘシ」

第三關稅收入高ノ多少ハ季候ト地位ニ由ル歐洲諸國輸入稅ノ收入ハ植民地ノ物産ニ課スル者ヲ以テ最トナス若シ歐洲中某國ノ季候ヲシテ植民地産ノ物品ト均キモノ若クハ此ト其用ヲ同シフスルモノヲ生

産スルヲ得セシメハ其國ノ關稅ノ收入ハ植民地産品ノ項ニ於テハ他ノ季候ヲ異ニスル諸國ノ關稅ノ收入ニ及ハサルヘシ試ニ英國佛國ノ關稅收入ヲ比較セン英國ハ悉ク其需要スル所ノ砂糖ヲ外國ニ仰キ佛國ハ之ニ反シテ内地ニ於テ其需要ノ三分二ヲ製出ス是レ佛國ノ地味季候ハ英國ニ比スレハ砂糖甜菜ヲ産スルニ適シタルニ由ル故ニ假リニ砂糖ノ輸入稅ヲ課スルヲ英國佛國共ニ相同ク又兩國人民カ砂糖ヲ消費スルヲ相同シトナスモ砂糖輸入稅ノ收入額ハ英國ニ多クレテ佛國ニ少ナカルヘシ如何トナレハ英國ハ其消費スル所ノ一切ノ粗製砂糖ヲ外國ニ仰キ佛國ハ其消費スル所ノ大部分ヲ内地ニ生産スルヲ以テ英國ハ其輸入稅ヲ得ヘキモ佛國ハ多ク收入ヲ内地ノ間稅ニ得ヘクシテ輸入稅ニ少ナカルヘケレハナリ斯ノ如ク關稅ノ收入ニ於テハ兩國ノ間大差アルヘキモ一方ニ足ラサル所ハ一方ニ於テ之ヲ得ルヲ以

テ政府歳入ノ全額ニ影響スル所ナキヤ疑ヲ容レサルナリ然ト雖モ英國ハ近年砂糖ノ輸入税ヲ廢セシヲ以テ例ヲ葡萄酒ニ假ルモ可ナリ葡萄酒ハ佛國ニ於テハ其消費スル所ノ全量ヲ内地ニ製出スト雖モ英國ハ悉ク之ヲ外國ニ仰クヲ以テナリ其消費高ハ大ナラスト雖モ蒸酒ヲ以テ引證スルモ不可ナルヘク又烟草ヲ以テ證スルモ可ナリ如何トナレハ佛國ハ幾分カ其消費スル所ノ烟草ヲ産スト雖モ英國ハ財政ノ便ニ依リ内地ニ於テ烟草ノ耕殖ヲ禁シメレハナリ

第四關稅收入ノ多少ハ人民ノ習俗嗜好ニ由ルコト大ナリ佛國ニ於テ用フル所ノ重ナル飲料ハ自國ニ於テ製造スル所ノ葡萄酒ニシテ英國ニ於テハ外國産ノ茶ヲ以テ重ナル飲料トナス故ニ砂糖ノ消費モ亦從テ多カラサルヲ得ス而シテ砂糖ハ亦外國ノ産品ナリ夫レ茶ハ外國ノ産品ナルヲ以テ稅關ニ於テ輸入税ヲ課スト雖モ佛國ノ葡萄酒ハ内國

ノ製造品ナルヲ以テ内地ノ間稅ヲ課ス是ニ據リテ佛國政府ノ歳入ハ敢テ少ナキヲ患ヘスト雖モ關稅ノ收入ニ於テハ英國ニ多ク佛國ニ少ナカルヘシ即チ英國政府ハ茶ノ輸入税ヲ以テ收入ヲ得佛國政府ハ葡萄酒ノ内地稅ヲ以テ收入ヲ得ルコト却テ多キ者ナリ又佛國ニ於テ消費スル所ノ蒸酒ハ通例内地ニ於テ穀類若クハ葡萄酒ヲ以テ蒸製シタル者ナレトモ英國ニ於テハ之ニ反シ其消費スル所ノ蒸酒ハ多ク外國ノ供給ヲ仰クヲ以テ關稅ノ收入ハ英國ニ多ク佛國ニ少ナシ然ト雖モ佛國政府ノ收入ニ至テハ敢テ之カ爲メニ英國ニ及ハスト云フヘカラス只佛國ノ消費品ハ内國産ノ多キヲ以テ關稅ノ收入少ナク間稅ノ收入多シト云フヘキノミ

第五關稅收入ノ多少ハ行政ノ法ニ由リ外國ニ於テハ他ノ稅目ヲ以テ徵收スル所ノ租稅ニシテ内國ニ於テハ關稅トシテ徵收スルカ爲メニ

之ヲ異ニス例ハハ烟草ハ各國共ニ租稅ヲ課スル所ノ物品ニシテ其稅率甚ク重ク歲計豫算上頗ル要項ヲ占ムルモノナリ英國烟草稅ノ收入ハ大ニ佛國ノ烟草稅收入額ニ及ハサレトモ關稅ノ收入表ニ於テハ英國ノ烟草稅收入高ハ一大要項ニシテ佛國ノ收入高ハ甚ク微ナリ是レ他ナシ英國ハ内地ニ於テ烟草ノ耕作ヲ禁シタルヲ以テ烟草稅ハ悉ク輸入稅ナリト雖モ佛國ニ於テハ烟草ノ製造ヲ以テ政府ノ特占ニ歸スルニ由リ烟草稅收入ノ全額ハ内地ノ間稅ナルヲ以テナリ斯ノ如ク財政制度ノ異ナルカ爲メニ英國ノ烟草輸入稅ハ佛國ノ烟草輸入稅ヨリ多キ一億七千五百萬乃至一億八千萬フランクナリト雖モ之ヲ以テ佛國烟草稅ノ收入ハ英國ニ及ハスト斷言スヘカラス其差違ハ單ニ形貌ノ差異ニ因ル者ニシテ佛國ノ關稅ニ於テ見サル所ノ者ハ間稅ノ收入ニ於テ見ルヲ得ヘシ試ニ佛國ニ於テ砂糖稅ノ徵收法ヲ改メ稅ヲ粗

製砂糖ニ課スルヲ止メ更ニ之ヲ精製砂糖ニ課スル者トセハ佛國今日ノ砂糖輸入稅ハ凡ソ五千萬フランクヲ收入スレトモ殆ト之レカ收入ヲ得サルニ至ラン然レトモ佛國政府ハ全ク其收入五千萬フランクヲ減スルニアラス關稅ニ於テ徵收セサル所ノモノハ更ニ内地ノ間稅局ニ於テ之ヲ徵收スヘキヲ以テ相償フヲ得ヘシ右ニ陳ル所ノ稅關收入増加ノ五原因ニ由テ之ヲ觀レハ諸國ノ間大ニ其原因ヲ異ニスルヲ以テ其國關稅ノ收入高ヲ見テ遽ニ之カ多少ヲ決スルヲ得ス殊ニ諸國間ノ關稅ノ收入ヲ比較セント欲セハ之カ各部ヲ詳查スルニアラサレハ能ハサルナリ如何トナレハ關稅ノ收入ヲ得ル所ノ原素各國相同シカラス甲國ニ於テハ間稅ノ收入ニ算入スル所ノ者乙國ニ於テ關稅ノ收入ニ載スルヲ以テナリ由是觀之ハ若シ英國ノ消費稅ヲ以テ佛國ノ消費稅ト其景況ヲ對照セ

ント欲セハ先ツ兩國關稅ノ收入及内地間稅ノ收入ヲ合算シテ然ル後
 初メテ兩國ノ消費稅ヲ比較論究スルヲ得ヘシ然ラスシテ單ニ英國ノ
 關稅ヲ以テ佛國ノ關稅ニ比較シ若クハ英國ノ内地間稅ヲ以テ佛國ノ
 内地間稅ニ比較セハ漠トシテ精密ノ比較ヲ定ルヲ能ハサルヘシ同一
 國ニ於テモ其年代ヲ異ニスル所ノ消費稅ヲ比較セント欲セハ亦其法
 ヲ同フセサルヘカラス
 關稅ノ收入ヲ論セント欲セハ尙ホ願ミサルヘカラサル者アリ則チ諸
 國ノ關稅收入表ニ載スル所ノ者ハ通例其總收入高ヲ示ス者ニシテ眞
 ノ純收入高ヲ知ラント欲セハ只ニ徵收費ヲ扣除スルヲ以テ足レリト
 セス又拂戻シ若クハ時トシテハ輸出恩賜金ノ額ヲ扣除セサルヘカラ
 ス然ルヲ通例其拂戻シ若クハ輸出恩賜金ヲ扣除セサルヲ以テ第一ニ
 ハ關稅收入高ノ外形ヲ過大ニシ第二ニハ年代ノ異ナル收入及諸國ノ

關稅收入ヲ比較スルヲ能ハサラシム
 其拂戻シ及輸出恩賜金ハ一ケ年五千萬フランクニ達スルモノニシテ
 關稅收入高ニ對スル比例ハ各國毎年同キヲ得ス其被稅品ノ性質財政
 法ノ同シカラサルニ從テ大ニ變動アリ
 英國ニ於テハ拂戻シ若クハ輸出恩賜金ノ制ナク關稅ノ收入高ニハ只
 其徵收費ヲ含有スルニ過キス故ニ此點ヨリシテ云ヘハ英國ノ關稅收
 入高ハ寧ロ純收入ナリト稱スヘシ斯ノ如ク英國關稅ノ簡單ナル所以
 ノモノハ單ニ需要ノ多キ數種ノ物品ニ稅シ粗生品ニ課スルニ租稅ヲ
 以テセス又毫モ保護稅ノ性質ヲ有セサルニ由ル佛國ハ之ニ反シテ千
 八百六十年ニ至ル迄ハ盛ニ拂戻シ輸出恩賜金ノ法ヲ行ヒ稅關ノ事務
 分レテ受與ノ二様アリ其然ル所以ノ者ハ佛國政府ハ租稅ヲ粗生品ニ
 課シ而シテ其租稅ヲ課シタル粗生品ヲ以テ物品ヲ製シ之ヲ輸出スル

時ハ更ニ拂戻シノ法ヲ以テ割戻シヲナスニ由ル故ニ關稅收入ノ表面ハ大ニ實際ノ收入ニ過ク例ヘハ外國產ノ羊毛ニ一割、一割五分若クハ二割ノ輸入稅ヲ課スル時ハ一切外國ノ羊毛ハ其租稅ヲ拂ヒ而シテ其收入額ハ悉ク關稅ノ收入表ニ載スト雖モ其羊毛ヲ以テ製シタル物品ヲ輸出スル時ハ已ニ仕拂ヒタル租稅ノ割戻シヲ受ルナリ由是觀之ハ若シ佛國當時ノ關稅ノ實收入如何ヲ知ラント欲セハ單ニ輸入稅ヲ見ルヘカラス必ス輸出ノ際拂戻シタル租稅ノ額ヲ對比シ輸入稅收入高ヨリ拂戻シノ額ヲ扣除セサルヘカラス然ルニ關稅ノ報告ニ於テハ是等ノ扣除ヲ行ハス相離レテ二箇ノ表ヲ附ス一ハ則チ輸入ノ際徵收シタル租稅ノ全額ヲ示シ一ハ則チ(數百葉ヲ隔テ)輸出ノ際拂戻シタル租稅ノ額ヲ示ス者ナリ

已ニ云ヘルカ如ク是等ノ輸出恩賜金及拂戻シノ高ハ關稅收入ノ總額

ニ對シテ常ニ一定ノ比例ヲ有スルモノニアラス其額ハ被稅品ノ性質ニ據テ變動スルノミナラス又財政ノ方法ニ從テ變動スヘシ内國ノ製造家カ輸出品ノ製造ニ供スル所ノ粗生品ノ輸入稅ニ困ムヲ以テ其困難ヲ救正センカ爲メニ拂戻シ及暫時輸入免許ノ二法ヲ行ヘルハ已ニ前章ニ説ク所ノ如シ拂戻シノ法ニ於テハ政府ハ先ツ租稅ヲ徵收シ然ル後之ヲ拂戻シ暫時輸入免許ノ法ニ於テハ輸出品ノ製造ニ供スル物品ノ輸入稅ヲ徵セス故ニ政府ノ關稅收入表ニ於テハ拂戻シノ法ヲ行フ者ト暫時輸入免許ノ法ヲ用フルトハ大ニ差異ナカルヘカラス然レトモ其純收入高ニ至テハ毫モ差異ナカルヘシ只拂戻シノ法ニ據レハ粗生品ノ稅スヘキ者ハ悉ク租稅ヲ拂ハシメテ輸出ノ時之ヲ拂戻シ暫時輸入免許ノ法ニ於テハ輸出セント欲スル物品ノ製造ニ供スル粗生品ハ輸入稅ヲ拂ハサルヲ以テ輸出ノ時ハ更ニ拂戻スヘキモノナシ故

ニ拂戻シノ法ヲ用フル時ハ關稅收入表ノ外觀ハ頗ル實際ノ收入ニ超
 ヲ若シ其收入表ヨリ拂戻シ及輸出恩賜金ノ額ヲ扣除シテ收入表ヲ製
 セハ斯ノ如キ不便ナカルヘシト雖モ不幸ニシテ是レ諸國ノ通法ニア
 ラサルナリ佛國ニ於テハ往年精製砂糖ノ輸出ニハ專ラ拂戻シノ法ニ
 依レリ今日ハ暫時輸入免許ノ法ニ依ル是故ニ千八百五十九年ノ關稅
 表ヲ以テ千八百六十九年ノ表ニ比較セハ其實際ノ差違ハ其外觀ニ於
 ルヨリ甚シカラサルヘシ

關稅收入表ノ解示已ニ明カナルヲ以テ今ヨリ進テ五六十年以來佛國
 關稅ノ收入如何ヲ論セン抑モ佛國關稅ノ種類ヲ分テ四トナス即チ輸
 入稅輸出稅航海稅及臨時ノ收入是ナリ又佛國ニ於テ數々鹽稅ヲ以テ
 關稅ニ加フ佛國ノ鹽稅ハ其徵收ヲ分テ二種トナス一ハ國ノ内部ニ於
 テ製産スル所ノ鹽ニ課スルモノニシテ關稅局ニ於テ之ヲ徵收シ一ハ

輸入鹽及邊境諸州ノ製鹽ニ課スルモノニシテ稅關ニ於テ之ヲ徵收ス
 故ニ鹽稅ハ内地ノ間稅ナルアリ關稅ナルアリ其徵收相均シカラス若
 シ關稅ノ收入ヲ論スルニ當テ鹽稅ヲ加フル時ハ却テ煩雜ナルヲ以テ
 今暫ク之ヲ度外ニ置カン
 オイヂフレール侯ノ著書ニ據レハ王政復古政府ノ時關稅ノ收入高ハ左
 ノ如シ

オイヂフレール侯著レシシステム、フィナンシエ、デ、ラ、フランス第二卷三
 百二十六葉ヲ見ルヘシ

年代	收入高
千八百十六年	五一、四五八、五九〇フランク
千八百十八年	六七、〇五五、五三一フランク
千八百十九年	六三、三二五、一八〇フランク

千八百二十年	七七、四〇三、八二六フランク
千八百二十二年	八三、九八八、八六六フランク
千八百二十四年	九八、〇二二、五一一フランク
千八百二十五年	九二、三六三、七二二フランク
千八百二十六年	一〇五、一二二、三八九フランク
千八百二十七年	九八、六六八、六一八フランク
千八百二十八年	一〇九、二八二、一五七フランク

右ノ表ニ據テ之ヲ見レハ關稅ノ收入高ハ實ニ僅少ナリト云フヘシ然レトモ尙ホ是レ惣收入高ナリ故ニ輸出恩賜金ノ額ヲ扣除セサルヘカラス輸出恩賜金ノ額ハ左ノ如シ

年代	輸出恩賜金
千八百二十年	九七一、二一八フランク

千八百二十一年	三、一六五、七六一フランク
千八百二十二年	九、六二五、〇一五フランク
千八百二十三年	二、一三三、一七三フランク
千八百二十四年	五、六六二、五九九フランク
千八百二十五年	九、三〇七、〇六三フランク
千八百二十六年	九、四三七、二二三フランク
千八百二十七年	一〇、一四九、四三三フランク
千八百二十八年	一〇、三一一、一九九フランク

右ノ表ニ據レハ王政復古政府ノ晩年ニハ關稅ノ純收入高ハ八千八百萬乃至九千九百萬フランクノ間ニアルヲ見ルヘシ然レトモ此ニ純收入ト稱スルハ償補金ヲ扣除セシニ過キサルヲ以テ眞ノ純收入ヲ知ラント欲セハ常ニ徵收費ヲ扣除セサルヘカラス

進テルイ、フイリツプ王ノ時ノ關稅鹽稅ヲ除キヲ見レハ少シク其増加ヲ表セリ千八百三十年ニ於テハ關稅ノ總收入高一億四百五十萬フランク千八百四十年ニ於テハ一億二千二百萬フランクニシテ恩賜金ノ扣除スヘキ者常ニ千五百萬乃至二千萬フランクアリ千八百四十七年ニ至テハ總收入ノ高一億四千四百萬フランクニ達セリ千八百五十年ニハ總收入一億三千四百萬フランクナリト雖モ恩賜金ノ額二千五百萬フランクノ扣除スヘキモノアリ超エテ貿易條約ノ前年即チ千八百五十九年ニ於テハ關稅ノ收入ト稱スルヲ得ヘキ者二億フランクニシテ輸入稅ハ其一億八千九百五十萬フランクトス其増加ハ重ニ砂糖咖啡ノ輸入稅増加ニ由ル然レトモ拂戻シ若クハ輸出恩賜金ノ額五千萬フランクニ達スルヲ以テ純收入ハ僅ニ一億五千萬フランクニ過キサ
ルナリ

今若シ一步ヲ進メテ之ヲ論究セハ内國ニ於テ均ク生産スル所ノ外國産ノ粗生品ニ輸入稅ヲ課スルノ大ニ不可ナルヲ見ルヘシ千八百五十年ニ於テ羊毛ノ輸入稅ハ千五十萬フランクニシテ製造品輸出ノ際ニ拂戻シタル租稅ノ高ハ七百萬フランクアリ千八百五十九年ニ於テ羊毛ノ輸入稅ハ七百五十萬フランクニシテ輸出ノ爲メニ拂戻シタルハ六百萬フランクニ達セリ由是觀之ハ其粗生品ニ課スル所ノ租稅收入高ト拂戻高ノ差ハ微々タル者ト云フヘレ其微々タル收入ヲ得ント欲シテ貿易上ニ非常ノ不便ヲ與ヘ内國一般羊毛ノ價ヲ増加セリ甚キニ至テハ毛織物輸出ノ拂戻シ高ハ羊毛ノ輸入稅收入高ニ超過シタルヲアリ

貿易條約ノ後千八百六十一年ニ於テ關稅ノ收入高ハ鹽稅ヲ除キ一億三千五百萬フランクニシテ其一億二千六百萬フランクヲ輸入稅トナ

ス而シテ輸出恩賜金及拂戻シノ高ハ二千三百萬フランクニ過キサリ
 シヲ以テ關稅ノ純收入總額ハ一億二千二百萬フランクニシテ千八百五
 十九年ノ收入高一億五千萬フランクニ比スレハ實ニ三千八百萬フラ
 ンクノ減少ナリ其減少シタル所以ハ一ニ咖啡及砂糖ノ輸入税ノ減少
 ニ由ル千八百六十二年ニハ關稅ノ總收入ハ一億五千九百萬フランク
 内輸入税ノ收入高一億五千二百萬フランクニシテ恩賜金四千萬フラ
 ンクヲ減シ純收入一億二千萬フランクアリ千八百六十九年ニハ其收
 入高一億二千二百萬フランクニシテ輸入税ノ收入ハ一億二千萬フラ
 ンクアリ此年佛國ハ粗生品ノ輸入税ヲ廢シ拂戻シノ法ヲ改メ暫時輸
 入免許ノ法ヲ以テ之ニ代ヘタルヲ以テ又扣除スヘキ者ナシ
 由是觀之ハ千八百六十年ノ改正以前ニアリテハ最大ノ收入ヲ得タル
 ハ一億五千萬フランクニシテ改正以後ハ九年ノ後ニシテ一億二千二

百萬フランクヲ以テ最大額トナス然ルニ其差違アル者ハ重ニ砂糖機
 咖啡税ノ減少ニ由レリ右ノ租稅減少ハ貿易改正ト同時ニ舉行セリト
 雖モ當時此輕減ヲ行ハサルモ貿易改正ノ經濟上ノ效驗ヲ減スルコト
 カルヘシ加之ス千八百五十九年ヨリ千八百六十九年ニ至ル迄ノ間大
 ニ稅關官吏ノ數ヲ減シタルヲ以テ關稅ノ徵收費ハ凡ソ一千萬フラン
 クヲ減セリ是等ノ實況ヲ斟酌シテ之ヲ見レハ關稅ノ眞ノ純收入高ハ
 改正後數年ニシテ改正以前ノ額ニ復セリト云フヘシ然ラハ則チ政府
 ハ其收入ニ於テ損スル所ナクシテ商業上ニ大利ヲ得タル者ナリ其減
 少セシ租稅ノ額ハ左ノ如シ

- 生綿 一九〇〇〇〇〇〇フランク
- 羊毛 七五〇〇〇〇〇フランク
- 油種 一一〇〇〇〇〇フランク

穀物	八〇〇、〇〇〇フランク
藍	六〇〇、〇〇〇フランク
麻	六〇〇、〇〇〇フランク
生皮	五〇〇、〇〇〇フランク
合計	三〇二、〇〇〇フランク

右収入額ノ一部分ハ輸出ノ時拂戻シヲナセシ者ナリ凡ソ營業ニ便ヲ與フルハ租稅ヲ廢スルノ效ハ却テ小ニシテ寧ロ種々ノ煩文ヲ去リ輸入ノ際租稅ヲ徵收シ輸出ノ際拂戻シヲナスカ爲メニ取引ノ遲滯ヲ生セシメサルノ便ヲ以テ大ナリトス

之ヲ歐洲諸國ノ實験ニ徵スルニ大ニ經濟上ノ不便ヲ生セステ關稅ノ收入ニ巨額ヲ得ヘキ者ハ植民地ノ物產ト稱スル所ノ外國品ニ課スル者是ナリ之ニ反シテ内地ニ於テ均ク生産スル所ノ外國產ノ粗生品

若クハ農產品若クハ製造品ニ課スル所ノ租稅ハ收入ノ少ナキ工業商業ノ負擔ヲ重フシ内國ノ物價ヲ騰貴スルノ三失アリ

保護制度ノ盛ナル時千八百五十年ニ於テ植民地ノ生産品ニ課シタル輸入稅ノ收入ハ砂糖稅ヲ合セテ七千六百七十一フランクアリ同年内地ニ於テ均ク生産スル所ノ農產品ノ輸入稅ハ三千二百四十二萬フランク製造品ノ輸入稅ハ二千五百七十七萬六百二十八フランクニシテ此二種ノ租稅ヲ合スモ尙ホ植民地產品ノ輸入稅收入高ノ三分ノ二ニ過キサルナリオーダフレ侯著レシステム、フィナンシエ、デラ、フランス第一卷二百八葉ニ於テ千八百五十年ノ關稅收入表ヲ見ルヘシ

千八百七十年千八百七十一年ノ國難後佛國ノ關稅中製造品ノ輸入稅ハ變動ナキモ植民地產品ノ輸入稅ハ大ニ増加セリ千八百七十三年ニ

於テ佛國關稅ノ收入高ハ二億五千七百十九萬三千七百九十三フラン
 クニシテ稅關ニ於テ徵收スル所ノ鹽稅ノ收入二千五百九十二萬四千
 五百五十九フランクヲ減スレハ眞ノ關稅收入高ハ二億三千二百二十六
 萬九千二百三十四フランクトナル之ヲ分テ五項トナス第一雜納即チ
 罰金印紙稅等ノ收入高二百八十五萬二千八十三フランク第二航海稅
 ノ收入高四百四十二萬九百五十七フランク第三從數稅即チ國境ヲ出
 入スル所ノ荷物ニ每箇十サンチムヲ課スル租稅ノ收入高五百五十
 萬六十四フランク第四輸出稅ノ收入高三十四萬二千百十七フランク
 第五輸入稅ノ收入高二億千八百十五萬四千十三フランク是ナリ近年
 或ハ以爲ラク輸入稅ヲ以テ千八百七十三年ノ收入高ヨリ多キヲ五六
 千萬フランク若クハ八千萬フランクヲ徵收スルヲ敢テ大ニ內國ノ營
 業ヲ害セサルヘシト是レ實際ヲ知ラサルノ說ニシテ思ハサルノ甚

者ト云フヘシ右ノ如キ巨額ヲ得ント欲セハ粗生品ニ稅スルノ外他ニ
 得ル所ナカルヘシ然ル時ハ大ニ佛國營業ノ發達ヲ妨ケ之ヲシテ外國
 ノ競爭ニ當ルヲ能ハサラシムルニ至ルヘシ
 若シ右ノ輸入稅二億千八百萬フランクヲ區分セハ其大部分ハ僅々數
 種ノ物品ニ課スル者ニシテ實ニ輸入稅全額四分ノ三以上ハ僅ニ六品
 ノ輸入稅ニアルヲ見ルヘシ千八百七十三年度ノ收入ニ於ル六品ノ輸
 入稅ハ左ノ如シ

- 第一 咖啡 六七、六〇〇、〇〇〇フランク
- 第二 植民地產ノ砂糖 三七、五〇〇、〇〇〇フランク
- 第三 外國產ノ砂糖 三一、九〇〇、〇〇〇フランク
- 第四 油及石油 一二、四〇〇、〇〇〇フランク
- 第五 石炭及木炭 九、〇〇〇、〇〇〇フランク

第六 椰子

合計

七、四〇〇、〇〇〇フラン
一、六五八、〇〇〇フラン

右六品ノ輸入税額ヲ扣除スル時ハ千八百七十三年ノ輸入税ハ僅ニ五
千二百四十萬フランニ過キサレナリ其五千二百四十萬フランハ
米、麥、胡椒、ビーマン等ノ如キ食品ニ課シタル者ヲ多シトス製造品ノ輸
入税ハ甚タ重ク八分乃至一割五分ニシテ鐵ノ如キハ三割ニ達スト雖
モ千八百七十三年ニ於テ其收入高ハ僅ニ二千二百萬フランニ過キ
ス即チ之ヲ細別スレハ

- 木綿織物 六、一〇〇、〇〇〇フラン
- 毛織物 五、九〇〇、〇〇〇フラン
- 木綿糸 二、六〇〇、〇〇〇フラン
- 機械 一、八〇〇、〇〇〇フラン

麻織物

工具

鋼鐵

麻糸

絹糸

生皮

雜製造品

- 一、三〇〇、〇〇〇フラン
- 一、〇〇〇、〇〇〇フラン
- 六〇〇、〇〇〇フラン
- 四〇〇、〇〇〇フラン
- 三〇〇、〇〇〇フラン
- 一〇〇、〇〇〇フラン
- 一、八九一、〇〇〇フラン

千八百七十五年四月二十四日刊行レコノミストフランセ「新
聞ヲ見ルヘシ

千八百七十七年佛國關稅ノ收入高ハ鹽稅ヲ除キ二億七千三百萬フラ
ンク千八百七十八年即チ萬國博覽會ノ年ニ於テハ二億八千九百萬フ
ランクニ達セリ

由是觀之ハ佛國ニ於テハ大ニ製造品ノ輸入税ヲ減スト雖モ著ルシク政府ノ收入ヲ減セサルヲ知ルヘシ加之ス全ク其輸入税ヲ廢スルモ全体ノ收入ニ於テハ自然ノ増加高ヲ以テ其不足ヲ補フヲ得ヘシ

尤モ千八百七十七年千八百七十八年ニ於テハ製造品ノ輸入増加セ

シヲ以テ其輸入税モ亦増加シ凡ソ三千萬フランク乃至三千二百萬

フランクノ收入ニ達セシナルヘシト雖モ是レ未タ以テ巨額ト云フ

ヘカラス宜ク漸次外國製造品ノ輸入税ヲ輕減シ平均五分ノ税率ニ

至ラシムヘシ

開明ノ進度已ニ佛國ノ如キニ至リシ者ハ重ニ富民ノ消費ニ供スル所ノ植林地產品ニ課スルニ重税ヲ以テスヘシ例ヘハ咖啡ニ重税ヲ課スルモ敢テ妨ル所ナシ如何トナレハ佛國ニ於テハ葡萄酒林檎酒ヲ以テ普通一般ノ飲料トシ咖啡ハ上等ノ飲料ナルヲ以テナリ砂糖モ亦非常

ノ高度ニ達セサレハ稍々重税ヲ課スルモ大ニ難スヘキ者ナキカ如シ如何トナレハ砂糖ハ已ニ前篇ニ陳述セルカ如ク消費ノ多少ハ最も能ク財力ニ應シテ比例スル所ノ者ナレハナリ其他椰子茶胡椒ピーマンノ如キモ亦關稅ヲ課スルニ適スル者ト云フヘシ方今諸國ノ政府皆巨額ノ國債ヲ負ヒ巨萬ノ軍隊ヲ備ルヲ以テ關稅ノ法決シテ廢スルヲ得ス右ニ枚舉スル所ノ諸品ノ如キハ關稅ノ中最モ害ナクシテ之ヲ課スルニ最良ナル者ト云フヘシ

之ニ反シテ五穀菓物ノ如キ農產品若クハ普通ノ食品トナル者ニ關稅ヲ課スルハ大ニ厭フヘキ者アリ斯ノ如キ物品ニ輸入税ヲ課スル時ハ一般食料ノ價ヲ騰貴シ人民カ拂フ所ノ者ハ遙ニ政府カ得ル所ニ超エ僅々タル收入ヲ收ルカ爲メニ漫ニ關稅ノ規則ヲ繞密ニシ又大ニ取引ノ活動ヲ妨クヘシ五穀ノ税ハ假令僅少ナリト雖モ麥粉干温飽等ノ輸

出ヲ妨クヘク石炭石油眞鍮鉄材木染料生皮ノ如キ粗生品ノ輸入税モ亦然リ宜ク他ノ物品生産ニ用フル所ノ物品ハ一切輸入税ヲ課スヘカラス又製造品ノ税ニ至テハ其收入甚タ微々タル者ニシテ財政上ノ點ヨリシテ之ヲ見レハ實ニ徵收スルニ足ラサル所ノ者タリ今ヨリ宜ク漸次諸製造ニ用フル粗生品及眞鍮鉄鋼鉄機械工具生皮材木ノ如キハ全ク其輸入税ヲ廢スルヲ力ムヘシト度之カ改正ニ着手セハ宜ク糸及織物ノ租税ヲ減シテ四分乃至五分トナスヘシ然ル時ハ關稅ノ稅率ハ此ニ於テ全ク保護稅ノ性質ヲ失ヒ純然タル國餉稅トナラン而シテ同時ニ又内國租稅ノ法ヲ改正シ一切ノ營業ヲシテ外國ノ競争ニ當ルニ容易ナラシムルヲ力ムヘシ

關稅ノ中最小ノ租稅ニシテ往々最大ノ不便ヲ生スル者アリ是故ニ簡單ノ方法ヲ求ムルヲ力メサルヘカラス千八百七十年及ヒ千八百七十

一年以後ノ設置ニ係ル所ノ租稅ニシテ其外觀ハ甚タ輕稅ノ如クニシテ實際輸出ニ最大ノ害ヲ與フル者ヲ從數稅トナス從數稅ノ收入高ハ僅カニ六百萬フランクニ過キサル者ナリ之ヲ發議セシ所ノ大藏卿ハ斷言シテ曰ク諸君國境ニ入ルヤ其荷物ニ十サンチムノ稅ヲ拂フモ其僅少ナル或ハ知ラスシテ經過スヘシト蓋シ一二ノ荷物ニ於テハ其レ或ハ然ラン然ト雖モ巨量ノ商品ヲ出入スルニ至テハ決シテ然ラス該稅ハ藍一箱絹一捆ニ課スル時ハ實ニ微小ナリト雖モ價格ノ小ナル商品ニアリテハ頗ル重稅ニシテ時トシテハ禁制稅ヲラサルヘカラス例ヘハ或ル藥品ノ價一箱二十フランクナル者アリ之ニ十サンチムノ租稅ハ千分ノ五ニ當ル又西班牙葡萄牙ノ内部ヘ送ル所ノ「サンダル」一包ハ量目六十キログラムニシテ其價十フランクナリ之ニ輸出ノ時十「サンチム」ノ稅ヲ課スルハ輸入ノ從數稅ヲ問ハスシテ百分ノ一ニ

當ル斯ノ如キノ類甚々多ク枚舉ニ暇マラス此無用ナルトサンチ
 ムノ從徵稅ノ爲メニ或ル藥品製造所ニ於テハ毎年八千フランクヲ拂
 フト云フ右ノ稅額ヲ以テ外國ノ消費者ニ負擔セシメント欲スルモ到
 底能クスヘキニアラス全ク製造家ノ負擔スル者ナリ該稅ハ輕少ナリ
 ト稱スレトモ其實甚々重稅ニシテ外國へ輸出ヲナス者ハ之ヲ拂ハサ
 ルヘカラス佛國ノ内地用ニ供スル者ハ其輸入ニ拂ヒタル從徵稅ハ佛
 國ノ消費者ヲシテ之ヲ拂ハシムルヲ以テ毫モ之ヲ負擔セス豈ニ不公
 平ノ租稅ニアラスヤ或ハ云ン輸出品ノ製造者ハ其價ヲ騰貴シテ價ヲ
 外國人ニ得ヘシト是レ過テルノ甚シキ者ト云フヘシ如何トナレハ購
 買者ハ抵價ニ就クヲ以テ若シ佛國製造品ノ價獨リ騰貴スル時ハ外國
 ノ商賈ハ寧ロ物品ヲ英國若クハ米國ニ求ムヘシ故ニ佛國ノ製造者ハ
 其從徵稅ヲ負擔セサルヘカラス從テ外國製造者ト競争スルニ當リ其

困難ヲ増加ス從徵稅ノ收入高ハ僅ニ五百萬乃至六百萬フランクニシ
 テ輸出品ノ製産者ノ負擔トナルヲ重ク大ニ外國ノ經過ヲ妨ケ殆ト之
 ヲ停止セントス元來佛國ニ於テ從徵稅ヲ行フハ其不條理ニシテ有害
 ナルヲ他ノ諸國ニ於テスルヨリ甚シ如何トナレハ佛國ノ輸出品ハ重
 ニ小品ニシテ荷物ノ嵩甚々小ナル者多クレハナリ而シテ其嵩ノ大ナ
 ル者ニ至テハ又其價格ノ小ナル此ニ引証シタル藥品ノ如キ者少ナカ
 ラス

佛國ニ於テ被稅品ヲ減シテ重ニ植民地ノ生産品ニ課スル者トシ製造
 品ノ租稅ヲ減シテ四分乃至五分トナスモ政府ハ尙ホ關稅ノ收入トシ
 テ凡ソ二億フランクヲ得ヘシ英國ノ關稅法改革ヲ行フヤ慎重精巧ニ
 シテ能ク其歲入ヲ減セス次ヲ逐フテ之ヲ大成セリ往年英國關稅法ノ
 煩雜繞密ナリシコハ尙ホ佛國ノ千八百六十年前ニ於ルカ如シ然ルニ

今日ニアリテハ其輸入税ヲ課スル所ノ重要ナル者ハ僅ニ六種ニ過キ
 スレテ其他微々タル者凡ソ十二種アリト雖モ久シカラステテ之ヲ廢
 スルニ至ルヤ疑ヲ容レサルナリ
 英國ニ於テハ四十年以來年トシテ關稅ヲ減レ或ハ之ヲ廢セサルハナ
 シ二三十年前ニ於テハ關稅ノ收入高六億乃至七億フランクニ達セリ
 ト雖モ方今ハ五億乃至五億一千萬フランクニ下レリ然ト雖モ其之カ
 爲メニ得タル所ノ利益ヲ算スレハ千八百六十年若クハ千八百五十年
 ト千八百七十七年ノ關稅收入高ノ差違ヲ償フニ餘アリト云フヘシ加
 之ス英國ニ於テ若シ關稅ノ收入高ヲ増加セント欲セハ既ニ廢シタル
 無數ノ輸入税ヲ再置セサルモ砂糖茶及ヒ咖啡ノ税ヲ以テ二十年前ノ
 税率ニ復セハ三億フランク餘ノ收入ヲ増加スルニ足ラン近年英國ハ
 全ク砂糖ノ輸入税ヲ廢シ大ニ茶ノ税ヲ減セリ是等ノ二品ハ英國ニ於

テハ普通ノ消費物ニシテ中等以下細民ニ至ル迄盛ニ需要スル所ノ者
 ナレハナリ

千八百七十六年度英國關稅ノ收入高ハ四億九千七百萬フランク(千九
 百八十九萬六千三百八十六ポンド)ニ達セリ之ヲ細別スレハ左ノ如シ

- 茶税 九三、〇〇〇、〇〇〇フランク(三、七二三、一四七ポンド)
- 咖啡税 五、〇〇〇、〇〇〇フランク(二〇〇、四一八ポンド)
- 火酒税 一四五、〇〇〇、〇〇〇フランク(五、七六九、二五二ポンド)
- 葡萄酒税 四四、〇〇〇、〇〇〇フランク(一、七三八、五五五ポンド)
- 烟草税 一九四、〇〇〇、〇〇〇フランク(七、七七五、五七五ポンド)
- 諸品税 一六二、五〇〇、〇〇〇フランク(六、四八、一三九ポンド)
- 雜收入 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇フランク(四一、三〇〇ポンド)

由是觀之ハ諸品ノ税ヲ廢スルモ英國關稅ノ收入ハ尙ホ四億八千萬フ

ラシクヲ得ヘレ

茶、蒸酒、葡萄酒、烟草ハ佛國ノ關稅收入ニ巨額ヲ表ハスヘキ者ニアラス如何トナレハ茶ハ佛國人民ノ常用品ニアラス蒸酒葡萄酒ハ多ク内地ニ於テ生産シ輸入スル者甚タ少ナク烟草ハ政府ノ特占スル所ニシテ内地稅ヲ以テ之ヲ徵收スレハナリ然レトモ砂糖、椰子、咖啡ノ消費ハ英國ヨリ多キヲ以テ他ノ植民地產物ノ輸入稅ヲ合セテ佛國ノ關稅收入高ハ二億フランクニ達スルヲ得ヘシ殊ニ或ル製造品ニ課スルニ四分乃至五分ノ輸入稅ヲ以テ右ノ收入額ヲ得ルハ敢テ難キニアラサルヘ

余輩ハ前篇ニ於テ關稅ノ徵收費ヲ論セリ(第四篇ヲ參照スヘシ)佛國ノ關稅徵收費ハ甚タ大ナリ然ト雖モ關稅ノ事タル内地ノ間稅ト相連結レテ離ルヘカラサルヲ以テ單立シテ關稅ヲ論スヘカラス必スヤ二稅

ノ徵收費ヲ合セテ二稅ノ合計收入高ニ對比スルニアラサレハ徵收費ノ收入高ニ於ル精密ノ比例ヲ知ルヲ得ス千八百七十五年佛國ノ關稅收入高ハ二億六千七百萬フランクニシテ其徵收費ハ三千二十四萬フランク即チ一割一分ト八分ノ五ニ當ルレオンゼー氏ノ報告ニ據レハ收入高百フランクニ付テノ徵收費ハ千八百六十年以來大ニ減少セリ該報告ノ表ハ則チ左ノ如シ

關稅收入高百フランクニ付徵收費ノ割合

年代

徵收費

千八百六十年	二五フランク
千八百六十一年	二三フランク四分ノ一
千八百六十二年	二二フランク二分ノ一
千八百六十三年	二三フランク二分ノ一

千八百六十四年	二三フランク四分ノ一
千八百六十五年	二〇フランク四分ノ三
千八百六十六年	一九フランク二分ノ一
千八百六十七年	一八フランク四分ノ三
千八百六十八年	一九フランク
千八百六十九年	一九フランク三分ノ一
千八百七十年	一八フランク三分ノ一
千八百七十一年	一五フランク二分ノ一
千八百七十二年	一六フランク二分ノ一
千八百七十三年	一一フランク八分ノ五

表中末年ニ至リ大ニ徵收費ノ比例ヲ減シタルハ戰爭後大ニ植民地產ノ物品ノ輸入稅ヲ增加セシニ由ル

左ノ表ハ均クレオンゼー氏ノ報告ニ據ル者ニシテ大ニ佛國關稅法ノ進歩ヲ見ルニ足ル

佛國稅關官吏員數	年代	官吏員數
千八百五十八年	千八百五十八年	二七、七九一人
千八百五十九年	千八百五十九年	二七、八五一一人
千八百六十年	千八百六十年	二九、四三八人
千八百六十一年	千八百六十一年	二八、〇七六八
千八百六十二年	千八百六十二年	二八、〇八四人
千八百六十三年	千八百六十三年	二七、七七一人
千八百六十四年	千八百六十四年	二六、七五八八
千八百六十五年	千八百六十五年	二五、九八二八

千八百六十六年	二二、八〇九人
千八百六十七年	二二、〇八四人
千八百六十八年	二二、〇七三人
千八百六十九年	二二、〇八四人
千八百七十年	二二、一六五人
千八百七十一年	二二、一五六人
千八百七十二年	二二、九三二人
千八百七十三年	二二、九二四人
千八百七十四年	二二、九〇二人
千八百七十五年	二二、九二四人

右ノ表ニ由テ之ヲ見レハ千八百六十年ヨリ千八百六十九年ニ至ル迄ノ間税關官吏ノ數ヲ減スルヲ七千三百五十四人ノ多キニ及ヘリ千八

百六十九年以後復タ八百四十人ヲ増加セリ此増加ヲナシタルハ或ル租税ヲ増加セシカ爲メニ密賣ノ弊盛ニ起リ之カ監察ヲ嚴ニスルヲ必要ナルニ至リシニ由ル然レトモ千八百六十年ニ比スレハ税關官吏ノ數ハ實ニ六千五百十四人ヲ減セリ故ニ該改正ハ六千乃至七千人ノ被役者ヲシテ農業若クハ工業等有益ナル事業ニ從事セシムルニ至リシ者ニシテ經濟上貿易上ノ改正ヲ兼ル者ト云フヘシ若レ尙ホ一層關稅ノ法ヲ簡單ニシ微々タル小稅ヲ廢シ年ヲ經テ遂ニ製造品ノ稅ヲ廢スルニ至ラハ尙ホ三千乃至四千ノ官吏ヲ減スルヲ得ヘシ然ル時ハ千八百六十年以前ニ於テハ毫モ生産ニ從事セサリシ所ノ一萬ノ壯士ヲシテ生産ニ從事セシムルニ至ル者ナリ豈ニ國家ノ大利ナラスヤ凡ソ關稅ノ情況ヲ詳カニセント欲セハ必ス商賈及邊境ノ民ヲシテ如何ナル規則ニ復セシムルヤ殊ニ稅法繞密ニシテ夥多ノ物品ニ稅スル

時ハヲ研究セサルヘカラス元來租稅ハ其種類ノ如何ヲ問ハス多少人民ノ自由ヲ牽制スル所ノ者ナリ直稅ト雖モ若レ不平均ナカラシメント欲セハ尙ホ此患ヲ免レサル者トス然ト雖モ租稅ノ種類ニ由リ查察煩苛專制ノ度ニ輕重大小アリ

關稅徵收ノ法ハ諸國皆頗ル嚴刻ナル者ニシテ千八百六十年以前ニアリテハ佛國ヲ以テ最トナス爾後稅率漸ク減シ稅法漸ク簡ナルニ從テ徵收ノ法漸ク寬ナリ然レトモ稅關アレハ法規ナカルヘカラス關稅ノ法ハ常ニ煩キヲ免レサル者ニシテ從テ物品ノ輸出入ヲ抑制シ又邊境區畫内ノ人民ノ自由ヲ抑制スルハ止ヲ得サル者ニシテ其有スル所ノ權利ハ遙ニ内地ノ人民ニ及ハサル所アリ

一國ノ周圍ヲ環繞スルハ一市街ヲ圍ムカ如キ者ニアラサルナリ若シ天險ノ境界ヲ限ルナケレハ官吏ヲ派出シテ之ヲ監視セシムルモ竊カ

ニ其界線ヲ超ユルヲ豈ニ難シトセンヤ之ヲ以テ佛國ニ於テハ稅關ノ徵稅ヲ免ル者ナカラシムルカ爲メニ邊境ニ添フ所ノ地方ニ區畫ヲ置キ區内人民ノ舉動ヲ抑制シ甚キハ其自由ヲ妨ルヲ少ナカラス其區畫陸地方ニ於テハ國境線ヨリ内部ニ向テ二十「キロメートル」ニ至ル迄トナシ或ハ地勢ニ依リ二十五「キロメートル」ニ至ル迄トナス海岸及江河堀割ノ海ニ通シテ内部ノ港ニ達スル者ハ岸ニ沿フテ十「キロメートル」以内ヲ邊境區畫トナス故ニ陸地方ノ邊境區畫ハ遙ニ大ニシテ住民ヲ束縛牽制スル所ノ規則モ亦陸地方ニ於テハ遙ニ嚴ナリ然ラハ則チ島嶼ニ於テハ關稅ノ法大陸國ノ如ク煩ハシカラサルヲ知ルヘシ

陸地ノ邊境ニ於テハ稅關ヲ二處ニ置ク一ハ國境ニ接シテ之ヲ設ケ一ハ退テ邊境區畫ノ界ニ置ク之ニ反シテ海邊境ニ於テハ只一重ノ稅關アルノミ是等ノ稅關ハ皆稅率ヲ賦シ徵收規則ヲ行フ所トナス加之ス

内部ノ大都府ニ於テ往々税關ノ局ヲ置キ税關ノ封印ヲ受テ外國ヨリ直チニ商品ヲ該局ヘ送ルコトヲ得セシム

邊境區畫内殊ニ陸邊境區畫内ノ人民ハ常ニ政府ノ疑フ所トナリ法律上是等ノ人民ハ密賣買者若クハ密賣買ニ誘引セラルヘキ者ト見做シテ處置スル者トス故ニ如何ナル場合ニ於テモ證書ヲ携帯セサル所ノ物品ハ兩税關ノ間ヲ經過スルヲ得ス之ヲ犯ス者ハ物品ヲ取押ヘテ官ニ没入シ而シテ罰金ヲ附加ス其證書トハ已ニ租税ヲ仕拂ヒタル場合ニ於テハ其請取証ヲ以テシ税關ノ倉庫入り若クハ單ニ經過ノ場合ノ如キハ免許ノ証狀ヲ以テシ若クハ無税品ナレハ通行免狀ヲ以テス若シ物品ノ出處届先キ品位置目多寡運搬時限ヲ示ス所ノ證書ヲ携帯セサル商品ハ一切密賣品ヲ以テ之ヲ處ス該地方ニ於テ右ノ證書ヲ要セサル者ハ只食品及指定シタル農間ノ生産物(魚類、麵麥、葡萄酒、林檎酒、麥

酒、獸肉、家禽、獲物、牛酪、野菜ヲ以テ市府ノ市日若クハ市場ニ輸送スル者及邊境地方ニ於テ自家用ノ爲メ織物及他ノ消費物ヲ購求シテ白晝ニ我家ニ送達スル者ニ限ル但シ自家用ノ分ハ制限アリテ毛織物ハ五メートル絹木綿其他ノ織物ハ八メートル砂糖咖啡ノ如キハ三キログラム以上ヲ過ルヲ得ス其規則ノ無益ニシテ有害ナルハ辨ヲ待タサルヘシ海岸ノ邊境區畫ニ於テハ其規則遙ニ寬ニシテ晝間ハ官府ノ證書ナキモ一切ノ商品ヲ搬運スルコトヲ得夜中ハ織物、木綿糸、鹽魚、烟草、植民地ノ產品ヲ搬運スルヲ禁ス之ヲ犯ス者ハ物品ヲ官ニ没シ五百フランクノ罰金ヲ附加ス

陸邊境區畫ニ於テハ人民ノ自由ヲ束縛スルコト此ニ止マラス其市邑ニ於テ人口二千ニ足ラサル者ハ輸出税ヲ課スルカ若クハ輸出ヲ禁スルカ又ハ百キログラムニ付二十七フランク以上ノ輸入税ヲ課スル所ノ製

造品若クハ一切ノ商品ヲ藏スヘキ倉庫ヲ築クヲ許サス是等ノ規則ヲ
 犯ス者ハ物品ヲ官ニ没シ百フランクノ罰金ヲ附加ス又右ノ如キ市邑
 ニ於テハ商人ハ其店ニ備ル所ノ商品ヲ以テ税關ノ帳簿ニ記載ス都テ
 陸邊境ニ於テハ器械所製造所ヲ府外ニ起サント欲セハ特別ノ許可ヲ
 得テルヘカラス而シテ政府ニ於テ右ノ製造所カ密買買ノ便ヲナシタ
 ル証跡ヲ發見スル時他處ヘ移轉ヲ命スルコトヲ得ル者トス又國境ヨリ
 二キロメートル半以内ニアル所ノ水車風車ハ其密買買ヲ助クトノ報
 告アル時ハ單ニ其報告ニ基キテ之ヲ閉業セシムルヲ得ル者トス而シ
 テ税關線ヲ經過スルヲ得ヘキハ特ニ晝間ニ於テ官道ヨリシ税關ニ申
 告シタル者ノミ

海岸ノ邊境區畫ニ於テハ右ニ述ルカ如キ規則ナシト雖モ海岸ヲ去ル
 コト四リトク以内ハ税關ノ所轄内ニシテ此處ニ碇泊スル所ノ船舶ハ特

別ノ規則ニ從フコトヲ要スルモノトス
 邊境地方ノ人民ノ自由ヲ束縛スルコト大率斯ノ如シ今ヨリ有税品無税
 品ノ別ナク輸出入品ノ履行スヘキ規式ヲ示サン其規式タル甚ダ縝密
 ニシテ一般ノ輸出入ニ行フヘキ者アリ物品ニ應シテ特別ノ規則アリ
 又陸路ノ輸出海路ノ輸出ニ由テ規則ヲ異ニスルモノアリ其一般普通
 ノ規則ハ左ノ如シ

海陸ヲ問ハス一切輸出輸入スル所ノ商品ハ其有税無税ノ別ナク皆必
 ス商品ノ品位輕重大小多寡出處等ヲ以テ税關ノ第一課ニ申告ス此ニ
 於テ税關ハ漁車長若クハ船長立會ノ上其荷物ヲ検査シ若シ有税品ナ
 レハ税ヲ收ム若シ検査ノ上物品ノ量目等其申告ニ超ユルコト金屬ハ二
 十分ノ一其他ノ商品ハ十分ノ一ニ至ル時ハ其超過シタル分ニ一倍ノ
 税ヲ課ス包數若クハ箱數ノ超過シタル者ハ悉ク官ニ没シ申告者ニ百

「フランク」ノ罰金ヲ課ス若シ其出處種類品位若クハ價格ニ付税關カ申
 告者ノ申告ニ異見ヲ抱ク時ハ出處種類品位ニ付鑒定ヲナサシムルカ
 爲メ商務省ニ於テ鑒定人三名ヲ撰ヒ諮詢ノ爲メ商人若クハ製造家二
 名ヲ以テ之レカ副トス若シ其申告ノ詐ナルヲ証定スル時ハ其物品ヲ
 官ニ没シ罰金ヲ附加ス然レトモ審査ノ上申告シタル價格ノ當然ナル
 時ハ其物品ヲ税關ニ留メ其申告價ニ加フルニ尙ホ十分一ノ代價ヲ拂
 フ者トス之ヲ稱シテ「プレエムプシオン」ト云フ千八百四十八年以前ハ
 税關官吏ノ利益トナレリト雖モ爾後ハ全ク政府ノ所得トナスニ至レ
 リ

今茲ニ海路輸入ノ規則ヲ枚舉シ噸數輸入ノ制限船長ノ報告陸揚ニ關
 スル諸則ヲ詳記スルハ却テ無用ナルヘシ海關ニ於テハ監督ヲ容易ニ
 スルカ爲メニ或ル有税ノ商品ハ其所轄ノ税關ニ依ラサレハ之ヲ輸入

スルヲ許サス又某品ハ特ニ某港ニ限リテ輸入スルヲ許シ或ル物品
 ハ四十噸積以下ノ小船ヲ以テ之ヲ輸入スルヲ許サハル等ノ制アリ
 佛國近海ノ諸島ハ密賣ノ倉庫タルヘキ者ト見做シ久ク嚴法ヲ以テ之
 ヲ遏シ外國ヨリ來ル所ノ船舶ハ難風等ノ場合ニアラサレハ是等ノ諸
 島ニ投錨スルヲ許サス只佛國船ニシテ直チニ佛國ヨリ來リ佛國ニ歸
 ル者ノミ獨リ該諸島ノ事ヲ辨スルヲ得タリコルシカ島ト雖モ尙ホ此
 制限ヲ免レサリシ者ナリ然ルニ此嫌惡スヘキ有害ナル制度ハオレ
 ロン島及レール島ニ於テ之ヲ行フヲ止メ次テコルシカ島ベルイル島ヌ
 ワルムーチニ島ニ用フルヲ廢セリ

税關制度ノ一他ノ不便ハ諸税關悉ク百般ノ輸出入ヲ管セスレテ總輸
 出入ヲ取扱フ所ノ税關ノ數甚タ少ナキニアリ之カ爲メニ往々迂路ヲ
 經過セサルヘカラス漫ニ時間ヲ費サハルヘカラス其不便少ナカラス

斯ノ如キ有害ナル制限ヲ設ル所以ノ者ハ佛國關稅法ノ繞密ナル租稅
 ヲ賦課シ價格ヲ考定スルニ足ルヘキ多數ノ官吏ヲ用フル能ハサルニ
 由ルクリフ、レスリー氏カ「ゴブテン、クラフ」ノ雜誌ニ於テ論シタル所ヲ
 見ルニ是等ノ束縛アルヲ以テ天利ヲ得タル地方ノ發達ヲ妨ルヲ大ナ
 リト云フ夫レ貿易ノ進歩ヲ計ルハ關稅法ヲ簡易ニスルニ如クハナシ
 是ヲ以テ千八百六十年ノ貿易條約ニ由リ大ニ關稅ノ法ヲ簡ニシ稅率
 官吏ヲ減セシ者少ナカラズ、オツク氏モ亦關稅法中荷造制限ノ細密
 ニ過ルヲ難セリ

右ニ論スル所ノ者ヲ以テ之ヲ見レハ關稅ノ大不便如何ヲ示スニ足ル
 ヘシ英國ノ如キ稅法簡ニシテ稅率輕キ者ト雖モ尙ホ是等ノ不便ヲ免
 レス况ヤ佛國ノ如キ無數ノ輸入品殊ニ製造品ニ租稅ヲ課スルニ於テ
 ヲヤ故ニ是等ノ稅率ヲ輕減シ從量稅ヲ以テ從價稅ニ代ヘ收入ノ微小

ナル商品ノ租稅ヲ廢セハ邊境住民ノ商賈ニ與ルニ從來束縛セシ所ノ
 天賦ノ自由ヲ復スルニ至ラン

然ト雖モ吾人ハ早晚カ關稅ノ全廢セラルヲ望ムヘキカ此事タル決シ
 テ見ルヲ得ヘカラサルニアラサルヘキモ其期尙ホ未タ遠シ抑モ關稅
 ヲ廢セント欲セハ内地ノ間稅ヲ廢スルニアラサレハ能ハサルナリ如
 何トナレハ若シ外國輸入ノ烟草、ブランデー、葡萄酒ニ租稅ヲ課セサレ
 ハ内地產ノ葡萄酒、ブランデー、烟草ニ租稅ヲ課スルヲ得サレハナリ若
 シ外國品ニ課セシテ獨リ内國ノ同物品ニ課セハ是レ自ラ損シテ他
 國ノ生産ヲ助ル者ト云フヘシ是故ニ佛國ノ歲計上内國ニ於テ是等ノ
 租稅ヲ廢スルヲ能ハサル時ハ外國ヨリ來ル所ノ同物品ニ關稅ヲ課セ
 サルヘカラス然ラサレハ天下萬國若クハ大陸ノ諸國皆内地ノ消費稅
 ヲ同フシ稅率ヲ一ニシテ關稅連合ノ一種ヲ起シ各國ノ間自由ニ商品

ヲ出入スルヲ得ルニアツサレハ不可ナリ然ニ諸國各政治上ノ便宜アリ國庫ノ緩急アリ風俗ノ別アリ人情ノ異アリ關稅連合ノ樂決シテ容易ニアラサルナリ若シレオンフオーシエ氏カ希望セシ如ク羅匈種族ノ諸國ヲ連合シテ同盟ヲナサシムルカ如キハ或ハ望ムヘント雖モ是レ尙ホ諸國ノ好マサル所ナリ萬一佛國白耳義荷蘭瑞士以太利ノ諸國相連合スルヲ得ハ一大進歩ナルヘント雖モ佛國以太利ノ二國ハ他ノ三國ニ比スレハ國用ノ多キヲ以テ數十年ノ中ニハ内地ニ於テ消費稅ヲ增加セサルヘカヲサルニ至ルヤ疑ヲ容レサルナリ然ル時ハ又關稅ヲシテ之レト權衡ヲ得セシメサルヘカヲサルニ至ラン

或ハ云々内地間稅ノ性質稅率ニ差違アルモ隣國ノ間關稅ヲ廢スルニ妨ケナカルヘント日耳曼帝國ノ諸州ニ於テ酒稅ノ同シカラサルヲ以テ之ヲ証セン然ト雖モ余輩ヲ以テ之ヲ見レハ内地間稅ノ制大

ニ相異ナル所ノ諸國ニ於テ互ニ關稅ヲ廢スルハ殆ト能クスル所ニアルサルヘント云々

若シ内國ニ於テ農工ノ負擔スル所ノ租稅隣國ニ於ルヨリ重キヲ明カナル時ハ其負擔ヲ償補スルカ爲メニ外國品ニ輸入稅ヲ課スルハ當然ナリヤトハ近年ノ一問題ニシテ論究セサルヘカヲサル者ナリ世人多クハ此場合ニ於テ償補稅ヲ課スルヲ以テ當然ナリトナスト雖モ未タ研究ヲ悉セリト云フヘカヲス請フ今ヨリ之ヲ論セン

内國ノ農產品若クハ製造品ニ特別ノ稅ヲ課シ例ヘハ羊毛一「キログラム」ニ付一「フランク」若クハ五十「サンチム」葡萄酒一「エクトリトル」ニ付二「フランク」若クハ三「フランク」ヲ課セハ外國產ノ羊毛及葡萄酒ニハ均ク同一ノ輸入稅ヲ課スヘキヤ明カナリ然ラサレハ内國ノ生産ヲ抑制シ間接ニ外國ノ生産ニ特別ノ保護ヲ與ルニ至ルヘシ又直接ニ内國ノ

生産物ニ稅セサルモ其産物ヲ生スル所ノ土地ニ課スルニ特別ニ重キ租稅ヲ以テレ而レテ其租稅ハ地主ニ課スルノ目的ニアラスシテ是レカ生産物ノ價ヲ騰貴シテ消費者ヲシテ之ヲ負擔セシムヘキ目的ナル時ハ亦同シ例ヘハ今葡萄酒ノ稅ヲ廢シ之ニ代ルニ地租ヲ以テシ葡萄ヲ耕植スル所ノ土地ニ課スルニ「エクメール」毎ニ五十「フランク」百「フランク」若クハ百五十「フランク」ノ稅ヲ以テシ通常ノ地租ニ編入シテ之ヲ徵收セハ輸入スル所ノ葡萄酒ニ於テ之ヲ償補スヘキ租稅ヲ課セサレハ立法官ノ目的ヲ達スルヲ能ハサルヤ明カナリ如何トナレハ外國ノ葡萄酒ハ葡萄酒ニ内國ノ如キ重稅ヲ拂ハサルヲ以テ内國ノ地主ハ之ト競争スルカ爲メニ葡萄酒ノ價ヲ増加スルヲ得サレハナリ故ニ内國ノ葡萄酒主ハ非常ノ重稅ヲ一身ニ負擔シ終ニ自ラ斃ルニ至ラン又製造品ニ特別ノ稅ヲ課シ若クハ製造ニ用フル粗生品及製造器械ニ

特別ノ稅ヲ課スル場合ト雖モ同一ノ理ナリ然レトモ其特別稅ハ非常ニ重キニアラサレハ償補稅ヲ以テ輸入品ニ課スヘカラス右ノ如キ場合ニ於テハ償補稅ヲ以テ特別稅ヲ償フハ可ナリト雖モ財產營業運搬通信ニ課スル所ノ一般ノ租稅ニ至テハ大ニ此ニ異ナリ財產ニ課スル所ノ租稅ノ如キハ外國産品ニ償補稅ヲ課スヘキ者ニアラス例ヘハ地租ノ如キ一般ノ租稅ハ其所有主ノ歳入ニ課スルノ意ニシテ消費者ヲシテ負擔セシムルノ目的ニアラス然ルニ若シ輸入ノ農産品ニ消費稅ヲ課スル時ハ地租ヲ以テ消費者ニ負擔セシムルニ至ルヘシ抑モ一般ノ租稅ニシテ甲國ニ於テハ重ク乙國ニ於テハ割合ニ輕キハ甲國政府ノ措置其當ヲ得サルカ若クハ鐵道馬車道掘割ノ如キ公益事業ノ費途多キカ二者ノ一ニアルヘシ其理由ハ孰レニアルモ財產ノ所有主ハ一切其直稅ヲ負擔セサルヘカラサル者ナリ

營業稅ノ如キ直接ニ營業ニ課スル所ノ租稅ニ至テハ之ヲ設置スル所ノ立法官ハ營業者ヲシテ負擔セシムルノ目的ニシテ消費者ニ課スルノ意ニアラサルヤ明カナリ其實際ニ於テ之ヲ負擔スル者ハ勿論一定セス商業ノ景況ニ由テ之ヲ異ニスヘシ然ルニ是等ノ直稅ハ常ニ非常ニ重キ者ニアラスシテ生産品一箇ノ價格ニ比スレハ實ニ微々タル者ナルヲ以テ外國品ニ償補稅ヲ課スルニ足ラス

其他運搬通信及内國ノ証券ニ課スル所ノ諸稅モ亦然リ是等ノ租稅ハ其主義ニ於テハ甚々不可ナリト雖モ之カ爲メニ外國產品ニ償補稅ヲ課スヘキノ理ナシ總テ此諸稅ハ妨害多シト雖モ生産品ノ價格ニ比スレハ營業稅ト均ク九牛ノ一毛タリ而シテ外國品ト雖モ全ク此諸稅ヲ免ルニアラス例ヘハ外國品ノ一度我國境ニ入ルヤ國內ヲ運搬スルヲ以テ運搬稅ヲ負擔セサルヘカラス又通信稅證券稅ト雖モ全ク免ルヲ

得ル者ニアラサルナリ

凡ソ關稅ハ償補稅若クハ他ノ租稅ノ別ナク實ニ止メ得サルニアラサレハ決シテ徵課スヘキ者ニアラス如何トナレハ關稅ハ貿易事務ヲ繞密ニシ物價ヲ増加シ取引ヲ遲滯セシメ而シテ高等ナル工業ノ發達ヲ妨ルコト大ナレハナリ

試ニ内國ノ製糸家織物家カ負擔スル所ノ營業稅通信稅商業手形ノ稅ヲ償補セント欲シテ外國產織物ニ輸入稅ヲ設置シ若クハ其稅ヲ増加セハ製糸家織物家ハ蓋シ利セラルヘシト雖モ外國ノ織物ヲ以テ之ニ手工ヲ施シ輸出スル所ノ製服匠ノ營業ヲ妨クヘシ若シ鑄鐵ノ如キ之ヲ以テ種々ノ製造ニ用フル所ノ粗生品ヲ例証トセハ其不便ヲ示スコト益明カナラン

加之ス是等ノ償補稅ヲシテ正平ナラシメント欲セハ之ヲ百般ノ物品

ニ課セサルヘカラス然ラサレハ甲ノ業ヲ助ケテ乙ノ業ヲ苦ムルニ至ルヘシ然ルニ若シ一切ノ輸出品ニ償補稅ヲ課スル時ハ關稅ノ法非常ニ縝密ナラサルヲ得ス而シテ之カ爲メニ利セラル、者ハ營業ノ性質ニ由テ異同アリ決シテ豫期ノ如ク平等ノ利ヲ受ル、能ハサルヘシ則チ其生産物ノ最大部分ヲ輸出スル所ノ營業ノ如キハ外國品ニ償補稅ヲ課スルカ爲メニ毫モ利セラル、コナク而シテ政府カ償補セシムヘシト稱スル所ノ內國稅ハ悉ク之ヲ負擔シテ償ヲ得ル所ナカルヘシ之ニ反シテ重ニ內國需要ノ爲メニ物品ヲ生産スル者ハ償補稅ノ爲メニ其生産品ノ價ヲ騰貴シ商工ノ諸業ニ課スル所ノ內地一般ノ租稅ヲ償補スルヲ得ヘシ

右ニ論スル所ノ者ヲ約言スレハ關稅ノ法ヲ簡易ニシ力メテ放任ヲ主トシ一切商品ノ輸入ヲ自由ニシ殊ニ粗生品及製造品ニシテ次段ノ製

造ニ用フヘキ者ノ租稅ヲ廢スルハ一大利ナリ償補稅ノ法ハ外國品ヲ用ヒテ他ノ物品ヲ製産スル者ヲ妨グル者ナリ又毫モ輸出品ヲ製産スル者ヲ助クルニ足ラス故ニ平均ヲ謀ル者ト云フヘカラス由是觀之ハ内地ニ於テ或ル農産品若クハ或ル工産品ニ特別ノ重稅ヲ課スルニアラサルヨリハ償補稅ヲ課スヘカラス財產營業運搬通信證券ニ課スル所ノ一般ノ租稅ノ如キハ決シテ輸出品ニ稅シテ償補ヲ求ムヘカラスト云フニアリ

凡ソ外國産品ハ遠ク山河ヲ跋渉シテ來リ內國ノ産品ハ然ラス故ニ內國品ハ內國市場ニ於テハ外國品ニ對シテ天然ノ保護ヲ得タル者ト云フヘシ加之ス商品運搬ニ課スル所ノ一切ノ租稅ヲ廢シ通信及証券ニ課スル所ノ租稅ヲ輕減スルハ大ニ余輩ノ希望スル所ナリト雖モ假令是等ノ租稅ハ重キモ內國ノ民自ラ之ヲ負擔セサルヘカラス然ラスシ

テ此徵稅アルカ爲メニ償補稅ヲ以テ外國品ニ課スルヲアラハ是レ毒
 ヲ以テ毒ニ加フル者ト云フヘキナリ
 千八百六十年ノ貿易條約ハ佛國ノ經濟上ニ最良ノ結果ヲ表ハン千八
 百五十九年ニ於テハ外國取引ノ高三十九億七百萬フランタアリシモ
 千八百七十五年ニ於テハ七十四億八百萬フランクニ達セリ右ノ貿易
 改正以後ハ佛國生産品輸出ノ路大ニ開ケ從前ハ外國産ノ器械若クハ
 粗生品ニ稅アルカ爲メニ抑制セラレタル諸營業ハ大ニ發達スルヲ得
 タリ尤モ是等ノ結果ヲ生シタルハ一ニ關稅輕減ノ功ト云フヘカラス
 此時ニ當リ通信ノ新法起リ鐵路盛ニ開ケタルヲ以テ此結果ヲ補ヒタ
 ルヤ疑ヲ容レサル所ナリ然ト雖モ千八百六十年ノ改正ナカリセハ佛
 國生産力ノ發達ハ未タ必スシモ今日ノ如ク速カナルヲ得サルヘシ
 佛普戰爭ノ終ルヤ佛國關稅ノ法ヲ以テ千八百六十年以前ニ行ハレタ

ル如キ保護稅法トナサンヲ謀ル者アリレト雖モ行ハレサルヲ得タ
 リ然ルニ方今千八百七十九年又或ハ保護ノ說ヲ唱ヘ佛國ノ新關稅法
 ヲシテ千八百六十年ノ改正法ノ如クナラシメヌ一層保護ノ性質ヲ負
 ハシメンコトヲ謀ル者アリ豈ニ惡ムヘキ者ニアラスヤラウールヂユヅ
 ハル氏カ商業上等會議ノ織物委員ノ名ヲ以テセシ報告ニ據レハ英佛
 兩國ニ於ル木綿織物製造費ノ差ハ百分ノ三ニ過キサル者ニシテ此差
 ハ通例荷造リ費運送費等ヲ以テ相償フヘシト云ヘリ若シ方今歐洲諸
 國ニ於テ其勢力ヲ得ント欲スル傾向アル所ノ保護論ヲシテ行ハルヲ
 得セシメハ實ニ經濟上ノ一動亂ヲ生シ世界萬國ノ生産ヲ害スルコト甚
 キニ至ラン
 抑モ一偏ノ利ヲ計レハ一般ノ利ヲ害スル例証ハ千萬數フルニ暇アラ
 スト雖モ一例以テ之ヲ示スニ足ラン貿易條約改正ノ後一般需要ノ盛

ナル縫機ニ課スルニ百キログラムニ付六フランクノ輸入税ヲ以テセ
リ然ルニザニラニ於テ毎年一千箇ノ縫機ヲ製出スル所ノ製造アリ右
ノ税ヲ四倍シテ二十四フランクトナサンコトヲ請求セリ商業上等會議
ノ諸製造委員ハガストン、パシール氏ノ説ニ據リ其請求ノ實ニ未嘗有
ノ事ナルヲ稱セリ右ノ製造家ハ毎年一千箇ノ縫機ヲ製出シ而シテ佛
國ハ毎年外國ヨリ十萬箇ノ縫機ヲ輸入セシヲ以テ一個ノ製造家ニ一
萬フランクノ利ヲ得セシメントセハ其消費者ヲシテ百萬フランクヲ
拂ハシムヘキノ理ナリ殊ニ該機ヲ使用スル者ハ通例貧民ナルヲヤ然
ルニ該委員ハ其甚キ不公平アルニ拘ラス其請求ヲ認可シ縫機ノ輸入
税増加ノ案ヲ提出セリ右ノ例ニ由テ之ヲ見レハ都テ是等ノ租税ノ效
驗ヲ知ルヲ得ン加ルニ該委員ハ嘗テベンヂヤマレ、コンスタン氏ノ所
謂ル物價ヲ騰貴スルニ熱心ナル者ニシテ鍊瓦沃鎮、プロム等ノ如キ從

來輸入税ヲ課セサル所ノ者ニ輸入税ヲ設置センコトヲ請求セシ者甚多
余輩ハ佛國ニ於テハ斯ノ如キ拙劣ナル税法ヲ行ハサランコトヲ希望ス
ル者ナリ近年亞米利加合衆國及佛蘭西ノ二國ハ實地ノ經驗ニ由テ保
護税法ト自由主義トノ効能如何ヲ明示セリ兩國共ニ無雙ノ大亂ニ會
シテ非常ノ損害ヲ被リ合衆國ハ大ニ關稅ヲ増加シテ財源ヲ求メント
欲シ佛國ハ割合ニ自由主義ヲ維持シ而シテ合衆國ハ大ニ理財ノ法ヲ
亂レ敷ニ非常ノ困難ヲ生シ佛國ハ其工業商業ノ強固ナルヲ示メシテ
歐洲全土ヲ驚カセリ
一切無用ノ障礙ヲ除キ從價稅輸出税ヲ廢シ悉ク粗生品ノ性質ヲ有ス
ル所ノ物品(石炭、生皮、材木、染料、油、五穀等)ニ課スル所ノ租税ヲ止メ漸次
眞鍮、鉄、機械、糸ノ税ヲ輕減シ數年ノ後遂ニ之ヲ廢スルハ國家ノ營業ヲ

發達スル所ノ最良手段ト云フヘシ紡績製鉄ノ如キ營業ハ往々名士ヲ
 以テ首領トナスガ故ニ其意見ヲ政府議院ニ貫クヲ得テ政府議院等ハ
 其言フ所ヲ以テ佛國商業上一般ノ事ト信セリ然ルニ是等ノ營業ニ幸
 ヲ與アルカ爲メニ却テ苦ム所ノ營業甚多シ不幸ニシテ是等ノ營業ハ
 諸方ニ散在シ其首領ニハ敢テ著名ノ士ナク其志望ヲ達スルニ良機關
 ナク其苦情ヲ世ニ知ラセムルヲ得ス元來佛國人民ハ手工ニ巧ミニシ
 テ高等ノ嗜好ヲ有シ奇巧ノ意匠アリ天性機巧ト優美トヲ要スル所ノ
 工業ヲナスニ適レタルハ諸外國人民ノ遠ク及ハサル所ナリ不幸ニシ
 テ近年ニ至ル迄ハ保護制度ヲ以テ佛國人民ヲシテ恣ニ外國ニ粗生品
 若クハ工事ノ器具ヲ得セシメメ今日ト雖モ尙ホ未タ全ク之ヲ自由ニ
 出サルナリ

此篇ヲ終ルニ當テ尙ホ一言セン佛國ノ關稅ハ遂ニ巨額ノ收入ヲ致ス

ヘキモノニアラス佛國ニ於テ輸入稅ヲ課スルモ紡ケサルモノハ咖啡
 砂糖椰子等ノ如キ一般ノ消費品五六品ニ過クヘカラス製造品ノ輸入
 稅ハ四分乃至五分ヲ過クヘカラス而シテ製造品中全ク租稅ヲ除スヘ
 キ者甚多シ償補稅ノ如キハ猥リニ之ヲ課スヘキモノニアラス凡ソ關
 稅ノ題目ヲ論スルニ當テハ政府ノ收入ノ事ハ先ツ第二位ニ置カサル
 ヘカラス假令僅々タル租稅ト雖モ全國ノ爲メ大ニ不利ナルコトアルヲ
 以テナリ關稅ノ良法ヲ得ント欲セハ必スヤ智識ニ富ミ公明正大一點
 ノ私心ナキ立法官ヲ要スヘキナリ

第拾四篇

内地消費税

余輩ハ已ニ消費税ノ大要ヲ説キ其功能ト不便トヲ并舉シ以テ直税ノ功能ト不便トニ比較セリ(本書第四篇ヲ見ルヘシ)抑モ消費税ハ財政上ニ於テハ勿論世俗ノ語ニ於テモ往々之ヲ稱シテ問税ト云フ此稱呼タルヤ頗ル其宜キヲ得タルモノト云フヘキナリ
已ニ余輩カ論シタル如ク問税ハ立法官カ之ヲ負擔セシメント欲スル所ノ者ニ賦課スルニアラス而シテ政府ニ之ヲ仕拂フ者ハ實際ニ之ヲ負擔セサルモノナリ今之ヲ大別シテ二種トナス

第一 事柄ノ起ル時ニ當リテ課スルモノ即チ印紙税記録税ノ如キ是ナリ

第二 消費ニ供セラルベキ或ル生産物ニ課スルモノ

如此其性質ニ於テモ實際負擔ノ事ニ於テモ相異ナル所ノ租税ニ冠スル單一ノ惣稱ヲ以テレ之ヲ混視スルハ大不幸ト云ハサルヲ得ス例ヘハ記録税ノ如キ假令財産ノ全額ニ比例セサルモ其租税ヲ課セラル、所ノ財産ニハ往々比例スル所ノモノナレハナリ

不幸ニシテ財政上間税ト云フ語ハ正當ヲ欠キ佛國ニ於テハ二様ノ意義ヲ有シ一ハ廣ク一ハ狭シ其第一ノ意義ニ於テ之ヲ稱スル時ハ名簿ニ依リテ賦課セサル所ノ一切ノ租税ヲ云フモノニシテ遺傳税ノ如キ眞ノ直税ヲモ包含ス其第二ノ狹隘ナル意義ニ於テハ關税ノ外内地ノ消費ニ課スル所ノ一切ノ租税記録税印紙税及郵便税ヲ稱スルモノニシテ白耳義ノアグシース英國ノ「エキサイス」以太利ノ「ダロー」ニ當ルモノトス

余輩ハ已ニ他ノ篇ニ於テ消費税一般ノ性質ヲ論究セシヲ以テ今再ヒ

此ニ之ヲ喋々スルハ却テ贅言ニ似タリ(本書第四篇ヲ見ルベシ)消費税ハ直税ニ比スレハ被税者ノ歳入ニ比例スルヲ少シ是レ該税ノ最モ不便ナル所ニシテ大ニ厭フヘキノ點ナリ然ルニ方今諸大國ノ如ク巨額ノ國債ヲ有シ巨大ノ軍備ヲナシ巨萬ノ軍隊ヲ有スル者ニアリテハ實ニ欠クヘカラサル所ノ租税トス直税ハ被税者殊ニ細民ニ課スルノ難キヲ以テ專ラ直税ヲ以テスル時ハ第十九世紀末ノ巨大ナル經費ヲ辦理スルニ足ラス其不足ヲ補フヲ得ルモノハ則チ此消費税ニアリ加フルニ該税ハ一大利便ノ以テ固有ノ不便ヲ消殺スルモノアリ則チ税率ヲ動かサヌ又或ハ税率ヲ減スルモ其收入ニ至テハ國富ノ増加ニ從テ共ニ増加シテ止マサルト是ナリ

消費税カ被税者ノ歳入若クハ資力ニ比例セサルノ患アルハ爭フヘカラサルモノナリト雖モ其之ヲ稱シテ人頭税ナリト云フ者アルニ至テ

ハ過大ノ言ト云フベレ勿論消費税ノ或ルモノハ人頭税ノ實アリト雖モ其收入ニ至テハ甚タ僅少ナル者カ否ラサレハ其種類ハ甚タ少ナキ者トス例ヘハ鹽稅麥粉稅ノ如キ是ナリ其他砂糖稅咖啡稅一般ノ殖民地產品ニ課スル所ノ消費稅ノ如キハ被稅者ノ資力ニ比例スルヲハ決シテ精密ナラスト雖モ貧富ノ別ナク同額ヲ負擔セシムル者ニアラス凡ソ事ヲ重シシ確實ヲ旨トスル者ハ是等ノ事ニ於テ過大ノ言ニ誤ラレサルヲカムヘレ或ハ言フ佛國ノ歲計ハ二十六億七千二百萬フランク(千八百七十七年ノ豫算)ニシテ直稅ノ收入即チ國民ノ財力ニ比例スル所ノ者ハ僅ニ四億五千萬フランクニ過キス餘ノ二十二億二千二百萬フランクハ間稅即チ人頭稅ナリト然ルニ此計算法タル甚タ輕卒ニシテ偏依ノ說タルヲ免レス第一右ノ二十二億二千二百萬フランク中ニハ森林及官有地ノ收入アリ文官恩給ノ資金アリ是等ハ無論間稅ニ

アラサルヲ以テ扣除セサルヘカラス加之ナラス間稅ハ廣キ意義ニテ云フ時ハ嚴ニ資力ニ比例スル所ノモノアリ又拂フ所ノ租稅ニ對シテ特別ノ利益ヲ受ルモノアリ即チ遺傳稅及記錄稅ノ大半是ナリ又間稅中ニハ運輸稅郵便稅ノ如キ多少資力ノ大小ニ關係ヲ有スルモノ(物品ノ遞送音信ノ往復ハ通例歲入ノ増加ニ伴フテ増加スルモノナレハナリ)ヲ包含シ且ツ蠟稅紙稅砂糖稅咖啡稅椰子稅ノ如キ重ニ富民ノ消費ニ課シ多少驕奢ノ度ニ比例スル所ノモノアリ烟草稅酒精稅ノ如キ人生ノ必需品ニアラス寧ロ有害物ニ課スル所ノモノニシテ之ヲ拂フト否トハ只各々撰フ所ニアルモノアリ然ラハ則チ人頭稅トモ稱スルヲ得ヘキハ鹽稅麥粉稅又ハ葡萄酒檳酒麥酒等常用飲料ニ課スル所ノ租稅ノ如キ僅々數稅ニ過キサルナリ

消費品及或ル製造品ニ課スル内地稅ハ古代ヨリ存スル所ノ者ニシテ

今日モ尙ホ多少各國共ニ之ヲ行ハサルモノナシ諸國ノ間只其異ナルモノハ被稅品種ノ多少ト稅率ノ輕重トニアリ獨リ佛國ノ革命政府ハ斷然消費稅ヲ廢センコトヲ欲シ一切ノ鹽稅物品稅ヲ廢シ僅ニ直稅關稅及記錄稅ヲ存セリ若シ革命政府ニシテ平治秩序ヲ保ツコトヲ得ハ此過激ナル改正モ其目的ヲ達スルコトヲ得シナルヘシト雖モ不幸ニシテ騷亂相續キ理事官政府ニ至ラスシテ已ニ間稅ノ或ル者ヲ復シ理事官政府ニ至テ其他ノ間稅ヲ舊ニ復セリ

如何ナル主義如何ナル思想ニ由テ立法官ヲシテ間稅ヲ設置セシメタルカ如何ナル事情ニ由テ他ノ租稅ヲ撰ハスシテ物品稅ヲ取ラシメタルカ請フ之ヲ論究セン

抑モ消費稅ハ惣テ内國ノ生産品若クハ惣テノ生産品ニ課スルヲ得ヘク又僅々タル經費ニテ容易ニ巨額ノ收入ヲ得ヘキヲ以テ特ニ數種ノ

物品ヲ撰テ之ニ課スルヲ得ヘシ其之ヲ徵收スルハ或ハ物品ノ生産所ニ於テスヘク或ハ賣買ノ時ニ於テスヘク或ハ市府若クハ一地方ニ入ル時ニ於テスルヲ得ヘシ而シテ之ヲ徵收スルニハ被稅品ノ生産製造ヲシテ人民ニ委スルモ可ナリ又ハ政府ニ於テ被稅品ノ製造若クハ賣買ノ權ヲ專有シ政府自ラ之ヲ製造若クハ賣買スルカ否ヲサレハ特ニ人ヲ定メテ其製造若クハ賣買ヲナサシムルヲ得ヘキナリ

國內ニ於テ生産スル所ノ一切ノ物品ニ租稅ヲ課スルハ往時ニ於テ數々試ムル所ニシテ近年亞米利加合衆國ニ於テハ農產品ヲ除キ一切内地ノ製造品ニ課スルニ租稅ヲ以テセリ

政府カ國內一切ノ生産品若クハ生産品ノ一大部分ナル製造品ト稱スヘキ所ノ物品ニ稅シ惣テ物品ノ價格ニ對シ比例稅ヲ課スルハ只政府ノ歲入ヲ得ント欲スルニ止ラス又租稅ノ賦課ヲシテ公平ナラシメン

ト欲スルニアリ如何トナレハ若シ國民ヲシテ其費用ノ多少ニ應シテ租稅ヲ負擔セシムルヲ得ハ多クハ國民ノ實力ニ應シテ租稅ヲ負擔セシムルヲ得レハナリ實ニ諸國ニ於テハ每人若クハ每家ノ費用ト歳入ノ間自ラ一定ノ割合アリテ多數國民ノ費用ト歳入ノ割合ハ此割合ヲ去ルコト遠カラサルモノトス尤モ浪費者アリ一時多額ノ費用ヲ要スルモノアリ一ハ輕浮ニシテ虚飾ヲ好ムニ起リ一ハ止ヲ得サルニ起ル者ナリト雖モ二者皆其歳入ノ割合ニ巨額ヲ費ス者トス又之ニ反シテ吝嗇家若クハ節儉家ニシテ其歳入ノ割合ニ小額ヲ費ス者アリ然ト雖モ一國民ヲ概シテ之ヲ見ル時ハ國民ノ費用ニ課スル所ノ比例稅ハ其歳入ニ比例スルコト甚々遠カラサルヘシ

國內一切ノ生産品ニ租稅ヲ課スルノ法ハ嘗テ歐洲ニ行ハル一ヲアルカガハラト稱シ一ヲボルラト稱スアルカガハラハ一切動カシ得ヘキ

物品及食料品ノ賣買ニ課スルモノニシテボルラハ製造所ニ於テ製造品ニ課スルモノトス此ノ如キ稅法ヲ行フ時ハ漫ニ多數ノ官吏巨額ノ徵收費ヲ要スヘク奸曲盛ニ行ハルヘク營業者ノ困難常ニ絶サルヘク一切生産法ノ變動ヲ妨クヘク其不便タル多言ヲ待スシテ明カナリ彼西班牙ノ製造業ノ衰敗セルヤ其原因一ニシテ足ラスト雖モ此二稅モ亦多少其原因タルヤ敢テ疑ヲ客レサルナリ故ニイサベラ女皇ノ崩スルヤ其繼嗣ニ遺詔スルニアルカガハラヲ廢センコトヲ以テセリ

佛國ニ於テハ千六百四十年初テアルカガハラニ均キ租稅ヲ設置セリト雖モ實施上ニ好結果ヲ見ルヘキモノナシ

米合衆國ニ於テハ南北戰爭ノ時少シク之ヲ小ニシテアルカガハラ及ボラノ法ヲ施セリ佛國ニ於テハ重要ナル製造品織物金物等ニ課稅スルノ名ヲ以テ數々類似ノ租稅ヲ設置スルノ議アリシト雖モ未タ嘗テ

農産品ニ稅セントスルニ至ラス

余輩ハデーヴィット、ウエルス氏ノ「財政史一斑」(エ、キユーリヤス、チヤビトル、イン、ポリチコ、エコノミツク、ヒストリー)ニ就キ米合衆國ニ於テ一切ノ製造品ニ課稅シタル略況ヲ研究セハ第十九世紀ニ於テ「アグシェー」若クハ「エキサイスト」稱スル内地稅ノ盛ニ發達センヲ見レ

米合衆國ニ於テ當時徵課シタル製造品ノ稅ノ重キハ實ニ未タ嘗テ見サル所ナリ南北戰爭ノ起ルヤ其初メハ課稅ノ方法ニ苦ミ軍費ヲ内地稅ニ取ルヲ避ケ國會ハ輸入稅ヲ増課シテ之ヲ辨センヲ謀レリ戰ノ起リテヨリ四ヶ月後國會ハ諸州ニ分課スルニ二千萬弗(一億フランク)ノ直稅ヲ以テシ八百弗四千フランク以上ノ歲入ニ課スルニ三分ノ稅ヲ以テセリ戰ノ第二年「アグシェー」稅ノ或ルモノハ歲入稅印紙稅ヲ合セテ内地稅稅ノ惣收入四千二百萬弗(二億一千萬フランク)ニ達セス然ル

ニ其經費ハ此時ニ當リ一ヶ月六千萬弗(三億フランク)ニ上レリ

此ニ於テカ頭ヲ見レハ打テト云フ有名ナル格言ヲ發スルニ至レリ其意タルヤ物件ノ如何ヲ問ハス苟モ政府ニ歲入ヲ與フルニ足ルモノハ悉ク租稅ヲ課スヘント云フニアリ歲入稅ハ増シテ通例五分トナリ其固有ノ產物ナル生綿ニ課スルニ「ポンド」ニ付三セントヲ以テシ鹽ニ「ハ百ポンド」ニ付六セント「三十」サンチム「烟草」ニハ「一ポンド」ニ付十五セント乃至三十五セント「七十五」サンチム乃至「一フランク」八十五「サンチム」ヲ課シ蒸酒モ亦之ニ課スルニ重稅ヲ以テセリ右ニ歷舉スル所ノ諸稅ノ外毫モ特免ヲ得ルモノナク歐洲人民ト雖モ之ヲ免ルヲ得サリレモノナリ然ルニ尙ホ其最モ奇ニレテ最モ繞密ナル所ノ租稅ハ普通ノ製造營業トモ稱スヘキ各種ノ生産品ニ課レタルモノ是ナリ該稅ハ始メ先ツ各粗生品ニ課レ次テ其粗生品ニ製造ヲ加フル毎ニ之カ

爲メニ増加スヘキ價格ニ比例シテ租稅ヲ増スモノトス
 製造家ハ皆各々毎年免許ヲ得ヘキモノトセリ而シテ生産品ハ若シ生
 産者ニアラスシテ手代若クハ商賈ノ手ニテ之ヲ賣買スル時ハ別ニ賣
 買高千分ノ一ノ稅ヲ課セリ是レ則チ賣買高稅ノ端緒ニシテ佛國ニ於
 テハチーエ氏ノ大統領タリシ時嘗テ議案ヲ呈出スルモノアリテ討議
 ノ未遂ニ廢案ニ歸シタル所ノ者ナリ製造品ニ課スル所ノ租稅ハ僅カ
 數種ノ物品ヲ除キ千八百六十四年ニハ平均五分ト定メ千八百六十五
 年ニハ増シテ六分トセリ是等ノ稅法ヲ以テ政府ハ高尙ナル製造品ニ
 ハ毎年其價格ノ八分乃至一割五分時トシテハ二割ノ重稅ヲ課セリ試
 ニ雨傘若クハ日傘製造家ノ場合ヲ見ルニ先ツ傘ノ柄トナル所ノ木材
 ニ租稅ヲ拂ヒ次テ若シ彫刻又ハ飾リヲ施ス時ハ右ノ木材ニ再ヒ租稅
 ヲ拂ヒ象牙モ亦彫刻若クハ飾リヲ施コス時ハ租稅ヲ拂フ而シテ鯨骨

若クハ鉄骨ニ織物ニ傘ヲ結束スル所ノ護謨ニ其護謨ニ附着スル所ノ
 鈕ニ皆各々稅アリ最後ニ其出來上リタル傘ニ稅アリ書籍雜誌ノ如キ
 モ亦數種ノ租稅ヲ負擔スルコト右ニ異ナラスニニューヨーク府ノ書籍出
 版會社ハ嘗テ一ノ製本シタル書籍ハ二十種ノ租稅ヲ負擔スルコトヲ証
 明セリ其重ナル者ヲ舉レハ紙稅糊粉稅革稅製本ニ用フル染料ノ稅活
 字ノ稅等是ナリ如此各別ニ原品ニ租稅ヲ課シタル後製本成リテ一巻
 ノ書籍トナレハ又更ニ其賣買價格百分ノ五ヲ稅セリ實ニデーヴィツ
 トウエルス氏ノ云ヘル如ク之ヲ約言スレハ政府カ各生産品ノ周圍ニ
 境域ヲ設ケ各品カ其境ヲ越ユル毎ニ租稅ヲ課セント企テタルモノナ
 リ
 米合衆國稅法ノ特異ナルハ此ニ止マラス尙ホ之ヨリ甚キ者アリ則チ器
 械馬車其他ノ物品ヲ修繕シテ爲メニ其價格一割以上ヲ増加スル時ハ

其修繕ニ租稅ヲ課シ加フルニ其増加シタル價格ニ六分ノ租稅ヲ課スルコト是ナリ而シテ是等ノ物品ハ之ヲ磨キ之ヲ塗リ之ヲ漆シ之ヲ洗ヒ之ニ油シ之ニ金ヲ塗リ之ニ鍍金シ之ニ彫刻シ之ニ飾ヲ施ス等ノ事アル毎ニ已ニ多少輸入稅若クハ内地稅ヲ拂ヒタルモノナリ

米合衆國ノ法律ニ於テ勞力者若クハ營業者ヲシテ各々二箇ノ帳簿ヲ備ヘシメタリ其一ハ全ク製造シタル物件ヲ記載シ一ハ修繕ヲ記載スルモノトス此ノ如ク徵收ノ細密ナル賦課ノ困難ナル調査ノ不便ナルカ爲メニ數々爭論ヲ生シ時トシテハ至愚ノ論題ヲ生スルコトアリ其甚キ者ヲ舉ルニ例ヘハ若シ指物師カ車若クハ或ル他ノ物品ニシテ五フラシクノ價格アルモノヲ修繕シ其費五十「サンチム」ナレハ價格ノ増加一割ナルヲ以テ其五十「サンチム」ニ對シテ租稅ヲ拂ハサルヘカラス然ルニ若シ右ノ指物師カ二千五百「フランク」價格ナル馬車ヲ修繕シ

テ其費百五十「フランク」若クハ二百「フランク」ナレハ一モ稅スル所ナキハ如何ン又若レ一人アリ或ル物品ヲ修繕スルニ序ヲ逐テ先ツ鍛冶師ヲシテ其修繕ヲナサシメ次テ塗師ニ命シ次テ粧飾師ニ命シ其修繕費ヲ合計スレハ價格ノ一割ニ達スレトモ之ヲ別テハ各一割ニ達セサル場合ニ於テハ其修繕ハ租稅ヲ課スヘキヤ否ヤヲ論セシモノアリ當時收稅官法律家ハ此ノ如キ細微ノ事ニ關シテ喋々論究セシコト少ナカラスデーヴィットウエルス氏ノ云ヘルカ如ク第十一世紀第十二世紀ノ學者論以來此ノ如キ愚論ノ爲メニ上等入種ノ精神ヲ費シタルコトハ蓋シ之レ有ラサルナリ

然ルニ合衆國ノ人民ハ敢テ此奇怪ナル稅法ヲ意トセス却テ愛國ノ熱心ヨリ奮テ其徵收ニ應セリ合衆國內地ノ歲入ハ千八百六十三年ニハ二億一千萬「フランク」ナリシモ千八百六十四年ニハ五億八千五百萬「フ

ラングトナリ千八百六十五年ニ八十億五千五百萬フラングトナリ千八百六十六年ニハ遂ニ十五億五千萬フラングニ達セリ同年該國ノ總租税ノ收入高ハ實ニ二十七億九千五百萬フラングナリ然ルニ實際ハ其稱呼ノ如ク巨大ノ額ニアラス如何トナレハ右ノ額ハ當時下落シタル紙幣ヲ以テ算シタレハナリ

戰ノ未タ終ラサルニ當テハ愛國ノ情強盛ニシテ奸曲モ亦甚タ少ナク殊ニ製造家ノ如キハ自ラ進テ租税ノ増加ヲ唱ヘ又紙幣ノ發行増加ヲ請ヘリ如何トナレハ租税ノ増加アルモ其増加ハ已ニ租税ヲ納メタル物件ニ及ハサルニ商賈ノ所有スル物品ハ租税ノ増加アル毎ニ賣買價格ヲ加ヘタレハナリ

千八百七十一年ヨリ千八百七十二年ニ至ルコブデン協會ノ雜誌ニ於テデウイット、ウエルス氏ノ論文、エキエーリヤス、チヤピトル、イン、

ゼ、ポリチコ、エコノミカル、ヒストリート題スル者ヲ見ルヘシ就中四百七十九丁四百八十二丁四百九十四丁ヲ見ルヘシ

戰終ルニ至リ居民ノ思想頓ニ著シキ變動ヲ來シ製造品ニ課スル租税ノ不修理ナルハ始メテ工商ノ心ヲ失フニ至レリ此ニ於テカ合衆國政府ハ久シカラスシテ悉ク過重苛斂ノ税ヲ廢シ方今該國ノ内地税ハ頗ル單簡明易トナリ政府ノ經費ハ過重ナル關稅ノ收入并ニ蒸酒稅煙草稅印紙稅銀行及銀行家ノ税ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス是等ノ租税ハ一モ營業ニ課スルモノナク從テ製造品ノ價ヲ増加スヘキモノナシ然ト雖モ合衆國ノ或ル諸州ニ於テハ資本稅ヲ課スルモノアリ已ニ前篇ニ於テ論究セシ如ク資本稅ナルモノハ甚タ繞密ニシテ商業ノ妨碍ヲナスコト少ナカラサルモノトス

合衆國ニ次テ戰時ノ經費ヲ償ハンカ爲メニ大ニ内地税ヲ増シ無數ノ

物件ニ租稅ヲ課シタル者ヲ英國トナス英國内地稅ノ沿革ヲ尋ルニ實ニ源ヲ千六百六十二年ニ發セリ當時不入望ナル王政府ハ該稅ヲ設置セリト雖モ國會ニ於テ之ヲ廢棄セリ故ニ英國ニ於テ眞ニ内地稅(エキサイス)ノ發達セシハ千六百四十三年内亂ノ盛ナル時ニアリ其景況ハ尙ホ合衆國ノ時ニ於ルカ如クニシテ國民ハ共和ニ熱心ナルノ餘進テ此新稅ヲ奉シ亂平クノ後ニ至テ尙ホ之ヲ存セリ

ピット氏ノ宰相タルニ當リ佛國ト鋒ヲ爭フヤ英國政府ハ大ニ内地ノ間稅ヲ濫用シ千八百十五年ノ和成ルニ及ヒ次ヲ逐フテ鹽稅革稅蠟燭稅麥酒稅ヲ廢セリ然レトモ千八百四十三年マクシラツク氏ノ書ヲ著ハスニ方テヤ尙ホ鍊瓦稅硝子稅紙稅石鹼稅(ホツブ)稅競賣稅醋稅ヲ存セリ其他收入ノ巨大ナルモルト稅蒸酒稅砂糖稅及營業免許稅ノ存在セシハ言ヲ待タス是等四稅ノ收入ハ頗ル巨額ニシテ内地稅收入額ノ大

半ハ此四稅ヨリ得ル所ニ係リ千八百四十三年ニ於テ英國内地稅ノ純收入ハ千二百六十三萬四千八百五十(ポンド)ニシテ四稅ノ收入ハ九百四十三萬二千七百七十六(ポンド)ナリ故ニ他ノ諸稅ヲ以テ收入セシハ僅ニ三百二十五(ポンド)即チ八千萬(フランク)ニ過キスト云フヘシ

内地稅ノ砂糖稅ハ其收入甚々微ナリ如何トナレハ砂糖稅ハ重ニ關稅ナルヲ以テナリ由是觀之ハ内地總收入額ノ凡ソ四分ノ三ヲ占メタル者バ(モルト)稅蒸酒稅營業免許稅ニアリト云フヘシ

右ニ歷舉スル所ノ製造品ニ課スル租稅ハ皆大ニ厭嫌スヘキ者トス如何トナレハ營業ノ發達進步ヲ妨ルヲ以テナリ戰ノ終ルニ至テヤ他ノ賦課法ノ宜キヲ得タル所ノ租稅ヲ以テ是等ノ諸稅ニ代ヘハ可ナラシム而シテ之ヲナスハ散テ難キニアラサルヘシ

英國紙稅ノ設置セラレタルハ千七百十二年ニアリ而シテ千八百三十

六年ニ至ルマテハ非常ニ重ク且ツ賦課ノ法亦縹密ニシテ上等紙ハ英
 量一「ポンド」ニ付三十「センチム」三「ペンス」下等紙ハ十五「センチム」ナ
 リ上等紙ノ稅率ハ一切ノ印刷用紙文房用紙ニ課スルモノニシテ其價
 格ノ二割乃至一倍五割ニ達セリ故ニ該稅ハ苛重ニシテ縹密ナルノミ
 ナラス又大ニ營業ノ自由ヲ害セリ千八百三十六年該稅ヲ改正シ紙質
 ノ如何ヲ問ハス皆一「ポンド」ニ付十五「センチム」トセリ然レトモ尙甚
 タ重稅タルヲ免レサルナリ是等ノ製造品ニ課スル所ノ租稅ノ不便ナ
 ルハ内地稅調查員ノ報告ニ於テ明カニ之ヲ識認セリ然ルニ紙稅ヲ存
 スルハ尙ホ其大ニ望ム所タリ其言ニ曰ク
 公衆ノ嗜好ニ適スルカ爲メニ製造ノ新法ヲ施シ新品ヲ用ヒ新發明
 ヲナスハ常ニ絶サル者タルヲ以テ凡ソ製造ノ時ニ當テ物品ニ課ス
 ル所ノ租稅ニアリテハ從テ賦課ノ方法ヲ改メサルヘカラス而シテ

數々此改正ヲ要スル者ハ蓋シ紙稅ノ如ク急ナルモノアラサルナリ
 又同報告ニ云フ所ヲ見ルニ曰ク

新ニ一步ヲ進ル毎ニ余輩ノ爲メニ困難ヲ加フル原因トナリ不滿ヲ
 生スルニ至ル政府ニアリテハ紙營業ノ一部ヲシテ他部ニ過キタル
 利益ヲ得セシメサルヲ以テ得策トナス云々千八百七十年ノ内地稅
 調査員報告書第一卷四十二丁四十三丁

余輩ヲ以テ之ヲ見レハ紙稅ハ大ニ嫌惡スヘキ者ト云フヘシ如何トナ
 レハ該稅ハ營業上智識上貿易上ニ於テ不便ヲ來スモノナレハナリ前
 章ニ云フ所ヲ以テ見レハ紙稅ハ製紙營業者ノ爲メニハ頗ル迷惑ノ者
 ニレテ若シ之ナケレハ製紙ノ方法產出ヲ變更シ之ヲ改良スルニ敢テ
 妨ル所ナシト雖モ之アルカ爲メニ其改良進步ヲ妨ルヤ疑ヲ容レサル
 ナリ抑モ紙稅ハ書籍新聞紙雜誌等總テ報知教育ニ係ル物件ノ價ヲ高

フレ紙ヲ以テ粗生品トナス所ノ無敵ノ生産品ノ價ヲ増シ又荷造ノ爲
 メニ紙ヲ用ル一切ノ商業ニ於テ運搬ノ經費ヲ増加スヘシ彼有名ナル
 紙稅廢止論者グラッドストーン氏ハ其別ニ償補ヲ得ル所ナクシテ該
 稅ヲ負擔スル無敵ノ營業ヲ歷舉セシヨアリ佛國ニ於テハ一切ノ輸出
 業殊ニ巴里ノ營業ノ如キ細小ノ物品ヲ外國へ輸出スル者ハ外ニ顯ル
 所ハ甚々微ナレトモ紙稅ノ爲メニ頗ル負擔ヲ重フセリ英國グレート
ブリテン及アイヤランドニ於テハ千八百六十一年紙稅ヲ廢セリ千八
 百六十年即チ紙稅廢止ヲ議決シタル年度ノ該稅收入高ハ頗ル巨額
 ニレテ三千七百五十萬フランク百五十萬六千百十二ポンドニ達セリ
 而シテ其徵收費ハ凡ソ七十一萬五千フランク該稅監督若クハ徵收ノ
 爲メニ使役シタル人員ハ百八十三人ナリ

佛國ノ紙稅ハ佛普戰爭後ニ設置スル所ニシテ千八百七十八年ノ收入

高ハ千四百萬フランクニ達セリ其稅率ハ英國ヨリ輕ク百キログラム
 ニ付六フランクヨリ二十五フランクノ間ニアリ新聞紙ハ通常ノ稅ノ
 三倍ヲ課セリ此新聞紙ノ用紙ニ課スル者ハ製造元ニ於ル紙價ノ凡ソ
 一割二分ニ當ルヘキ者ト算セシナリ元來紙稅ハ其外見ニ於テハ無害
 ナルカ如シト雖モ價格貴重ニシテ嵩ノ小ナル物品ヲ輸出スルコト多キ
 國ニ於テハ甚々有害ナル紙稅ノ一ニ居ルモノトス

硝子稅ハ英國ニ於テハ久ク之ヲ行ヒ近年ニ至ルマテ之ヲ存セリ佛國
 ニ於テハ近年之ヲ設置スルノ議ヲ發セシ者アリマクラック氏ハ硝子
 稅ヲ以テ氏ノ時ニ行ハレタル紙稅中最モ非難スヘキモノト稱セリ該
 物品ニ課スル所ノ紙稅ハ數々之ヲ増加シ千八百十三年ニハ其最高度
 ニ達シ最上ノ板硝子ハ一セントル(一セントルハ五〇、八〇キログラム)
 ニ付九十八シルリングトナレリ此ノ如ク苛歛ノ稅トナリシヲ以テ千

七百九十四年以後英國ノ富ノ發達人口ノ増加ハ夥多ナリシモ硝子ノ消費ハ千八百十三年ニ於テ千七百九十四年ニ及ハサルナリ(同年ノ税ハ僅ニ三十二シリング)硝子ノ如キハ開明國ニ於テハ其用最モ擴張スル所ノ者ナルニ其消費ノ却テ減少シタルハ租税ノ爲メニ率掣ヲ受ケ製造ノ進歩ヲ妨ケタルヤ疑ヲ容レサルナリマクラツク氏ハ硝子ニ租税ヲ課スルハ寧ロ窓税若クハ家屋税ヲ増加スルニ及カスト稱セリ其言ヤ當レリト云フヘシ英國(アイヤランドヲ除キ)ニ於テ千八百四十二年硝子税ノ收入高千四百五十萬フランク(五十七萬四千六十三ポンド)ナリ

石鹼税ハ開明諸國ニ於テ往々行フ所ノモノニシテ英國ニ於テハ數百年ノ間之ヲ行ヒ佛國ニ於テハ佛普戰爭後之ヲ設置シ千八百七十八年ニ之ヲ廢セリ石鹼ハ硝子ノ如ク種々ノ物品ヲ製スルモノニアラス其

製造モ亦單簡ニシテ變化少ナシ故ニ其製造者ノ點ニ於テハ石鹼税ハ硝子税ノ如ク不便ノ甚キモノアラス然ト雖モ石鹼ハ物ヲ清潔ニスルト公衆ノ健全ヲ計ルトノ爲メニ其使用ヲ擴張スルノ最モ肝要ナル物品ノ一ニ居リ且ツ無數ノ營業ニ於テ盛ニ使用スル所ノ者ナリ故ニ一國ニ於テ石鹼ニ租税ヲ課スル時ハ營業ニ使用スル所ノ者ハ其租税ヲ免除セサルヘカラス然ラサレハ或ル製造業ハ頗ル負擔ノ重キヲ免レサルヘシ英國ニ於テハ石鹼ノ税久ク過重ニシテ千八百三十三年前ハ最モ普通ニ用ヒラル、石鹼(ハードソープ)ノ税英量一ポンドニ付三ペンス(即チ三十サンチム)ナリ該税ハ石鹼ノ價ニ均キモノトス如何トナレバ租税ヲ負擔シタル後該種ノ石鹼ハ一ポンドニ付六十サンチムニ賣ラレタルヲ以テナリ加之ナラス石鹼ノ製造ニ要用ナル獸脂トルペンタイン曹達ニモ租税ヲ課シタルヲ以テ石鹼カ租税ヲ負擔セシ

マクラーク氏ノ説ニ據レハ實際其價格ノ一倍二割トナレリ而レテ
 營業ニ使用スル所ノ石鹼ノ租稅ト雖モ敢テ之ヲ免除セス奸詐盛ニ行
 ハレタリ故ニ千八百三十二年ノ前五年間ハ諸製造ノ發達民富ノ増進
 盛ナリシニ拘ハラズ石鹼ノ消費高ハ依然トシテ増加スル所ナシ實ニ
 石鹼稅增加ノ爲メニ惹起シタル密賣ニ便ヲ與ヘタルハアイヤランド
 ニ於テ石鹼ニ租稅ヲ課セサリシニアリ千八百三十三年普通用石鹼ノ
 稅ハ其半ヲ減シ(三)ペンズヲ減シテ(一)ペニー半トシ(他ノ種類ノ石鹼稅
 ハ其五分ノ二ヲ減セリ(一)ペニー四分ノ三ヨリ(一)ペニートセリ)此ノ如
 ク租稅ヲ減シタルカ爲メニ大ニ石鹼ノ消費ヲ増シ收入ノ減少ハ四割
 乃至四割五分ニ達スヘキニ僅ニ二割五分ニシテ止レリ千八百四十三
 年ニハ石鹼稅ノ收入高殆ト二千三百萬フランクナリ(八十九萬二千二
 百六十三)ポンド佛國ニ於テハ千八百七十四年ヨリ千八百七十八年マ

テ石鹼稅ヲ行ヘリ其稅率ハ英國ヨリ輕ク且ツ營業ニ使用スル所ノ石
 鹼ハ租稅ヲ免除セリ然レトモ實際ニ於テハ悉ク免除ヲ蒙ラザリシナ
 リ如何トナレハ小製造家ニシテ少量ノ石鹼ヲ使用セシ者ハ免稅手續
 ヲナスノ煩ヲ厭ヒシヲ以テナリ右ノ如キ形情ニシテ該稅ノ收入高ハ
 千八百七十七年ニ六百十五萬六千フランクトナレリ該稅ノ如キハ徹
 頭徹尾其稅ト云フヘカラス只財政ノ困難ニ當リ萬止ムヲ得サル時ニ
 於テ之ヲ行フヲ忍スヘキノミ
 諸稅ノ中頗ル無法ナル者ヲ鍊瓦稅トナス加フルニ鍊瓦ニ租稅ヲ課ス
 ルモ石ニ租稅ヲ課セサルヲ以テ中等以下ノ家屋ハ富民ノ住家ノ負擔
 セサル所ノ租稅ヲ負擔スヘシ豈ニ不公平ト云ハサルヲ得ンヤ英國ニ
 於テハ鍊瓦ノ稅ハ物品ノ粗精ニ應シ千箇ニ付五(五)ペンス
 若クハ十(十)ペンスニシテ千八百四十三年ニ於テ其收入高凡ツ九百